

収 蔵 資 料
調 査 報 告 書

21

上林味卜家文書

2019.3

宇治市歴史資料館

収 蔵 資 料
調 査 報 告 書

21

上林味卜家文書

宇治茶関係文献案内

宇治茶関係文献案内

宇治茶関係文献案内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
代官にもっとも近い茶師	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3
同 関係史料翻刻	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10
上林味卜家文書目録	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	67

凡
例

一、本書は、当館が収蔵する京都府暫定登録文化財「上林味卜家文書」の調査報告書である。

一、「代官にもっとも近い茶師」「同 関係史料翻刻」を坂本博司が、目録の再構成を小嶋正亮が担当した。

◇展覧会図録

『宇治茶―名所図から製茶図へ―』宇治市歴史資料館 昭和六〇年（一九八五）

『大名と茶師―三入宛書状を中心に―』宇治市歴史資料館
平成五年（一九九三）

『宇治茶—トップブランドの成立と展開—』宇治市歴史資料館蔵

料館 平成二七年（二〇一五）

◇宇治文庫

宇治文庫四『宇治茶の文化史』宇治市歴史資料館 平成五年（一九九三）

宇治文庫六『宇治をめぐる人びと』宇治市歴史資料館 平成七年（一九九五）

宇治文庫一〇『緑茶の時代―宇治・黄檗の近世史―』宇治市歴史資料館 平成一二年（一九九九）

◇収蔵資料調査報告書（七までは収蔵文書調査報告書）

『収蔵文書調査報告書三 上林三入家文書』宇治市歴史資料館 平成一二年（二〇〇〇）

『収蔵文書調査報告書六 上林春松家文書』宇治市歴史資料館 平成一六年（二〇〇四）

『収蔵資料調査報告書九 上林春松家文書二』宇治市歴史資料館 平成一九年（二〇〇七）

『収蔵資料調査報告書一五 片岡道二家文書』宇治市歴史資料館 平成二五年（二〇一三）

『収蔵資料調査報告書一九 宇治茶の民具』宇治市歴史資料館 平成二九年（二〇一七）

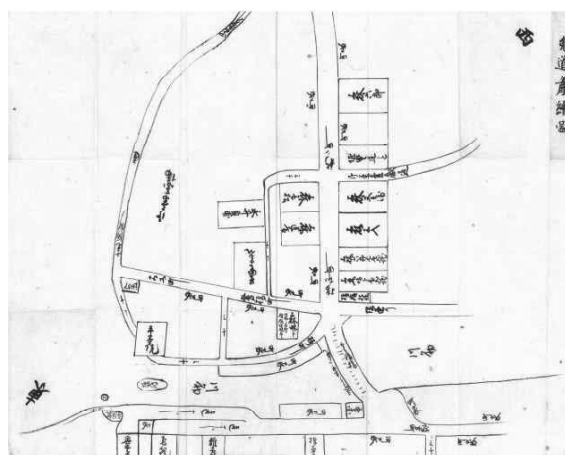
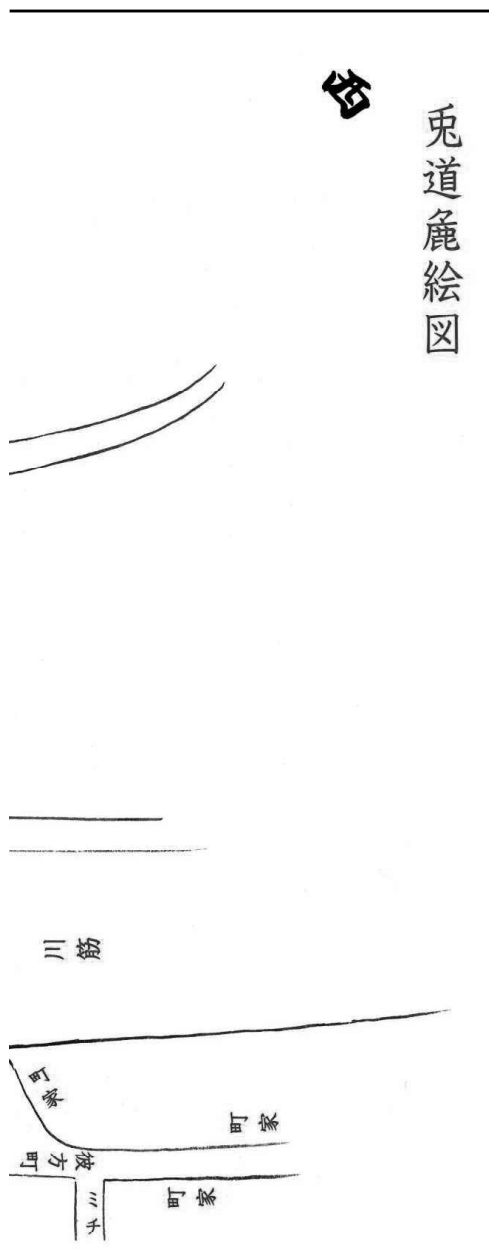
『収蔵資料調査報告書二〇 宇治郷の古文書』宇治市歴史資料館 平成三〇年（二〇一八）

代官にもっとも近い茶師

宇治川の氾濫による洪水の被害は、多くの文書が物語る。上林一門の多くが軒を並べた宇治橋西詰橋本町は、そうした水害の常襲地であり、なかでも味卜家はいわばその先端部、最前線の位置を占めていた。

宇治川の水位が上昇し始めると、平等院鳳凰堂正面の池も水面を広げ、水は用水路の井川に掃けるように逃げて、民家の脇から迂回するように新町通りを越え、濁流はいつしか宇治郷の北西域に広がる水田に呑み込まれていく。同時に、宇治橋上流左岸の堤防ぎりぎりにまで押し寄せる流れは、時折西詰の各所で吹き上げるようにあふれ、新町通りを下ってきた流れとも合わさって、浸水域をしだいに広げていく。下流の槇島などで堤防が決壊し、宇治川そのものの水位が低下しないかぎり、西詰の民家を襲った水は床下からやがて床上へとしだいに上昇せざるをえない。自然地形と古絵図、そこに台風などによってもたらされる大雨の情景を重ね合せた想定は、そんなに的外れでもないはずだ。

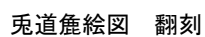
もちろんこんな場所に上林姓を名乗る家々が多く集まっ



兎道庵絵図（うじそえず）

宇治市歴史資料館蔵

宇治茶師がかまえた屋敷の所在をしめす絵図。宇治橋通り、なかでも西詰付近に集中している様子がうかがえる。こうした図は意外に少なく、「庵絵図」すなわち略図ながら貴重である。県通り沿いの味ト家に、「当時橋姫仮殿在之」と記載されることから、明治3年（1870）の水害直後、明治初年の状況を示していることがわかる。左図に文字の翻刻をしめした。縦30.1cm×横37.6cm。



たのには訳がある。宇治橋の東西に広がる宇治郷の領域で、はじめから平等院北西の下流域に安全な生活域が設定されていたとは、その地勢からしてどうてい考え難い。もともとは宇治郡に属した東詰の乙方（彼方・大路方とも書く）地域、そして宇治橋から南西に伸びる街道の、急な坂を上りきった通称一の坂あたりがはるかに安定した土地で、そこに古くから集落が営まれていたことは容易に想像できる。茶業と行政の両面にわたって急激に力をつけてきた上林氏とそれに加担するグループ、具体的には御物茶師を中心とする面々が、そこで比較的広い屋敷地を獲得できる場所は自ずと限られていた。二極に分かれて勢力を張った地域の中間を埋めるほかになく、結果的にその両者を引き寄せるようにして近世の久世郡宇治郷が成立したと考えられる。代官家となる上林久重らの集団が当初どのようなまとまりであったのかはよくはわからないが、確実なのは彼らが後発の新興勢力だったことである。

宇治橋西詰の地域が次代に直接つながる形で開発されたのは、おそらく戦国期。利便性には富むものの、それからの時間の経過は、そこをより危険度の高い場所へと変化した。代官を勤めた上林峯順家は、宝暦期に西方の新町に移転。味卜家も、明治初年に現在の県通りに面した場所に移った。ともに歴史的な大水害を契機とするものであった。

*

本報告書では、上林味卜家文書を取り上げる。本文中の

〔一〕は典拠とした文書の番号である。【一】に番号を記した文書は翻刻文をうしろにまとめてかかげた。

*

味卜家の由緒書「74〜77」などから、確認できる歴代はざっと次のようになる。

初代 上林宗印二男 妻は山岡氏娘、初代上林牛加の姪

慶長十八年（一六一三）八月没 号は紹喜

二代 上林久徳二男 正保元年（一六四四）七月没

三代 二代の実子 元禄三年（一六九〇）十一月没

四代 三代の実子 正徳二年（一七一二）十月没 号は

紹智 妻は山本順節娘

五代 四代の実子 寛保三年（一七四三）十一月没 号

紹啓

六代 五代の実子、七代の兄 宝暦四年（一七五四）十

一月没 妻は御通茶師の一人、花川十左衛門の娘 も

う一人の兄が七代上林春松を相続

七代 六代目の実弟 天明六年（一七八六）隠居 寛政

九年（一七九七）八月没 妻は神明在住の堀大蔵の娘

八代 七代の実子 天明七年（一七八七）相続 文政十

二年（一八二九）隠居六十歳 号は紹美 弟が九代上

林春松（春退）を相続

九代 八代の実子 文政十二年（一八二九）三十五歳で

相続 嘉永五年（一八五二）十一月没 号は紹正（ま

たは紹齋） 妻は豊後杵築藩大坂藏屋敷留守居松井喜右衛門娘

十代 内田伝兵衛次男 慶応四年（一八六八）四月没
妻は九代味卜三女

十一代 九代味卜八男、謙五郎 明治二十七年（一八九四）五月没 妻は平嶋九十郎妹

初代から二代にかけては、これまで上林家の筆頭とされる後の峯順家を中心とする一族・兄弟との関係が強調されてきた。たしかに近世初期の年貢算用状〔159〕にこれらが並列した記載はある。初期の上林の連合体のなかで、代官家以外では味卜と春松が際立ってはいるものの、そこに羽柴姓を名乗る伊達政宗の書状〔756〕や江戸幕府の老中奉書〔1274〕などいくつかの同時代の文書を突き合わせても、そこから具体的な状況は、とくに兄弟・家族といった間柄を思わせるようなものは何一つ見えてこない。これまで系図や由緒書にそのような記載のあることを鵜呑みにして、やや疑いつつも枕詞のように唱えてきた。上林という兄弟連合といったイメージが定着していることもあって、決まりきったことであるかのように嵌ってしまっている。無駄な抵抗かもしれないが、今後はなるべく軽く流すように心がけたいと思う。

*

具体的に味卜家と他家との関係でいえば、いわゆる上林家筆頭の長男家ではなくて、もう一つの代官家である上林

竹庵との間でもって相当密な、そしてやや奇妙な雰囲気を漂わせるものがある。まずは三代目竹庵の義兄から上林常喜に宛てられた書状である〔757〕。

ここに登場する洞雪こそが三代目竹庵、上林政次（一六二〇～五六）である。その跡目となる人物が不適格と判断されるので、その当時の三代目味卜を竹庵家にいれて、その倅と思われる三四郎に味卜家の跡目をつがせようというものである。

差出人兩名の武田は京都の医師、宛名の上林常喜なる人物については不明である。竹庵家には年齢や性格など、後継者にふさわしいとできる人物が見あたらないと、理由はわからないが、義兄らはそのように判断した。右の提案は京都所司代の牧野にまで断りをいれて、本状の作成直前に内諾を得たとする。このときの味卜家から竹庵家への養子縁組について詳細を取り決めた、しかも両家のあいだで取り交わされた契約書ともいえるべき文書の写ものこる〔10〕。ここまで具体的な内容を明示する文書が、まったく根も葉もない想像の産物とも思えない。さらにこれが結局のところ実らなかったとなると、それはそれでこれまた相当込み入った事情があったと憶測せざるをえない。でも残念ながら関連する文書には出会えていない。

竹庵家は洞雪の三男政矩が十代半ばで四代目となるが、寛文三年（一六六三）に江戸で急死し、五代目にはその兄にあたる二男の定政が据えられたが、この人も短命で二年

後に亡くなった。義兄の武田が危惧した通りというべきか、味トを竹庵に入れる計画が頓挫した結果、十年足らずの間に竹庵の当主が相次いで早逝するという不幸な事態に陥ってしまったのである。

*

よく知られるように、仲間に所属する宇治茶師たちは幕府から多額の融資をうけた。まず御物と御通の茶師たちが万治三年（一六六〇）に銀三〇〇貫を借り受けた。当初の予定では十年間で皆済するはずだったが、五年を過ぎた頃から返済のペースが乱れはじめた。寛文八年（一六六八）には、茶の受注が減少したうえに天候不良が重なり、茶園管理の消費もかさみ、所定の償還は絶望的になったとして京都町奉行に滞納を願い出た。そして翌九年には、また金五百両の追加融資を受ける【414-1】。大坂町奉行と御金奉行にこの文書を提出したのは三代目の味トである。すなわち先ほどの話がうまくまとまっていれば、四代目の竹庵となった人物である。当時の味トは財務面で御物茶師を取りまとめる立場にあり、下部組織である御通茶師の引き受け分とともに、翌年以降毎年、五十両ずつを十年間で返済するつもりだったようだ。無利子である。でも予定どおり返せたのは、これまたはじめの四・五年だけで、延宝四年（一六七六）からこれも滞り始めた。その前年にはさらに銀二十貫目の追加融資を重ねた【414-2】。本状の差出人ももちろん味ト、しかしあまり効果はなかったようで、

翌五年には二十五両を一昨々年分の半額として返済するものの、これから後がまた続かない【497】。

延納を認める文書が、竹庵が江戸にいたために味トに宛ててもらえられた【758】。差出人の太田資次は、大坂城代（在任期間…一六七三〜八四）、竹庵はすでに六代目の上林定政、このとき江戸にあったというのも実は無心のためで、翌年には個人的に別途融資を受けている。またこれ以降、江戸幕府から受けたほとんどの借財について、宇治茶師からの弁済が滞るという事態に陥ってしまう。

味トは御物茶師仲間の一人、竹庵はこの当時はまだ同じく御物茶師であるとともに上方代官職をも兼務した。この時期、債務の処理や新たな融資を獲得する場合、宇治茶師の代表者としてきまつてこの両名が並列して登場する。

*

竹庵家の借財が膨らむ一方で、家庭内でも込み入った問題を抱えていたことを示す文書がのこる【213】。正徳二年（一七一二）のことである。

七代目又兵衛竹庵政武とその継母祥雲院との折り合いが悪く、そこに金銭のトラブルが重なり、もはや修復の目途は立たなくなっていた。ちなみに祥雲院は松平越前守の家中、酒井与三左衛門重成なる者の娘と系図上にはあらわれて、七年後の享保四年（一七一九）が没年とされる。ここにはその弟という幸前弾正なる人の名が見えるが、どうも政武の弟と妹（家系図には妹二人）がその継母の実子で、

事の起こりはそれを幸前が引き取る条件に行き違いがあったような雰囲氣にうけとれる。もう一つの代官家峯順門太郎にどんな申し出がされたかはわからないが、何らかの調停案を示して、ともかくもの解決を目指して奔走した茶師の筆頭がまた味トである。この人は先の養子一件で三四郎として登場した四代目だが、半年後に亡くなってしまう。

五代目味トも実子相続と記録にはある。そんな五代目は、宇治茶師のまとまりの頂点にあり、行政職をも担った代官の二家がともに更迭、罷免される事態を目の当たりにする。まず、祥雲院の一件で竹庵と幸前との間に立つ役割を担わされた上林家筆頭の峯順は、その頃すでに財政的には身動きのとれない深刻な状態にあった。負債の額は金三千七百両余、銀も七百貫目を越えていた。門太郎久豊がその跡をとってから六年後の享保四年（一七一九）、長年の債務弁済不履行を理由に免職となり、知行のおよそ五百石は保たれたものの代官職は解かれた。後任には、もう一方の代官家、又兵衛竹庵家の上林政武をあてるといふ人事異動が発令された。前掲の味トの拝借金返済の記録【497】の末尾に、その事実だけが記される。その拙い文字は五代目味ト自身の筆かもしれない。

解任された門太郎家には岸和田の岡部家から、またいっぽうの又兵衛家には彦根井伊家からと、近隣大名の家臣の系列からそれぞれの家督を担う者が入れられた。岡部家と井伊家と言え、それぞれの歴代当主が初代上林三入と親

しく交わったことで知られる。宇治茶師にはどこことなく馴染みのといった響きがあったかもしれない。

両代官家が、宇治茶業を基本にした地域の行財政の要であつたことは間違いない。そのうちの上位にあつた峯順家が倒れ、もう一つの竹庵家だけの、これまで経験したことのないいわば片翼だけの、宇治茶師たちにとってはこの上なく不安な状況が訪れた。竹庵家も多額の負債を抱えることになり変わりはないし、また家族間の人間関係が複雑なことも周辺には知れ渡っていたはずだ。代官職を引き継いでから二十年余りが過ぎた寛保三年（一七四三）十一月、又兵衛竹庵家も代官職を罷免される。直接の理由は手代の落度とあるだけで詳しくは記されない。いずれにしても行政職としての代官業務が、宇治茶師の頂点に位置した両上林からこの段階で完璧に切り離された。五代目味トはそれと時を同じくして亡くなった。そこに直接的な関係があるのかはわからない。ただ、両代官家と御物茶師らをつなぐ、その接点に味ト家がありつづけたこと、そこにこれまでの味ト家の存在感があつたことは、ここで確認した事実からだけでも了解されるのではないだろうか。

おそらく上層の茶師たちは、両代官家への信頼感と依存度が高かつたはずだ。でも、両家の不振と動揺、そして凋落を目の当たりにすると、その姿勢と経営の在り方は自ずと変化させざるをえなくなる。両上林家が存在しない宇治など彼らには思いもよらないことであつただろうが、なる

べくそこに頼らないで自分たちの組織と地域としてのまとまりを作り上げていく、そんな必要に駆られ、しだいにさまざまな模索と試行を繰り返すといった見方もできそうだ。後先になったが、既刊の『収蔵資料調査報告書二〇 宇治郷の古文書』で取り上げたいいくつかの事実も、そんな角度を付して見直してみる必要があるように思う。

代官にもっとも近い茶師

関連史料翻刻（本文紹介順）

【756】〔色味悪茶詰上げにつき書状〕

今度壺之儀二道有為相上申候、当年之茶、留守之事候間、定而色も味も悪茶可被詰与存事候、猶被入念可給候、遠路候間、切々不及音信所存之外候、万々道有可有口上候間、不能具候、恐々謹言

羽越前守

正月十四日 政宗（花押）

味卜

【1274】〔当年初めて落葉御壺仰付けにつき書状〕

以上

一筆令申候、仍去年之御茶、風味一段御意二入候間、弥可被入精候、依之当年初而落葉之御壺被仰付け候、其分可被相心得候、恐々謹言

稲葉丹後守

二月廿八日 正勝（花押）

内藤伊賀守

忠□（花押）

酒井讃岐守

忠勝（花押）

酒井雅楽頭

忠世（花押）

上林味卜

【757】〔味卜を竹庵跡目、三四郎を味卜跡に取立につき書状〕

一筆令啓上候、弥御無事之由珍重存候、此方別条無之候、然者先日西村了以を以申入候通、竹庵跡目洞雪せかれ利二無之候条、味卜を竹庵跡目二いたし、味卜跡を者三四郎を取立候之様ニ弥可申談候間、左様可有御心得候、此段先日申入候処早速御同心大慶存候、昨朝牧佐渡守殿へも得御内意候之処、尤之旨被仰候条弥相違於無之者相極可申候、委

者了以可申達候、恐惶謹言

七月廿七日

武田

(信良)

(花押)

同

(信成)

(花押)

上林常喜様人々御中

【10】養子相究り候書物之写

養子相究り候書物之写

一我等養子之儀、御肝煎ニ付存知寄候通書付掛御目之趣、恙竹庵へ御相談及候処ニ、隠居賄料之儀取付、直ニ銀子貳百枚宛相渡候儀、大儀成事候間、三ヶ年之間者小割百両宛請取、四年目より右之通貳百枚宛可被相渡由被仰候間、弥其通ニ相究申候事

一隠居分之茶菌拾九ヶ所名付申候、此茶菌面屋へ永代預ヶ置、毎年立束定之通請取可申候、若賄銀遅々仕候者右之茶菌御取可申候事

一我等隠居所者祖父居申候隠居屋敷ニ作事致シ居可申候、其上隠居之町役何ニ而も地下より隠居ニかゝり申候諸役、面屋より可被致事

一今度竹庵より之書付ニ養子幼少之儀候間五六ヶ年も我等ニ御茶仕候へと御申候へ共、三四年ほとハ御茶仕、其以後家督相渡可申と申候、其時者壹年分之茶用意里(竹庵家)より被致候様ニと約束申候并継目之御礼之事、我等ニ召連引合申候様ニと被申候、其儀者家本之事候間、我等召連之儀者如何様共御指図次第ニ可致候、然上ハ入用

之儀候ハ、万事里より可被致事

一右拾九ヶ所之隠居分茶菌之内五丁と申し候菌壹ヶ所、是ハ我等隠居ニ召仕候もの抱置其外隠居之茶菌畠ニ可仕候間、不及申ニ候得共右之茶菌年貢米諸役共ニ面屋より可被致事

一実子方へ之菌之書付、先日申合候通、拾壹ヶ所ニ相極菌之所書仕候処ニ、右之内本鷲・椿・かつほう・五丁右四ヶ所之茶菌、三五郎・新五郎・吸斎菌・小祝此四ヶ所とかへ、実子方へ譲りかへ様ニと今度書付給候、五丁ノ儀ハ右之通隠居茶菌畠之用ニ相究置候間、是ハ隠居屋敷と此茶菌同前ニ末代実子ニ相渡シ可申候、残ル三ヶ所之代ニハ小祝・三五郎・新五郎菌ヲかへ書付置可申候、其上面屋へ右之菌御預り置候而、実子方へ毎年立束百枚宛被相渡候へハ、菌之かまい無之候

一家本地かふノ儀、売買替地ニ被致候儀無用之由、右ニ書付進候へ共、勝手ニも能候者此方へ談合被申、かへ地ニも仕度由被仰候、得其意申候、兎角家本能様ニと存候間、此方へ可有談合候、左候ハ、能様ニ相談可申事

一右書付申候銀子百枚之儀者実子一代ニ而御座候、私死後孫ニハ其時之面屋身軀相応ニ成立候様ニ見頭合力被致可給事

一御茶ニ入申候茶道具之分者家本へ譲り渡可申事
一去年当年分之御茶代残り銀、隠居作事料ニ取退可申候、此外古未進之銀子帳面之通ニ譲り渡申候間、連々請取家

之修理以下ニも可被致事

一白川分者隠居へ取退、則隠居より年貢も斗可申候、此外地下之諸役在之候ハ、面屋より可致事

一老年分茶用意銀子之内半分請取申候、安碩へ家督渡シ候、則同前ニ返并可申事

一実子無之候ハ、勿論養子外ニ不仕候間、隠居分も不殘安碩へ譲り可申候事、次実子へ諸事相渡候ハ、年貢役等勿論実子より可仕事

明曆三年丁酉九月六日

上林味卜

右拾三条之通ニ而養子之約束相究申候、此段稲葉美濃様松備前様方丹波様へ可然様ニ御披露奉□候、以上

明曆三年丁酉九月六日

上林味卜判

上林竹庵判

隠居分菌之覚

一かしま 上瀬

一市右衛門

一三筋

一同 中瀬

一かつほう

一大祝

一同 下瀬

一学蔵主

一はし崎

一同 三右衛門

一木戸

一庄右衛門

一甚之丞

一椿

一ほさき

一五丁

一久介

一茂介

一堂ノ前

合拾九ヶ所

実子讓ノ菌之覚

一小祝

一三五郎

一五丁

一久介

一甚之丞

一市右衛門

一新五郎

一庄右衛門

一はし崎

一三筋

一堂ノ前

合拾壹ヶ所

右茶菌書付之通ニ相究申所如件

明曆三年丁酉九月六日

上林味卜判

上林竹庵判

(裏書)

表書之通槌承届ケ申候、以上

明曆三年

味卜内

丁酉九月六日

喜多惣左衛門

伊丹五左衛門

竹庵内

山中瀬兵衛

中村半右衛門

【414-1】拝借仕金子之事

拝借仕金子之事

合小判五百両也

右之金子拝借槌請取難有奉存候、来戌年より壹ヶ年ニ五拾両宛末年迄拾ヶ年、急度上納可仕候、仍後日之証文如件

寛文九年酉極月廿三日

上林味卜

(印) 政口 (花押)

彦坂耆岐守殿

(大坂町奉行・西)

石丸石見守殿

(大坂町奉行・東)

長田伝左衛門殿

(大坂御金奉行)

寛五郎大夫殿

(大坂御金奉行)

蒿木次左衛門殿

(大坂御金奉行)

水野庄五郎殿

(大坂御金奉行)

表書之小判五百両無相違可被相渡候、断者本文有之候、已上

酉十二月廿三日

内膳 (印塗潰) (京都所司代)

【414-2】請取申拝借銀之事

請取申拝借銀之事

合銀貳拾貫目者

但丁銀也

右拝借仕候所実正也、来辰之年より丑之年迄拾ヶ年之内、

耆ヶ年ニ貳貫目宛毎年

上納可仕候、為後日仍如件

延宝三年卯十一月十六日

上林味卜 (印)

彦坂耆岐守殿

(大坂町奉行・西)

石丸石見守殿

(大坂町奉行・東)

寛五郎大夫殿

(大坂御金奉行)

八木庄兵衛殿

(大坂御金奉行)

佐橋儀兵衛殿

(大坂御金奉行)

米倉加左衛門殿 (大坂御金奉行)

表書之銀貳拾貫目添状見合可被借渡候、断者本文ニ有之候、以上

能勢日向 (印塗潰)

(印) (京都町奉行)

永伊賀 (印塗潰)

(印) (京都所司代)

【497】金拝借上納之覚

金拝借上納之覚

寛文九酉年五百両拝借

一戌之年 (寛文10)

上納御延被下候

寛文十一年亥十二月廿三日

一亥之年

五拾両

上納仕候

戊ノ上納分

寛文十二年子十二月廿三日

一子之年

五拾両

上納仕候

亥ノ上納分

延宝元年丑十二月廿三日

一丑之年

五拾両

上納仕候

子ノ上納分

一寅之年 (延宝2)

上納御延被下候

延宝三年卯十二月廿三日

一卯之年

五拾兩

上納仕候

丑ノ
上納分

一辰之年 (延宝4)

上納御延被下候

延宝六年午二月五日

一巳之年 (延宝5)

貳拾五兩

上納仕候

寅之年分
半分午ノ
三月五日ニ上ル

一午之年 (延宝6)

上納御延被下候

一未之年 (延宝7)

一申之年 (延宝8)

一酉之年 (天和1)

一戌之年 (天和2)

一亥之年 (天和3)

一子之年 (貞享1)

一丑之年 (貞享2)

一寅之年 (貞享3)

一卯之年 (貞享4)

一辰之年 (元禄1)

一巳之年 (元禄2)

元禄三年午五月廿三日

一午之年

拾五兩

上納仕候

元禄七年戌十二月五日

貳兩

上納仕候

此金子大坂へ之使

山田惣左衛門持参

此節手形認遣ス案紙

拝借返納金之覚

一金貳兩 後藤包

是ハ寛文九酉年金五百兩拝借被仰付、戌年より未之年迄十
ケ年ニ上納可仕由ニ而被為借候内、貳百四拾兩、先年度々
ニ返納仕、残貳百六拾兩之内此度金貳兩上納仕候御手形一
枚可被下候、以上

元禄七年戌十二月五日

宇治上林味卜使

山田惣左衛門

御金奉行衆様

右之通ニ認、惣左衛門ニ持参為致申候、為念別紙ニ
一通案紙有之

伊豆守様

〔峯順様へ元禄六年酉十月ニ金拝借銀拝借一所ニ書入銀拝
借も金ニ直シ惣拝借金高書記上ケ申候写

覚

一金五百九拾壹兩貳歩貳朱貳匁五分、元禄貳巳年年書上ケ
申候金高

是ハ寛文九酉年、金五百兩拝借仕候内、上納之殘金貳百
七拾五兩

延宝三卯年、銀貳拾貫目拝借仕候内、上納銀、金ニ
テ三百拾六兩貳歩二朱貳匁五分

右之内

金子拾五兩 元禄三年上納仕候

残テ金五百七拾六兩貳步貳朱貳匁五分 元禄六酉年

拝借金高

右之通ニ而御座候、以上

元禄六年酉十月

上林味卜印判

松前伊豆守殿

(嘉広)
(元禄五年より京都町奉行、同九年より伏見奉行兼務)

右之通ニ認、峯順様へ一通と二通認上ケ申候、則

為念案紙一通別紙ニ有之候

(改頁)

一金壹兩

元禄八年亥十二月廿三日

但、此上ケ状之文言、右之通ニ認遣ス

堀真朔内

内川武右衛門使

(改頁)

銀拝借上納之覚

延宝三年卯十一月十六日

貳拾貫目拝借

一卯之年

一辰之年

上納御延被下候

延宝六年午三月五日

一巳之年

壹貫目上納仕候

辰之年分
半分

(改頁)

宝永元年申十一月十二日御拝借上納被仰付候ニ付書付差上

ケ申候、峯順様二条江御持参之由ニテ候、此度之書付御物

中間一紙、内此方書付八分ニ書申候写

覚

一金銀合八百三拾三兩壹步五分

金五百兩

寛文九酉年

拝借仕候

銀貳拾貫目

延宝三卯年

拝借仕候

六拾兩

右之内江金貳百肆拾九兩貳步二朱貳匁五分上納仕事候

残テ金五百七拾貳兩貳步二朱貳匁五分

右之通ニ而御座候、以上

申十一月

上林味卜

(改頁)

享保

一、~~非~~水四亥、上林門太郎様御不調法ニ付、□役上林又兵衛様江宇治支配被仰付候ニ付、又兵衛様為御□御拝借書付御取被成候ニ付、右之通書付上ケ申候、以上

享保五子ノ正月

【758】〔先年拝借金銀返納延引につき書状〕

芳札令披見候、宇治御茶師之輩、先年拝借金銀上納之儀去午年分御差延被相手願候之处、御証文今般到来付而被指越請取候、御金奉行江可申渡候、竹庵在府候之故、従其方紙面之通令承知候、恐々不具

太撰津守

(延宝七)

十二月十二日

資次(花押)

上林味卜老

最早私共了簡二不及申候故、峯順門太郎へ書付を以申達置候、何とそ願之趣被為上聞召被下候者難有可奉存候、以上、

辰四月

上林味卜(印)

尾崎有庵(印)

星野宗以(印)

【213】乍恐口上(上林又兵衛繼母等処遇につき)

乍恐口上

一上林又兵衛繼母祥雲院一所二居候而者家淳熟不仕、御用

之妨二も罷成候二付、又兵衛方より相応之賄を相渡、別宅隠居致給候様二と、一家とも申入候得共、承引不致、色々と不埒成儀を申候故、達而申候得者、なきわめき申候二付、とくと対談も難仕候故、祥雲院弟幸前弾正二右之訳段々申入候処二、竹庵存生之時分、銀子貳拾九貫目預ヶ置、其内六貫目ハ相済申候、残テ貳拾三貫目相渡候者成程祥雲院儀彈正方へ引取可申候、祥雲院二も右之銀子相渡候ハ、別宅隠居可被致心底承届候間、成程各御肝煎被成貳拾三貫目相渡シ候様二被成候へと弾正申候二付、其段弥相違在之間敷哉と申候得者、侍之一言申出シ候儀、跡先ヲ考不申候はては不申出候旨堅申合候、其上有庵申候者又兵衛弟妹儀者如何可致候哉と申候へ者、弾正申候者此兩人儀者又兵衛血を取分候兄弟之義二候間相応之養料付ヶ被申候者此兩人も一所二引取可申と旁契約仕候、然る上上林門太郎弾正へ対談被致候処、右之銀子堅談之上、只今不埒を申、何共気毒ニ奉存候、此通二指置候者又兵衛御用之指支如何躰成義出来可仕も無覺束奉存候、

御奉行様

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1244-2	[指貨、製造費一切等計算書]					一紙	
1244-3	[製造入費、横浜為換相場等計算書]					一紙	
1244-4	製茶諸入費和百斤当り概算調					一紙	
1245-1	[中国製茶諸器械図等博覧会出品につき督促状]	(明治10) 7. 6	1877	勸農局製茶掛	上林茂	一紙	1245封筒一括
1245-2	[本色茶販売につき書状]	7. 6		川中在邦	上林茂	一紙	封筒
1246	[明治23年内国勸業博覧会進歩二等賞授賞等谷村与三郎履歴]			谷村与三郎		堅帳	封筒
1247-1	[宇治製紅茶製法伝授のため熊本山崎旧土木掛跡拝借につき上申書]	明治 7. 4.	1874	古市宗庵 同志 三ヶ彦右衛門 他4名 起発人 上林熊次郎	白川県権令安 岡良亮	一紙	1247封筒一括
1247-2	印度支那産茶ノ実談					堅帳	
1248	日高正雄(紙片)					一紙	
1249	[御預りの刀剣類につき書状]	12.29		□□課	上林茂	一紙	封筒
1250	[津田氏難題のため上京不可につき書状]	(明治16) 7. 7	1883	上林熊次郎	上林茂	一紙	封筒
1251	[宗円公三百ヶ条の内五十ヶ条]					一紙	
1252	[製茶商議来臨につき書状]	12. 5		河瀬秀治	上林茂	一紙	
1253	[封筒]	(明治15) 6.14	1882	日本橋区浜町 鈴木清一郎	芝区田村町山 内おむめ内上 林繁	封筒	
1254	[碓氷嶺測量終り松本開鑿事業につき書状]	(明治16) 5.29	1883	長野県北佐久 郡軽井沢駅佐 藤耕平方杉山 輯吉	上林茂	一紙	
1255	[松本周辺道路取調につき書状]	6.29		杉山輯吉	上林茂	一紙	封筒
1256	[寄席等家屋平面図]					一紙	
1257	[在上海日本公館内品川領事につき書付]					一紙	
1258	[辞職し当県赴任につき書状]	2.13		沖縄県北村礼 二	上林茂	一紙	封筒
1259	[碓氷嶺測量従事につき書状]	3.17		杉山輯吉	上林茂	一紙	封筒
1260	[阿仁より小阪鉦山分局へ転住等につき書状]	4. 5			上林茂	一紙	封筒
1261	[近況報告等につき書状]	5.15		小阪鉦山分局 木沢京蔵	上林茂	一紙	封筒
1262	[紅茶2種製法書、御助力願等につき書状]	5.14		熊次郎	茂	一紙	
1263	[見本茶持参等につき書状]	5.20		川中在邦	上林先生	一紙	封筒
1264	[製茶業販路世話方につき書状]	明治16. 7.10	1883	上林熊次郎	上林茂	堅帳	封筒
1265	共進会報告 製茶部茶事集談	明治12.11.	1879	製茶部 茶事集 談		堅帳	印刷物
1266	筒焙炉二十分ノ一ノ図					一紙	1266～1267封 筒一括
1267	紅茶乾燥口式組立図					一紙	5点
1268	故人上林茂の手記より(紅茶試製等)					堅帳	
1269-1	木浦鉦山図	明治 8. 7.	1875	淵野蘭遊書		一紙	1269封筒一括
1269-2	山茶畑茶等産出方法之伺(茶樹種類・気候・見分方等)					一紙	
1269-3	山茶有之箇所(木浦鉦山付近)	. 7.				一紙	
1269-4	[九州内県別山茶・地茶等級及び緑茶・紅茶製造可否ひつき書上]					一紙	
1269-5	[木浦鉦山図]					一紙	
1269-6	[白川県隣接山間部絵図]					一紙	
1270	療養願(脚気症に罹り出京治療につき)	明治14. 6.21	1881	備上林茂	丹羽権少書官	綴	
1271	[緑茶銘等書上]					一紙	
1272	紅茶製造器械之図					堅帳	印刷物
1273	[竹製茶袋雛形15本]	嘉永1他	1848			他	
1274	[当年初めて落葉御壺付けにつき書状]	2.28		稲葉丹後守正 勝 内藤伊賀守 忠重 酒井讃 岐守忠勝 酒井 雅楽頭忠世	上林味ト	軸装	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1219	〔英国人教師義塾開設趣意書〕			木挽丁 英人カ スナ 南部旧知 事安永 三好		一紙	
1220	〔人別人数書付〕					一紙	
1221	〔黒部(ソルフワイト・オフ・コツ・ヘル)等鉱物説明書付〕	明治 8. 5.17	1875			一紙	
1222	〔輸出用ラベル図案〕					一紙	
1223	〔茶摘籠に茶樹図、国内用ラベル図か〕					一紙	1223～1236封筒一括
1224	明治十一年県内物産博覧会褒状(紅茶白毫西人需要に適し輸出盛大品評につき)	明治11.11.	1878	三重県	伊勢国三重郡四日市上林茂	一紙	
1225	〔露語ラベルか〕	1879	1879			一紙	露語 印刷物
1226	〔英語上林熊次郎製日本茶商標〕					一紙	英語 印刷物
1227	〔英語上林日本茶商標〕					一紙	英語
1228	〔宇治茶・黒茶につき広告〕			日本三重県四日市上林茂及ヒ共同茶商館		一紙	
1229	〔再製所奔走社員規則等書付〕					一紙	
1230	〔茶撰場釜場等土地建物平面図〕					一紙	1203に同じ
1231	〔英文カード〕	1883. 2. 2	1883	W.N.Whitney M.D.		一紙	英語
1232	〔英文カード〕	1883. 2.19	1883	W.N.Whitney MD		一紙	英語
1233	〔四日市にて無色茶製造、鑑茶取成願につき書状〕	. 4.		東京湯島上林茂	ポウン	一紙	
1234	〔四日市にて無色茶製造、鑑茶取成願につき書状〕	. 4.		東京湯島上林茂	英三番貴館御内シアンド	一紙	
1235	〔茶園茶摘図、国内用ラベル図か〕					一紙	
1236	〔英文書状〕	1875. 2.27	1875	Edward Fiseher M	Mr. Kambyashi Dr Sir.	一紙	英語
1237	梅山種茶譜略	天保 9. 2.	1838	売茶翁高遊外著 梅尾高山寺蔵板		堅帳	版本
1238	喫茶養生記	元禄 7.	1694	栄西 東山蔵版	京師六角通寺町西江入町禪家書林柳枝軒小川多左衛門刻	堅帳	版本
1239-1	〔横浜税関より電報、製茶中国人につき書状〕	4.21		河瀬万治	上林茂	一紙	1239封筒一括
1239-2	〔東京丸、今日着船につき電報〕	(明治8). 4.21	1875	横税関ヨリ	勸業寮御中	一紙	
1240	〔紅茶試製、大分県木浦内村等で中国人雇い行った事等書付〕					一紙	封筒
1241	〔茶銘ラベル印影等一括〕					一紙	封筒
1242-1	〔中文中国人雇入定約書写、紅茶製造伝習につき請合証文写〕	大清光緒13.3.1 (明治8.4.6)	1875	立保抛人口徳大 作荐人呉金福書 代書人汪錦泉書		綴	1242封筒一括
1242-2	〔製茶方法書写、製茶方法書和解書〕			経手人口長富姚秋桂		綴	
1243-1	〔茶熬釜・焙炉鍋寸法図〕					一紙	1243～1245ひも一括 1243封筒一括
1243-2	本色茶再製所位置図面			神奈川 青木町字軽井沢259番地会社		一紙	
1243-3 ①	〔米国紐育茶商チルトン等への紅茶仕切書につき書状〕	2.16		川中在邦(印「T OKIO.JAPAN KAVANAKA & CO.日本東京 〇新栄館」)	上林茂	一紙	1243-3封筒一括
1243-3 ②	〔問合米人ゼーシーサンデルソン氏につきはがき〕	2.23		築地製茶所 川中在邦	湯島上林茂	葉書	
1243-4	〔紅茶買人姓名につき書状〕	8. 7		神奈川 山東参事	河瀬勸業	一紙	
1244-1	〔桑港出帆アラスカ号につき勘定等写〕	4.16		〇〇〇局 〇〇会		一紙	1244封筒一括

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1188	為取換証(本色茶再製所廃業につき)	明治12.10. 2	1879	三重県下四日市北納屋町元本色茶再製所社中惣代市川南裔	元本色茶再製所教師上林茂示談御取扱人田中周吉	一紙	
1189	参考室ニ出品ナス茶及書類之説明書			上林一雄		縦帳	
1190	[印刻紅茶銘書上]			洋学校上塾巳熊		一紙	
1191	[勸業掛高話拝聴申出につき書状]	5. 7		最川房之	上林茂	一紙	
1192	[印影20紙]	明治33. 5	1900			一紙	ひも一括
1193	[阿仁合鉦山等秋田県北部道程絵図]					一紙	
1194	[東京府知事願状御用掛へ持参につき書状]	10.29		山田秀典	上林賢兄 几下	一紙	
1195	[木浦鉦山付近道程絵図]					一紙	
1196-1	大分県下第五大区十小区宇田枝村字瓦内産茶煎之再三而益濃褐色僕所製確疎漏拝伏乞一喫 同区村医士 古庄兎口製上					袋	1196重ね折り内に茶がわずかに残る
1196-2	[大分県第四大区二十三小区風戸村から山部村、茶畑分布絵図]					一紙	
1196-3	[かまど寸法図]					一紙	
1196-4	松本街道各路線(浦野駅から松本まで距離・高低差等)					一紙	
1197	[鉦山より八戸村道程絵図]					一紙	
1198	[糸の漂白剤(塩化石灰)製造方法書付]					一紙	
1199	[山間部某町場鳥瞰絵図]					一紙	
1200	[10斤入59箱等数量書付]					一紙	
1201	[高知県内道程絵図]					一紙	
1202-1	[会社設立、政府許可、会社法等につき書状]	7. 2		金次郎	上林茂様	一紙	1202重ね折り
1202-2	製茶営業加入願(上林茂殿発起本色茶・紅茶製造につき)	明治11. 4. 1	1878	岐阜県厚見郡加納町居住土族安池捨三	製茶起業奔走方市川南裔 服部保訓 吉田守義他2名	一紙	
1202-3	証(本色茶再製所廃業につき給料受領)			上林茂	本再製所組合惣代市川南裔殿 示談取扱人田中周吉殿	一紙	
1203	[茶撰場釜場等土地建物平面図]					一紙	
1204	[茶撰場釜場等土地建物平面図]					一紙	
1205	重蘭茶場碑記(碑文写)	天保 3	1832	林口撰文 巻大任書		一紙	埼玉県「重蘭茶場碑」か
1206	[茶樹栽培等説明図]					一紙	
1207	[木浦鉦山周辺道程図]					一紙	
1208	[漢文・世界図・建物図]					一紙	
1209-1	[三平蒸籠組立図・同部品図・青葉蒸製方法]			熊谷県入間郡小谷田村ノ内牛沢発明人増田三平		横帳	1209-1に同2・3挟込み
1209-2	記(勸業寮製茶用器、東京丸にて貴港より輸送無税願につき)	4.13		落領事	税関御中	一紙	
1209-3	[かまど等寸法図]					一紙	
1210	[勸業寮製茶雇入凌長富・姚秋桂携帯の箆箕箆につき書状]	(明治)8. 4.13	1875	品川		一紙	
1211	[紅茶近敷等書付]					一紙	
1212	[灰カキ・キリ等道具金高書上]					一紙	
1213	[瓦斯器械説明及び値段]					一紙	
1214	[状秤・茶いり釜等道具屋号人名等書上]					一紙	
1215	[公司貢珠等茶銘数量書上]					一紙	
1216	記(荷造人足賃・茶わん代等勘定)	5.19				一紙	
1217	[焙炉鉄鍋等茶製道具書上]					一紙	
1218	[越前敦賀港海面、近江湖水高低差等書付]					一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1161	〔一昨日暴風雨被害伺につきはがき〕	(明治33) 9.30	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「二」
1162	〔頭痛のため李家行同行困難につきはがき〕	(明治33) 9.13	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区永住町山中ハル方上林茂	葉書	(朱書)「一」
1163	〔無礼お詫びにつきはがき〕	(明治34) 3.25	1901	山城宇治町ヨリ長者彦介	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十」
1164	〔大坂地方運動のため滞在につきはがき〕	(明治34) 3.19	1901	大坂滞在 長者彦介	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「八」
1165	〔面会予定原宿か麻布か報知につきはがき〕	(明治33)10.18	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「四」
1166	〔小生方にて御内談につきはがき〕	(明治33)10.24	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「六」
1167	〔議会開会前議員出揃、進行相談につきはがき〕	(明治33)12. 4	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「七」
1168	〔換券封入親展書送付につきはがき〕	(明治33)12.25	1900		浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「九」
1169	〔上林牛加氏拝領物につきはがき〕	(明治34) 1.10	1901	山城宇治長者彦介	東京市浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「五」
1170	〔火難御守等送付につきはがき〕	(明治33)10. 1	1900	山城宇治長者彦介	東京市浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「三」
1171	〔御懇書のこと委細承知につきはがき〕	(明治33) 7.13	1900	宇治長者彦介	東京市浅草区永住町山中かず衛方上林茂	葉書	(朱書)「二」
1172	〔岩井氏妻君病死につきはがき〕	5.28		山城宇治長者彦介	東京市浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「一」
1173	〔明日差支、同行不可につきはがき〕	(明治34) 4. 5	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「廿二」
1174	〔先方へ訪問日につきはがき〕	(明治34) 4. 4	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「廿一」
1175	〔議会尽力諸氏へ廻礼につきはがき〕	(明治34) 2.11	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十」
1176	〔麻布行につきはがき〕	(明治34) 4. 8	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「廿三」
1177	〔参上不可につきはがき〕	(明治34) 4. 1	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十九」
1178	〔先方在宿につきはがき〕	3.14		四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十五」
1179	〔先方へ御越しにつきはがき〕	3.19		四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十六」
1180	〔明日午前会見につきはがき〕	(明治34) 3.21	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十七」
1181	〔書類・絵図につきはがき〕	(明治34) 2.21	1901	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「十二」
1182	〔遠路ご苦勞等につき書状〕	(明治34) 8. 3	1901	長者彦介	上林茂	一紙	封筒
1183	〔関氏宴会費等につき書状〕	4. 2		磯田正敬	上林茂	一紙	封筒 (朱書)「二十」
1184	〔大事な件漏洩不可につき書状〕	4.30		長者彦介	上林茂	一紙	
1185	日本 第4899号(新聞)	明治36. 3.28	1903	発行兼編輯人小谷保太郎	発行所神田区雉子町日本新聞社	一紙	
1186-1	〔羽織染まり次第仕立につき書状〕	11. 2		母ヨリ(宇治町上林すみ)	一雄	一紙	1186～1273「紅茶製造事始 味ト家資料」箱一括 1186封筒一括
1186-2	〔羽織紋違いにつき書状〕	11.12		母ヨリ	一雄	一紙	
1186-3	〔母様御機嫌等につき書状〕	6.25		同萩野	上林一雄	一紙	
1186-4	〔お前勉強出来母様悦び等につき書状〕	1. 2		同萩野	上林一雄	一紙	後欠
1186-5	〔木々生長等につき書状〕	12. 1		母ヨリ	一雄	一紙	
1187	教ぐさ(孝の道)					堅帳	印刷物

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1137	菟道稚郎子命御祭祀有之度義ニ付建言	明治25. 5. 2	1892	熊本県八代郡八代町士族当時福岡県福岡市小島馬場寄留磯田正敬	宮内大臣子爵土方久元	堅帳	
1138	〔応神天皇等系図〕					堅帳	
1139	皇太子菟道稚郎子命官祭アラセラレ度義ニ付請願	明治33. 1.25	1900	宇治町平民上林一雄 大伯父宇治神社氏子上林茂 熊本県八代郡八代町士族当時東京市四谷区永住町寄留磯田正敬	衆議院議長片岡健吉殿	堅帳	
1140	宇治神社考(考証・史料)					堅帳	
1141	宇治神社考(考証・史料)					堅帳	
1142	稚郎子皇子ノ当時ニ於ケル社会的倫理ハ如何					堅帳	明治32.11.25 磯田正敬「菟道皇太子稚郎子尊官祭目的概略」〔稚郎子・額田王歌〕挟込み
1143	〔絵図類・内務省取調書類謄写願等につき書状〕	2.17		磯田正敬	上林茂	一紙	封筒 長者彦介宛〔光格帝出生につき照会状〕同封
1144	〔関先生へ挨拶、磯田氏へ御談合取計、筆紙代等につき願ひ及び別紙電報につき書状〕	(明治34) 4.10	1901	山城宇治 長者彦介	上林茂	一紙	封筒 彦介宛父危篤電報同封(朱書)「十三」
1145	〔電報および上林久道病死、春松実家の代理を兼ね出等につき書状〕	4.14		長者彦介	上林茂	堅帳	封筒 (朱書)「十四」
1146	〔書状〕	3.29		磯田正敬	上林茂	一紙	封筒 (朱書)「十八」
1147	〔岩井氏協議、運動費等につき書状〕	(明治34)3. 24	1901	長者彦介	上林茂	堅帳	封筒 (朱書)「九」
1148	〔岩井氏不快等につき書状〕	5. 5		長者彦介	上林茂	一紙	封筒
1149	〔博物館にて墨竜鑑査等につき書状〕	(明治33)12.14	1900	磯田正敬	上林茂	一紙	封筒 (朱書)「八」
1150	〔封筒〕	明治34.11. 2	1901	長者彦介	上林茂	封筒	(朱書)「六」
1151①	〔関子爵へ書類絵図類携帯訪問予定、別紙長者家伝来書類等につき書状〕	(明治34) 2.23	1901	磯田正敬	上林茂	一紙	1151封筒一括(朱書)「十三」
1151②	提出ノ書類并図					一紙	
1151③	〔訪問延期につき別紙目録書取調願につき書状〕					一紙	
1151④	長者彦介伝来書類目録					一紙	
1152	〔書類および神像巻物等拝見につき書状〕	(明治34) 5.19	1901	長者彦介	上林茂	一紙	封筒
1153	〔社用一件および岩井氏熟談等につき書状〕	(明治33)12.29	1900	長者彦介	上林茂	一紙	封筒 (朱書)「四」
1154	〔郡衙移置困難等につき書状〕	(明治34) 5. 4	1901	磯田正敬	上林茂	一紙	封筒
1155	秘密(関子爵好都合等につき)	(明治33)10.22	1900	磯田正敬	上林茂	一紙	封筒 (朱書)「五」
1156	〔負債家事維持困難のため運動方につき書状〕	(明治34) 3.29	1901	長者彦介	上林茂	堅帳	封筒 (朱書)「十一」
1157	〔岩井氏と面談につき書状〕	(明治34) 4.19	1901	長者彦介	上林茂	堅帳	封筒
1158	〔県神社地拡張のため有志募集等につき書状〕	(明治34) 3. 4	1901	長者彦介	上林茂	堅帳	封筒 (朱書)「七」
1159-1	〔学校改築のため運動中止につき書状〕	(明治34) 4. 5	1901	長者彦介	上林茂	堅帳	1159封筒一括(朱書)「十二」
1159-2	〔宇治神社官祭運動一時中止につき書状〕	4. 5		宇治神社氏子総代上林猶道外五名	上林茂	一紙	封筒
1160	〔関氏訪問につきはがき〕	(明治33)10.15	1900	四谷区永住町磯田正敬	浅草区南松山町上林茂	葉書	(朱書)「三」

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1117	〔陸羽珠光等茶由緒書付断簡〕					一紙	1117～1185箱一括
1118	〔小倉百人一首〕			斎藤一郎左衛門豊啓		堅帳	寛永寺・増上寺絵図挟込み
1119	菟道皇太子尊御事跡取調順序	明治18～19	1885			堅帳	
1120	宇治神社考(考証・史料)					堅帳	
1121	皇太子菟道稚郎子命官祭アラセラレ度義ニ付請願	明治33. 1.25	1900	宇治町平民上林一雄 大伯父宇治神社氏子上林茂 熊本県八代郡八代町士族当時東京市四谷区永住町寄留磯田正敬	衆議院議長片岡健吉	堅帳	
1122	宇治神社臨時祭典ニ付目的概略(明治42年臨時祭典執行すべき等につき)					一紙	
1123	皇太子菟道稚郎子命官祭アラセラレ度義ニ付請願	明治33. 1.25	1900	宇治町平民上林一雄 大伯父宇治神社氏子上林茂 熊本県八代郡八代町士族当時東京市四谷区永住町寄留磯田正敬	衆議院議長片岡健吉	堅帳	
1124	宇治神社考(考証・史料)					堅帳	
1125	宇治神社考(考証・史料)					堅帳	
1126	〔皇太子稚郎子尊官祭につき請願下書〕					一紙	
1127	皇太子菟道稚郎子命官祭アラセラレ度義ニ付請願	明治33. 1.25	1900	宇治町平民上林一雄 大伯父宇治神社氏子上林茂 熊本県八代郡八代町士族当時東京市四谷区永住町寄留磯田正敬	衆議院議長片岡健吉	堅帳	
1128	皇太子菟道稚郎子命官祭アラセラレ度義ニ付請願	明治33. 1.25	1900	宇治町平民上林一雄 大伯父宇治神社氏子総代官祭請願人委員上林茂 熊本県八代郡八代町士族当時東京市四谷区永住町寄留同官祭志願发起人磯田正敬	衆議院議長片岡健吉	堅帳	
1129	草按(菟道皇太子尊御事蹟内務省掛員調査につき考察)	明治34. 3.	1901	上林茂		堅帳	
1130	〔宇治神社由緒、菟道皇太子稚郎子尊臨時祭等につき草案〕					堅帳	
1131	〔宇治神社由緒、菟道皇太子稚郎子尊臨時祭等につき草案下書〕					堅帳	
1132	講録(教導職拝命につき)	明治11. 5.	1878	宇治郷神明社祠掌菱木信興		堅帳	
1133	講録写(教導職拝命につき)	明治13. 3写	1880			堅帳	
1134	上地所御松下ヶ願(宇治神社下ノ宮境内宮ノ馬場官有道路左右林地松下につき)	明治44. 3.	1911	宇治神社神社々司長者彦介氏子惣代城嶋幸吉 同寺川秀次郎他1名		堅帳	
1135	菟道皇太子御陵墓考定書					堅帳	
1136	京都府管下山城国久世郡第一組宇治郷村社宇治神社(明細書)					一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1080	[松浦伊勢守上着の節口上書雛形等先客差図願状]	5.14		御袋年行事	上林味ト 辻善徳	一紙	
1081	乍恐奉願上候口上(江戸御用御煎茶仰付けにつき)	卯.11.		上林味ト	関野萬悦 伊藤宗順 古市宗庵	一紙	
1082	[寅卯年御茶料等書付]					一紙	
1083	覚(利銀勘定等につき)	辰. 4.28		味ト	平入	一紙	
1084	[宇治川筋洪水茶園畑被害、御救い願につき書状]	5.28		上林味ト	行宗・松井・口橋・くり原 御四方他2名	一紙	紙背文書「橘御壺御茶入日記写」
1085	口上之覚(御隠居御家督祝儀等のため御茶料拝借願につき)	辰. 7.27		上林味ト	弓削太郎 右衛門	一紙	
1086	奉願候口上之覚(殿様御登京恐悦のため御煎茶壺、桑名御出陣に恵心院御神札を差上につき)	辰. 2.		上林味ト 堀真朔	御数寄屋方奥御茶道衆中	一紙	
1087	乍恐奉願口上之覚(年々困窮御茶料拝借等につき)	丑. 9. 3		上林味ト	仙石源次郎 間彦六 松下長兵衛	一紙	
1088	口上覚(靈感院様他界等物入のところで忤ト意御国へ罷下し再応願につき)	巳. 1.		上林味ト 忤上林ト意	青木多角	一紙	
1089	口上書(春松養子病身同居難く実家養生につき)	午.12.		上林味ト	御物御年行事中	一紙	
1090	覚(上納金銀入用割請取)	未.11.19		年行事星野宗以 辻善徳	上林味ト	一紙	
1091	覚(京都両町奉行所裏書証文等請取)			上林味ト	上林内記	一紙	
1092	乍恐追而奉願口上之覚(今年御茶御用差支のため金200両拝借につき)	申. 2. 6		上林味ト	松下長兵衛 小森喜八郎 仙石勝蔵	一紙	
1093	乍恐口上之覚(宗伝公様以来由緒につき)	申. 2. 6		上林味ト	松下長兵衛 小森喜八郎 仙石勝蔵	一紙	
1094	乍恐追而奉願口上之覚(御茶御用差支のため金200両拝借につき)	申. 2. 6		上林味ト	松下長兵衛 小森喜八郎 仙石勝蔵	一紙	
1095	口上之覚(繰綿運上見積及び口銭拝領等につき)	申.11.28		上林味ト	仙石勝蔵	一紙	
1096	乍恐口上之覚(町人銀高利借用等のため御茶料銀拝借願につき)	亥.10.		上林味ト	仙石源次郎 間彦六	一紙	
1097	奉願口上之覚(繰綿口銭にて御差上につき)	申.12.15		上林味ト	朝比奈玄蕃	一紙	
1098	[合茶等御茶御用頭取に失敬につき申渡]	申. 3.		鹿兒嶋立意 村田恵斎 高田三節	御物御茶師中 江	一紙	
1099	[鯉・扇子等初入の節差上物品書]	申. 4.		上林味ト 上林ト意	朝山恩地	一紙	
1100	[天明元年から文化5年まで御目見等近例書上]	申. 4.		上林味ト 上林ト意	朝山恩地	一紙	
1101	覚(上林味ト御借銀等勘定につき)	酉. 4. 9		御勘定方		一紙	
1102	口上覚(味ト老勝手差詰りのため当国立山榎檜運上等諸願不能等につき)	酉. 9.15		松下長兵衛 小森喜八郎	野間三十郎	一紙	
1103	[御茶詰等につき書状]	酉.11.29		川上右近 久照		一紙	
1104	御茶料目録(極上半五等)	酉. 9.		上林味ト	伴弥口助 篠原為次	一紙	
1105	御茶目録(味ト他茶師別茶名書上)	酉.11.		京都肥後会所	上林味ト	一紙	
1106	覚(渡銀利足等勘定)	戌. 7.29		岡田和助	上林味ト	一紙	
1107	[印影集]					他	
1108	[木瀬浄阿弥作日本図拓本]					一紙	
1109	[桜の瀬茶屋見取図]					一紙	
1110	[土地丈量図]					一紙	
1111	[屋敷間取図]					一紙	
1112	[屋敷間取図断簡]					一紙	
1113	於御所司御茶師誓詞之節之絵図					一紙	
1114	[土地丈量図]					一紙	
1115	[屋敷見取図]					一紙	
1116	右数寄屋囲之図(茶室間取)					一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1050-2	口上書(太右様へ御紋附御羽織拝領願書差出し等につき)	8.15		喜多立玄	上林味ト	一紙	
1051	乍恐奉願候口上(御面表へ行き太右様御機嫌伺いたく取成につき)	8.25		上林味ト	橋本小郷衛	一紙	
1052	口述(留守中万事情トへ申付けにつき)	9.12				一紙	
1053	覚(大杉原紙・米代等勘定)	9. 2		松井	上林	一紙	
1054	[御救方願につき書状]	5.29			佐渡	一紙	
1055	口述(当地着伺い入来、土産等礼につき)	10.24		有吉大蔵		一紙	
1056	乍恐口上之覚(町人銀高利借用不勝手のため御茶料拝借願につき)	.10.		上林味ト	仙石源二郎 間彦六	一紙	
1057	[手代出府、京都御留守居清田儀左衛門殿一封持参につき書状案文]	8.26			松井典礼 片山多門 松井武他3名	一紙	*肥後
1058	口上之覚(銀子拝借願、殿様御勝手不如意のため再応願につき)	11. 9		上林味ト	仙石源次郎	一紙	
1059	口上(兄味ト死去、名跡相続につき)	12.25		上林留之助	種子嶋宇左衛門	一紙	
1060	注文(正喜撰半斤)	12.28		龍ノ口肥後屋敷土屋玄治	上林味ト	一紙	
1061	覚(寛保3年・宝暦4年名跡相続、伏見御目見の書留水難流失につき)	子.11.		上林味ト		一紙	
1062	乍憚奉願[](居宅流失大病困窮のため御茶料前拝借再応につき)	子. 8.		上林味ト	横口磯丞 吉元善作	一紙	
1063	別紙口上之覚(当秋流水難儀のためお救願につき)	子.12. 7		上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附築山十弥太殿他1名	一紙	
1064	[八幡神領鹿野氏等縁組世話につき書状]	子. 4		上林味ト	上林三休	一紙	
1065	金銀渡シ覚(上杉様御茶料・細川様拝領御羽織料等)					一紙	
1066	乍恐奉願口上之覚(困窮のため御茶料拝借につき)	丑. 9. 3		上林味ト	仙石源次郎 間彦六 松下長兵衛	一紙	
1067	乍憚証口書(野一色家より養子の六郎、実弟騒動等のため私共血筋の者へ相続願につき)	丑. 6.		上林榮之助 上林長橘		一紙	
1068	[味ト隠居、忤ト意名跡相続、老中方仰せ等につき達]	丑.12.				一紙	
1069	[上林味ト・三入御茶御用仰付け等につき達]	寅. 1. 7			上林味ト・上林三入江	一紙	
1070	覚(寅4月借用銀子渡し方につき)			味ト	平入	一紙	
1071	口上覚(父紹美死去のため御茶御用上林春松宅にて用意につき)	寅. 7.		上林味ト	肥後御会所 土州御役所 東六条御茶道方石川宗口	一紙	
1072	覚(代々御茶御用、御銀御米拝借につき)	亥. 8.				一紙	
1073	覚(借銀増難渋のため当借分御茶料の内より返上につき)	寅.11.		上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 築山十弥太他1名	一紙	
1074	口上覚(来年伏見御上着の節御相伴願につき)	卯.12.11		上林味ト	入沢勘太夫	一紙	
1075	覚(御茶料30ヶ年賦銀子借用につき)	卯.		上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目付築山十弥太他1名	一紙	
1076	[御茶諸入用代銀減方難渋歎願書、去年通りにつき達]	卯. 3.			三仲間年行事中江	一紙	
1077	覚(上林味ト荷物本馬2疋江戸へ宇治出立につき)	戌. 8.24		上林味ト内後藤源八	宿々問屋中 川々役人中	一紙	
1078	[扶持人数減方書付]	戌.12.			上林味ト	一紙	
1079	乍恐奉願候口上(名跡相続御茶御用につき願書等2通案)	亥. 2.		富之介儀 上林味ト	上杉村越登理酒井桑山定右衛門	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
1019	乍恐奉願口上之覚(御茶入用諸色高値難儀のため御國中藥商売私売人に仰付けにつき)	. 5.		上林味ト	弓削太郎 右衛門	一紙	*熊本
1020	覚(悴ト意御目見につき)	巳. 6.		上林味ト	朝山恩地	一紙	
1021	御茶料直段書(御茶師中一統三割増値段につき)	.10.		上林味ト		一紙	
1022	乍恐口上之覚(町人銀高利借用不勝手のため御茶料銀拝借等願)	.10.		上林味ト	仙石源次郎 間彦六 真邊十郎 右衛門	一紙	
1023	[上方御借銀江戸屋敷焼失等殿様不如意承知なら願につき書状]	.10.		上林味ト	仙石源次郎 間彦六	一紙	
1024	乍恐口上之覚(町人銀高利借用不勝手のため御茶料銀拝借等願)	.10.		上林味ト	山内彦作 山内半左衛門 生駒大工	一紙	
1025	覚(銀高御差引割合勘定等につき)	.10.		上林味ト	野中 松井 築山他1名	一紙	
1026	覚(船積徳用米5ヶ年間拝借等願につき)	.11.		上林味ト		一紙	
1027	御内意之覚(上林味ト御茶料引下げ難渋につき)	.11.		小堀晋順 御茶道中		一紙	
1028	奉願口上之覚(御米拝借につき)	.11.		上林味ト		一紙	
1029	註文(上極粉小半斤入一壺等)	.12.		守屋長斉		一紙	
1030	覚(大判金御茶料前金として上林味ト拝借等につき)	.12.				一紙	
1031	奉願候口上之覚(堀真朔・吉村源助同前御用勤め筋目のため御救5ヶ年分御茶料拝借につき)	1. 3		上林味ト	美代為庵	一紙	
1032	奉願口上之覚(御米拝借上納法等につき)	2. 3		上林味ト	古市宗庵 萱野甚斎	一紙	
1033	奉願口上之覚(向後20年間30人扶持拝領につき)	2. 3		上林味ト	古市宗庵 萱野甚斎	一紙	
1034	覚(上林味ト老近々当御地御立、祝目録通り縮綿贈るにつき)	2.12		細川主税		一紙	
1035	[当年より5ヶ年非常省略のため年始暑寒伺い一切断りにつき副状]	2.15				一紙	
1036	乍恐口上(御茶師共相続願のため明19日出立につき)	2.18		上林味ト		一紙	
1037	[当年より3ヶ年非常省略のため年始暑寒伺い一切断りにつき副状]	2.25				一紙	
1038	口上覚(丸屋宗五郎死去のため常福町勘蔵弟常吉養子一件につき)	3.28		入江嘉兵衛	三御仲ヶ間 御年行事	一紙	
1039	[上林味ト前々より心安につき書状]	4.26		細越中守	鈴木宗清	一紙	
1040	[釜山浦・唐人等につき書状]	4.28		清正	上谷右兵 人々 御中	一紙	摺物
1041	[晒布等目録等綴]					綴	
1042	覚(当国近年不勝手のため書付の趣取持あるまじく、被覧之後火中へ)	5.13				一紙	
1043	覚(上林味ト荷物本馬一疋江戸へ宇治出立につき)	戌.6. 8		上林味ト内 後藤源八	宿々問屋中 川々役人中	一紙	
1044	一札(刀老腰借用につき)	6.16		拝借人 重三郎 請人 重左衛門	上林味ト	一紙	
1045	[御茶御用正法に仰付け、家中の者内縁・最眞等につき書状]	7. 2		御存知	味ト	一紙	前後欠
1046	[宇治川筋大洪水御茶仕立所等流失のため御茶料前金拝借につき書状案文]	7.28			堀平太左衛門 御奉行蒲池喜左衛門 清田新助様他5名	横帳	
1047	乍恐奉願口上之覚(御国御材木山榿檜皮5ヶ年拝領等につき)	7. 9				一紙	
1048	煮染仕様事(麩の煮染)	7.23		南都丁ふや次兵衛		一紙	
1049	[木綿御引渡し等につき書状]	8. 5		為良	上林	一紙	
1050-1	[越中守伏見止宿の節羽織贈られにつき礼状]			神谷矢柄兼氏 野田弥三左衛門 順親 宮川金右衛門 清澄	喜多立玄	一紙	1050包紙一括

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
994	覚(土州様勤め方由緒等につき)	宝暦 5. 8.	1755	上林味ト		一紙	
995	口演(御町内御茶師方御衆中、地下方へ家別神札配賦につき)	嘉永 6.11.	1853	熊野本宮御師 洲上権太夫	御茶師方御衆中	一紙	
996	安政二卯十月七日御達(諸国寺院梵鐘を大砲小銃に鋳換えにつき)	安政 2.10. 7	1855			一紙	
997	[天和2年代替り参府御目見等由緒書上]	寛延 3. 7.	1750	上林味ト		一紙	
998	[包紙]	明治 1.10.	1868			一紙	
999	[包紙]	明治 1.10.	1868	上林味ト		一紙	
1000	乍恐奉願候口上(鬼頭左門倅保之丞を養子にしたく)	寛政 8.10.	1796	上林平入	上林六郎 上林又兵衛	一紙	
1001	乍恐奉願上口上(居家修復等のため取成につき)	宝暦 8.11.	1758	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 築山十弥太他1名	一紙	
1002	御茶料請取手形(土州様より仰付け)	宝暦 9. 1.26	1759	上林味ト	弘田村右衛門 河村善之丞	一紙	
1003	[近年御物御壺仰付なきところ願により来年仰付けにつき書状]	.12.			上林味ト	一紙	
1004	乍憚奉願口上(私病身実子なく4代目有庵曾孫杉田勘節養子につき)	宝暦13. 3. 3.	1763	尾崎道庵	上林門太郎 上林内記	一紙	
1005	覚(当辰年江戸御国御用新御壺仕立代等)	宝暦10. 7.	1760		武田久右衛門 桜井惣次 御目付築山十弥太殿他1名 京都御銀支配役衆	一紙	
1006	[宇治郷堤切所御普請入用銀、五畿内国役割小堀数馬へ出銀につき達]	戊.11.			上林味ト	一紙	
1007-1	乍恐奉願上口上(宇治川筋大洪水私宅御茶仕立所等流失のため御茶料前金拝借につき)	明和 2. 7.	1765	上林味ト	上林門太郎 上林又兵衛	一紙	1007包紙一括
1007-2	[水難のため御茶料前金拝借願関係書状3通写]					一紙	
1008	覚(肥後太守様参府の節ト意差上物につき)	丑. 3.24		林阿弥	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋景助	一紙	
1009	由緒書	天明 4.11.	1784			一紙	
1010	御出入御茶師(9名書上)	天明 8. 5.26	1788			一紙	
1011	道中小遣控(高野山参詣)	文化 4. 8.	1807	上林味ト 西村了以		横帳	
1012	乍恐奉願上口上(水難等困窮のため30人扶持につき)	寛政 6. 8.	1794	上林味ト		一紙	*熊本
1013-1	乍恐迫而奉願候口上書(水難のため銀子拝借につき)					一紙	1013包紙一括
1013-2	伏見駅御通行之節近例書(天明元年より文化5年迄御目見の節進物書上)	申. 4.		上林味ト 上林ト意	朝山恩地	一紙	
1013-3	乍恐迫而奉願候口上書(水難のため銀子拝借につき)	辰.10.			肥後京都御役所	一紙	
1013-4	乍恐奉願上候口上之覚(高瀬屋次七橋本玄可御国御家中町方へ御茶取扱一件、私へ示談仰付けにつき)	文政11.10.	1828	上林味ト	京都御会所	一紙	
1013-5	覚(大徳寺高桐院松向寺様御尊前へ御供え御茶湯等書上)	文政10.10.	1827	上林味ト		一紙	
1013-6	覚(御用御茶値段・御割増値段につき)	文政10.10.	1827	上林味ト		一紙	
1013-7	乍恐奉願上候口上(借財濟方難渋のため銀子拝借につき)	寛政11.11.	1799		萱野宗羽	一紙	
1014	[儉約中御茶減少のところ御両所に限り壺差越につき書状]	. 2.		大橋甚[]	上林味ト 上林三入	一紙	
1015	(御国木綿綿問屋の件等叶わず御茶勤難につき)口上之覚	. 3.			津田弥右衛門 上野弾右衛門	一紙	
1016	[勝手指詰り御救い願につき書状]	. 4.		上林味ト	荒木助左衛門	一紙	
1017	清撰正味入用高(初後等銘別銀高書上)					一紙	
1018	[倅ト意初御目見につき差上物書付]					一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
968	口上覚(悴ト意業用肥前長崎罷下りにつき御国拝見願)	文政10. 6.	1827	上林味ト	京都古門前御会所	一紙	
969	覚(大徳寺内高桐院松向寺様御尊前等奉献供御茶湯代銀内訳)	文政10.10.	1827	上林味ト	小堀晋順 古市宗安	一紙	
970	当時御定式御用御茶直段并割増直段書覚	文政10.10.	1827	上林味ト	小堀晋順 古市宗安	一紙	
971	借用申銀子之事	文政10.11.	1827	相良九郎助	上林味ト	一紙	後欠
972	覚(扶持方拝領高書上)	文政10.11.	1827	上林味ト	小堀晋順 古市宗安 萱野宗羽他1名	一紙	
973	乍恐奉願上候口上(ト意へ名跡相続御家御用等仰付けにつき)	文政12.12.	1829	上林味ト	関素兵衛	一紙	
974	口上覚(肥前長崎へ業用下男一人連行につき)	文政13.11.	1830	上林味ト	京都古門前御会所	一紙	
975	乍恐御歎願奉申上候口上書(宇治川洪水大損のため扶持方7人半より15人へ)	文政13.10.	1830	上林味ト	京都古門前御会所	一紙	
976-1	乍恐奉願上候口上(洪水御茶仕立場流損等御救いにつき)	文政13. 7.	1830	上林味ト	京都肥後御会所	一紙	976包紙一括
976-2	乍恐奉願上候口上(洪水御茶仕立場流損等御救いにつき)	文政13. 7.	1830	上林味ト	土州御役人所	一紙	
977	乍恐御内願奉申上候覚(西村了以御用代相渡ず難渋につき)	天保 3. 1.	1832	上林味ト	七里弾正 野崎加治馬 宇野相馬	一紙	
978	一札(御茶素仲間仰付けにつき)	天保 3. 3.	1832	半蔵改駒井平右衛門 入江惣助 親類今内町長左衛門他1名	三御仲ヶ間御茶師中	一紙	
979	借用申金子之事(公儀御用御茶料の内をもって返済)	天保 3. 5.	1832	借用主上林味ト 親類証人上林春松	御物御年行事中	一紙	
980	[代々扶持方等由緒につき書状]	天保 5.11.	1834	上林味ト		一紙	
981	売渡申建家之事	天保 9. 3.	1838	宇治乙方町売主万屋武兵衛 右同町組合籠屋藤兵衛 同同近江屋伝右衛門他1名	私市村庄五郎	一紙	
982	天保九年戊閏四月十九日御宿之處一日横田川支二付廿日御宿(茶壺到着役割分担等)	天保 9.④.	1838			一紙	
983	一札(他借奥書等御茶料掛りにつき)	天保13. 5.	1842	上林味ト 上林平入 上林春松他6名	長井貞甫 上林三入	一紙	
984	借用申金子之事	天保14. 3.	1843	松尾彦八	上林味ト	一紙	
985	乍恐口上之覚(伏見等御滞座の内御祝雑煮の節御相伴につき)	享保 2. 5.26	1717	上林味ト	福岡宮内	一紙	
986	乍恐追而奉願口上之覚(御米拝領につき)	享保 3. 2.25	1718	上林味ト	福岡宮内	一紙	
987	[上林味ト悴ト斎へ名跡仰付け、御茶御用星野宗以後見等につき申渡写]	(延享1) 3.	1744			一紙	
988	覚(御代替り御上洛拝礼御目見等書上差出しにつき)	(寛延3)	1750			一紙	
989	拝借仕証文之事(京御留守居所御作配銀)	宝暦 3. 7.晦	1753	上林味ト 手代野間留之助 同南新平	井上郡右衛門	一紙	
990	茶壺目録	嘉永 6. 2.	1853	守屋弁八郎 下津善内 木附武善他2名	上林味ト 喜多立玄	一紙	*八代
991	[諸書状勘定書貼継]	(天保11～弘化4)	1840			一紙	
992	為取替申銀子之事(東本願寺様等御茶料等につき)	宝暦 8. 3.	1758	借り主上林味ト 手代証人内河左太郎	中谷仁兵衛 大黒屋武右衛門	一紙	
993	覚(上林門太郎現米不納残銀上納につき)	宝暦 6. 6.	1756	上林味ト 南新平	町月行事中	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
937	覚書(御茶壺御宿番居宅普請等入用銀勘定につき)	申. 8.		味ト 平入	春松	一紙	
938	[土蔵井戸等心得方書付]					一紙	
939	[銀子毎年返上納につき願書]					一紙	前欠
940	覚(宗伝公江州長浜城御入部)					一紙	前後欠
941	乍恐口上之覚(宗伝公より豊房公まで代々御用、大風被害御茶仕立所修葺のため材木拝領願につき)					一紙	
942	寛延二己巳年五月上林春松(貼札か)	寛延 2. 5.	1749	上林春松		一紙	
943	覚(公儀大判茶園徳分等資産入用銀高)			借主 上林味ト 手代 口兵衛 ふしや平兵衛 他3名		一紙	
944	[包紙]					一紙	
945	[包紙]					一紙	
946	御扶持方切手 拾貳枚(包紙)	5.14				一紙	
947	乍恐再応奉願上候口上之覚(去戌洪水にて住居流失につき)	享和 3. 2.	1803	上林味ト	大須賀定右衛門	一紙	
948	請取申銀子之事(去夏洪水難洪御心付け銀子につき)	享和 3. 2.	1803	上林味ト	朝山斎之助 朝山恩地 松村新三郎他2名 御銀支配役衆	一紙	
949	御代替リニ付八代帯刀様御越之節献立(包紙)	文化 2. 6. 6	1805			一紙	
950	奉願口上之覚写(御米千石拝借につき)	貞享 5. 8.21	1688	上林味ト	柏原新左衛門	一紙	
951	奉願口上之覚(御米千石拝借につき)	貞享 5. 8.21	1688	上林味ト	大木舎人 柏原新左衛門 有吉一郎兵衛	一紙	
952	奉願口上之覚(御米千石拝借につき)	貞享 5. 8.21	1688	上林味ト	大木舎人 柏原新左衛門 有吉一郎兵衛	一紙	
953	[上納金高書上]	元禄 2. 7.12	1689	上林味ト	上林峯順	一紙	前欠
954	為替金証文之事(当秋江戸御茶仕立入用金に指詰まり)	元禄13. 5.27	1700	為替主上林味ト 手代野間三十郎 手代中西久左衛門他1名	岡村市右衛門 山下弥兵衛	一紙	
955	口上之覚(藤孝公三斎公以来出入り方につき)	宝永 7. 7.	1710	上林味ト	坂崎忠左衛門	一紙	
956	口上之覚(藤孝公三斎公以来出入り方につき)	宝永 7. 7.	1710	上林味ト		一紙	
957	相守ヶ條之事(諸家大切等)	文化 6. 2.	1809	上林味ト	上林春松	一紙	
958	一札(10年来の不埒改心につき)	文化 6. 2.	1809	上林味ト	上林春松	一紙	
959	乍恐奉願上口上(泰勝院様二百廻忌御茶湯献供につき)	文化 6. 9.	1809	上林味ト	朝山恩地	一紙	
960	一札之事(其元所持古御壺蔵御敷地に悪水抜きにつき)	文化 7. 1.	1810	上林味ト 大工町助十郎	大工町織太郎	一紙	
961	乍恐奉願上口上(御茶料御先銀拝借につき)	文政 3. 2.	1820	上林味ト		一紙	
962-1	差出(滞り御茶料取集めのため忝ト意御国表へ差下したく出船切手につき)	文政 3.10.	1820	上林味ト	吉田関左衛門	一紙	962包紙一括 * 土佐
962-2	乍恐奉願上口上之覚(忝ト意御国表へ差下しにつき)	文政 3.10.	1820	上林味ト	吉田関左衛門	一紙	*土佐
963	乍恐奉願上口上(詰上げ御茶是迄通り御用向き仰付けにつき)	文政 5.①.	1822	上林 辻		一紙	
964	奉預御銀之事(茶菌畑差入れ御役所御用銀につき)	文政 5. 6.	1822	宇治郷鷺橋町上林味ト 忝ト意 同所同郷新町手代後藤源八郎他4名	菱屋与三蔵殿	一紙	
965	口上書(弟春松へ養子賄料につき)	文政 5.12.	1822	上林味ト	御物御年行事中	一紙	
966	旧記(東御門跡御茶壺詰上げ御用につき)	文化 8.	1811	味ト・ト意ヨリ		一紙	
967	[大徳寺内高桐院松向寺様御尊前等奉献供御茶湯代銀内訳]					一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
893	[旦那今度戸根川手伝い仰付け、銀子調え難く願聞届難きにつき書状]	1. 3		四郎右衛門	味ト	一紙	
894	[旦那高知城下参着等につき書状]	6.24		清介	味ト	一紙	
895	覚(將軍家御茶御用、峯順・又兵衛同前等につき)					一紙	
896	御供之覚(役職別宿所名前書上)			材木庄	上林	一紙	
897	乍恐奉願上口上(御扶持減少洪水被害救済方につき)					一紙	*熊本
898	口上(大水困窮のため御家中御茶、御国許御茶仰付け願)					一紙	*熊本
899	[御茶遣わされ等につき書状]	4.19		門太郎	春松	一紙	
900	覚(上白米・薪木・味噌等相場書付)					一紙	
901	口上之覚(御茶料減方につき)			ト		一紙	
902	奉願口上之覚(利根川御普請御用のため御銀調え差上たく御国へ売渡繰綿口銭仰付につき)	.12.			山内蔵人 山内主馬 松下長兵衛他1名	一紙	
903	乍恐口上之覚(太郎兵衛娘、人足御用等につき)	明和 7. 9. 6	1770	森江惣左衛門 隠居内きの	御役人中	一紙	
904	覚(白羽扇子等目録)			池城親雲上		一紙	
905	覚(洪扇子等目録)			澤祇親方		一紙	
906	覚(象牙骨金扇子等目録)			豊見城王子		一紙	
907	覚(白羽扇子等目録)			澤祇親方		一紙	
908	[紋付小袖目録]				上林味ト	一紙	
909	覚(白羽扇子等目録)			座喜味親方		一紙	
910	[熊本小倉間地名・里程等書付]					一紙	
911	[儉約御茶差止、三斎様以来の御嘉例願等につき書状案文]					一紙	
912	[小袖屋・天祥院様御茶銘等書付]					一紙	後欠
913	覚(將軍家御用峯順又兵衛同前勤め方等につき)			上林味ト		一紙	
914	[紋付羽織等目録]					一紙	
915	諸書類入(貼紙)					一紙	
916	[下関高崎屋善六等人名書付]					一紙	
917	口上覚(亡兄上林味ト死去名跡相続につき)					一紙	後欠
918	覚(御借米返上御茶料勘定につき)					一紙	後欠
919	乍憚証拠書(野一色家よりの六郎家栄次郎養子保二郎不埒につき)	天保2～9	1831			一紙	
920	覚(將軍家御用峯順又兵衛同前勤め方等につき)					一紙	
921	御茶式(茶摘初め所司代御届、関東御壺等古来より御茶勤め方)					一紙	
922	乍恐奉願口上之覚(大坂私弟伊左衛門名代にて木綿綿問屋勤めたきにつき)					一紙	
923	乍恐口上之覚(公儀拝借銀上納仰付、御茶料15ヶ年分拝借願につき)					一紙	後欠
924	[当御殿御掛り、鷹司御殿御掛り等役職人名書上]					一紙	
925	[御頭様へ五百疋等進物書上]					一紙	
926	預り申銀子之事				大工町助十郎	一紙	
927	乍恐口上之覚(宗伝公・忠義公等代々太守様御厚意につき)	(元禄9)	1696			一紙	
928	[野一色隠居宇治滞留中死去等につき書上]					一紙	
929	[大樹様薨去につき次第書留]	正徳 2	1712			横帳	
930	覚(妙解院等御壺御茶代等につき)					一紙	
931-1	肥後御茶料覚(他茶師共惣高)					一紙	931包紙一括
931-2	[惣高の内味ト分書付]					一紙	前欠
932	[松平下総守様御茶御用等書付]					一紙	後欠 *桑名
933	[私兄ト意御目見等書付]					一紙	後欠
934	[御茶悪しく詰替等につき書状案]	6.25				一紙	前欠
935	[私勝手指詰り御救につき願書案]					一紙	
936	大坂三郷御預ヶ地井川筋堀之御年貢之積り・木綿丈尺判賃之積り					一紙	後欠

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
863	〔明丑年より茶二割増等につき書状〕	5. 1		留守居方役人 中	上林味ト	一紙	
864	〔昨夜持参願書、若年寄衆列座加藤越中守へ差上のところ不可につき書状〕	2.11		村田恵斎	上林味ト	一紙	
865	〔今朝申聞の儀、御支配方列座に申上げたところ不可につき書状〕	2.12		村田恵斎	上林味ト	一紙	
866	〔天授庵にて泰勝院殿二百回忌茶湯御供え等勝手次第につき書状〕	12.11		朝山恩地	上林味ト	一紙	
867	〔平尾十吉郎母御地にて世話につき書状〕	8.26		森崎八十右衛門	上林味ト	一紙	
868	〔綿高値國中痛みのため願叶わぬ等につき書状〕	1.12		朝比奈玄蕃〔 〕	上林味ト	一紙	
869	〔公儀御茶料3ヶ年分御拝借金銀等につき書状〕	1. 9		上林味ト	堀津長右衛門	一紙	
870	〔宇治川洪水御茶料前金拝借等につき書状案文〕	. 7.			村恵斎 伊幸琢 鈴寿碩 参人 々御中	横帳	
871	〔御内談一件等につき書状〕	12.13		三入	ト意	一紙	
872	〔御帰りを待ってお話し合いたき儀につき書状〕	11.26		宗安	ト意	一紙	
873	〔国許萱野宗保へ至急茶の木種子1俵御差出につき書状〕	11.19		浅井新九郎	上林味ト	一紙	
874	〔佐渡茶壺目録差登りにつき書状〕	3.15		守屋弁八郎 昌 紀 下津善内一 致 木附武膳季 福他2名	上林味ト	一紙	
875	〔越年祝儀につき礼状書状〕	2. 1		大木舎人福嵩	上林味ト	一紙	
876	〔帯刀茶壺差登り早々詰方につき書状〕	12. 4		坂井作大夫 包 実 江見善兵衛 為昌 宇野平右 衛門通久他1名	上林味ト	一紙	
877	〔御用御茶仰付け御祝儀金子受領につき礼状書状〕	6. 5		上林味ト紹	福岡内丞 参人 々御中	一紙	
878	〔来子正月分扶持方切手差出につき書状〕	11. 8		牧田友之進 政 珍	上林味ト 上林 春松 人々御中	一紙	
879	〔古拝借金銀返上納一件につき書状〕	12. 2		辻善徳様 上林 味ト	星野宗以	一紙	
880	御茶壺詰申上候御約束可被成候覚(東六条)	2. 1		井田唯四郎 中 川作之祐	上林味ト 辻善 徳	一紙	
881	〔当年入用御茶詰につき書状〕	8. 3		古市宗庵英長	上林味ト 参人 御中	一紙	
882	〔御茶用事目録通り御頼みにつき書状〕	⑦. 8		林三郎右衛門 勝□ 小栗源兵 衛□ 今枝忠大 夫□	上林味ト	一紙	
883	〔新建絵図押入れ方角不吉につき書状〕	8.26				一紙	
884	〔国許へ至急御茶差下しにつき書状〕	1. 2		山地源助 同喜 内	上林味ト	一紙	
885	〔願の通り御茶料3年分拝借仰せ付けにつき書状〕	12. 1		鈴木寿碩英胤 伊佐幸琢知芳 村田恵斎尚富	上林味ト	一紙	
886	〔肥州首尾よく御仕廻り等につき書状〕	5. 9		間彦六□元 仙 石源次郎為□	上林味ト	一紙	
887	〔酒多宗有の件、御茶詰め仲々間へ御願につき書状〕			長茶 堀 味ト 長井		一紙	
888	〔上林味ト方年賦銀延引、調達仰せ付けにつき書状〕	9. 6		谷村図書正長	吉村長右衛門 村岡久米右衛 門	一紙	
889	〔佐渡方へ茶巾類御贈り礼に朝鮮飴1箱遣しにつき書状〕	12.27		川口九左衛門 川口庄左衛門	上林味ト	一紙	
890	〔御茶料拝借仰付け礼に御香進上につき書状〕	1. 9			御庄屋三人 御 組頭六人	一紙	
891	〔内々金子を調え拝借取計い案の通り証文認め出京等につき書状〕	8.26				一紙	前欠
892	〔登り賃銀御地払いにて差登りにつき書状〕	12.22		堀佐長右衛門	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
832	[岡村市左衛門書付等につき書状]	4. 2		井上才平 松岡平馬 松岡新右衛門	上林味ト	一紙	
833	[昨日金子御遣わし下さり礼状書状]	9.23				一紙	
834	[御茶料3ヶ年分前金拝借につき請書書状]	1. 9		上林味ト	村田恵斎 伊佐幸琢 鈴木寿碩御請	一紙	
835	[法事満座贈り物お礼として金子遣わされにつき書状]	5. 4				一紙	
836	[味ト老御拝借、峯順老平入老万事内談等につき書状]	11.15		山崎三[]	[]	一紙	後欠
837	[上林味ト勝手向き差支え俸禄拝借につき書状]	4.22			舎人	一紙	
838	[若殿遺領安堵につき書状]	8. 1		嘉悦市之丞	上林味ト	一紙	
839	[宇治川大洪水等願書松野亀右衛門披見等につき書状]	10. 9		小堀長順常春	上林味ト	一紙	
840	[泰勝院殿遠忌、霊前御茶湯供え等用捨につき書状]	8.13		堤八弥太 小林一平 堤壇内	上林味ト	一紙	
841	[春松老一件証文等につき書状]	1. 6				一紙	
842	[宇治川筋大洪水居宅流失等につき御茶料前金拝借取成願書状]	(明和2) 7.28	1765	上林味ト	井上久助 岡本才次 宗文平 阿部忠平 参人々御中	一紙	
843	[茶壺目録の通り御茶入念詰め指下しにつき書状]	6.吉		岡村清可方陸丸山寿石三数三角幸淳春信他2名	上林味ト 人々御中	一紙	
844	[入用筋調達金子証文、不縁一件委細承引等につき書状]	后9. 9		松井綱男	上林味ト	一紙	
845	[私義勝手向き難儀別紙願につき書状]	2.		上林味ト	元田尉太夫 中村兵助 上羽四郎大夫他5名	一紙	虫損
846	[当家御館入り御由緒等書上につき書状]	(天保12)3. 6	1841			一紙	
847	[御茶お礼、当国宿毛岩村有助へ幸便等につき書状]	10.16		高田口六	上林味ト	一紙	
848	[柏原氏より内々御話につき書状]	10. 5				一紙	
849	[茶壺差登し等につき書状]	3.19		徳永弁悦 丸山寿石 徳永斎悦他1名	上林味ト	一紙	
850	[当年口切用新茶急ぎ国許へ御差下しにつき書状]	8.13		松井極庭 行宗 桃源 栗原雲佐	上林味ト	一紙	
851	[宇治川大洪水につき御茶料前金拝借等願書案書付]	7.17			村田恵斎 伊佐幸琢 鈴木寿碩他	横帳	
852	[宇治川筋大洪水私宅流失、御茶料前金拝借につき書状案文]	. 7.			高田三郎	横帳	
853	[細川越中守殿同名峯順と相談の上心次第との仰せにつき礼状等案文写]	11.29			中川立口口 野村口盛口	一紙	
854	[当冬入用脇取茶早々御調達につき書状]	8. 3		古市理清盛常	上林味ト 人々御中	一紙	
855	[国許にて借用米返弁等につき書状]	4.21				一紙	
856	[隠居方当年詰め御茶、伏見屋敷へ御差出しにつき書状]	10.28		上田清意 三瀬友仙 口口慶賀	上林味ト	一紙	
857	[越中殿死去悔やみにつき礼状]	8.25		朽木内匠昭久	上林味ト	一紙	
858	[時候伺等につき礼状書状]			小笠原大部長洪	上林味ト	一紙	
859	[越中守死去悔やみにつき礼状]	10. 7		三瀬志津摩晴幾	上林味ト	一紙	
860	[旧冬土佐守利根川等普請御手伝仰付け、入用願不可につき書状]	1. 4		松下長兵衛 小森喜八郎	上林味ト	一紙	
861	[昨朝持参願書、越中守殿老中方へ仰せところ叶わぬにつき書状]	2.16		村田恵斎	上林味ト	一紙	
862	[喜撰茶15斤5斤壺詰等につき書状]	8.13		上田口意 三瀬友仙	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
801	〔家督仰付けにつき書状〕	8. 1		有吉市郎兵衛 時展	上林味ト	一紙	
802	〔家督仰付けにつき書状〕	9.11		増田十郎左衛 門直温	上林ト意	一紙	
803	〔文姫様御壺茶詰め定式と異なる 一件等につき書状〕	11.16		岡村平蔵俊□	上林ト公	一紙	
804	〔臨時入用御茶詰めにつき書状〕	1.14		益永雲繁守	上林味ト	一紙	
805	〔年始祝詞につき札状書状〕	2. 2		朽木内匠昭久	上林味ト	一紙	
806①	〔臨時御茶御用上林又兵衛・堀正 法へ仰付けにつき書状〕	3.28		上林味ト紹美	行宗春澤 松井 繁斎 高橋春斎 □□御中	一紙	①②継合せ
806②	〔臨時御茶目録、又兵衛は書き違 い貴様と正法へ仰せにつき書状〕	4.29		松井繁斎 行宗 春澤	上林味ト	一紙	
807	〔越中殿恙なく通行、前年茶料差 引滞等につき書状〕	3.28		関九左衛門〔 〕松野加右衛 門〔〕児玉猪 左衛門〔〕他1 名	上林味ト	一紙	
808	〔当年早々出板等につき書状〕	10.28		□□	許龍	一紙	
809	〔御年貢勘定皆済の所、難儀につ き書状〕	12. 2		上林味ト	沢村主膳	一紙	
810	〔洪水の節銀子送られ等につき書 状〕	2.26				一紙	
811	〔萱野尚三郎下ノ関沖にて難船死 去等につき書状〕	3. 5		堤憶内	上林味ト	一紙	
812	〔初発より当代迄由緒書付けにつ き書状〕	天保 5.10.27	1834			一紙	
813	〔ト意、味トに改名等につき達状〕	3. 6				一紙	
814	〔去夏愛染明王一幅誤り持ち帰り 等んにつき書状〕	4. 3		法起院良敬	上林紹斎	一紙	
815	〔旦那御用出京のところ差上物断り につき書状〕	7.18		鷺見四郎左衛 門	上林味ト	一紙	
816	〔京御留主居より別紙到来につき 廻状〕	3. 6		上林味ト	星野宗以 上林 三入 堀正法他 2名	一紙	
817	〔下書等につき書状〕	.10.				一紙	
818	〔庄屋十左衛門請合印形等につき 書状〕	8.16		森崎八十右衛 門	上林味ト	一紙	
819	〔出京留守中春松に一口村より御 普請相談等につき書状〕	2.17				一紙	
820	一札(小屋を貴家建物へ引付け普 請につき)	文政 9.10.	1826	小兵衛	上林味ト	一紙	
821-1	〔別紙材勘申越につき書状〕					一紙	821巻込一括
821-2	覚(諸道具代金につき)	寅. 7.		材勘	今内丁庄屋 御 取次	一紙	
822	〔京都両寺御茶斤数等につき書状〕	10.29				一紙	
823	〔在熊本貴殿弟熊次郎、製茶指南 方用懸につき書状〕	6. 8		浅井新九郎	上林味ト	一紙	
824	〔江戸御招請御用銀子遣しにつき 書状〕	11. 7		吉村長右衛門 佳 村岡久米右 衛門照尚	上林味ト 人々 御中	一紙	
825	〔年甫嘉儀につき札状書状〕			平野九郎右衛 門長久	上林味ト	一紙	
826	〔私方も一緒に出願等につき書状〕	9. 1				一紙	
827	〔書付を御戻しにつき書状〕	6. 4				一紙	
828	〔去7月宇治川洪水居宅等被害の ため金子借用、京都青木多角へ 書付差出につき書状〕	1.28		堀平太左衛門 勝	上林味ト	一紙	
829	〔地震借財のため音物挨拶等断り につき書状〕	. 2.				一紙	
830	〔利根川荒川御普請手伝い御金才 覚等につき書状〕	.12.			山内蔵人 山内 主馬 松下長兵 衛他1名	一紙	
831	〔御亡父借用米御払延引承知につ き書状〕	4. 9		岡田又兵衛	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
772	〔新茶臨時入用急ぎ国許へ差下しにつき書状〕	8.13		松井柳庭 行宗 桃源 栗原雲佐	上林味ト	一紙	
773	〔御参向御用御茶初昔・後昔見せ本御持参上京につき書状〕	1.28				一紙	
774	〔御地扇の芝開帳参詣等につき書状〕					一紙	後欠
775	〔公儀御茶料拝借願につき書状〕	12.22		堀津長右衛門 林由	上林味ト	一紙	
776	〔寒中見舞等につき礼状書状〕	11.29		溝口藏人貞直	上林味ト	一紙	
777-1	〔ト意御目見願の通り仰付につき書状〕	天保13. 3.13	1842			一紙	777巻込一括
777-2	乍憚口上書(倅ト意、太守様伏見御通駕の節私同様御目見仰付けにつき)	天保13. 2.	1842	上林味ト	古門前・河原町 江差出ス	一紙	
778	〔御茶壺御差向き差支えのため兩三日見合せにつき書状〕	⑤.23		磯辺主馬 宇野 相馬 就出府不 能印形 森川左 中	上林味ト	一紙	
779	〔大福茶進上につき書状〕	12.23		上林味ト	宇野喜間太	一紙	
780	〔主水参府伏見行急のため入来等用捨につき廻状〕	⑨.28		沢井太左衛門 任光	上林味ト 喜多 立玄 竹田紹清 人々御中	一紙	
781	〔上林味ト先取米御茶料と差引値段等につき書状〕	3. 6		井上吉右衛門 藤掛忠右衛門	奥田小左衛門 児玉猪左衛門 松野加右衛門 他1名	一紙	
782	〔去年御茶勝り等につき書状〕	5.11		黒田又市[] 西野彦彦[]	上林味ト	一紙	
783	〔金子受取礼ならびにその金子にて仕入等につき書状〕	9.23		竹田屋平兵衛	上林 旦那 金 []	一紙	
784	〔帯刀方へ贈物につき礼状書状〕	2. 2		西条長古恒正 谷川文□茂勝 吉見林斎尚昌	上林味ト	一紙	
785	〔御亡父先年借用米返済方等につき書状〕	5.26		岡田又兵衛[] 井上半藏[]	上林味ト	一紙	
786	〔御茶料前金3ヶ年分拝借仰せ付けにつき書状〕	12.22		鈴木寿碩英胤 伊佐幸琢[] 村田恵斎尚富	上林味ト	一紙	
787	〔才覚銀日延不可につき書状〕	3.23		沢村主膳□勝	上林味ト	一紙	
788	〔沙汰人へ渡す金子等につき書状〕	5.27		木村半兵衛□ 為	□□右衛門	一紙	前欠
789	〔越中殿方へ年始につき書状〕	3. 1		吉田閨之助 可 智 竹原九右衛 門惟敏 高見権 右衛門武棟	上林味ト	一紙	
790	口上(江戸堀津長右衛門につき)	1.12				一紙	
791	〔上林平入老夏切御茶献上袋茶員数違ひにつき書状〕	.12.		村田宗三尚喜	長井貞甫 星野 宗以	一紙	
792	〔上林平入老夏切御茶献上袋茶員数違ひにつき書状〕	.12.		村田宗三尚喜	上林味ト	一紙	
793	〔浅野家紀伊から広島へ取替等につき書状〕	7.17				一紙	前欠
794	〔年賀につき礼状〕	2.28		伊藤清太夫正 □	上林味ト	一紙	
795	〔時候伺手代差越につき礼状書状〕	12. 2		有頼母立道	上林ト意	一紙	*熊本
796	〔金子此方より差登らせにつき書状〕	12. 7		中嶋長曾延秀	上林味ト	一紙	
797	〔越中殿家督済御祝儀につき礼状書状〕	10. 1		大木舎人福嵩	上林味ト	一紙	
798	〔近年物入拝借願等取上げ申さずにつき書状〕	3.15		萱野宗羽正信	上林味ト	一紙	
799	乍憚口上書(御茶御省略等仰せ出されにつき)			上林□	御内御用人宛	一紙	
800	〔別紙請取書上書、八代焼煎茶碗等につき書状〕	10. 4		松山礼馬元敏	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
744	〔土佐守へ茶釜指越につき礼状〕	3.25		山内左織〔 〕	上林味ト	一紙	
745	〔土佐守へ茶釜指越につき書状〕	5. 6		横山宗□春陽	上林味ト	一紙	
746	〔右京大夫殿へ寒中御見舞につき書状〕	2.21		吉田閏之助可智 氏家甚左衛門元春	上林味ト	一紙	
747	〔兵部大輔殿遠去につき書状〕	5.23		吉田閏之助可智 竹原九左衛門惟敏 高見権左衛門武棟	上林味ト	一紙	
748	〔改名相済み越中殿へ相達しにつき書状〕	7.11		吉田閏之助可智 竹原九左衛門惟敏 落合半次郎為明 高見権右衛門武棟	上林味ト	一紙	
749	〔越中守殿茶の用事申入につき書状〕	10. 5		吉田閏之助可智 有吉清九郎直董 竹原九左衛門惟敏他2名	上林味ト	一紙	
750	〔拝借金銀返納方申談につき差紙書状〕	2.23		米倉加左衛門重継	上林味ト	一紙	
751	〔御茶壺差向日治定につき書状〕	6. 4		若林蔵人貞弼 病中不能印候 七里弾正正緝 川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
752	〔当年御茶詰仰付け金子等遣しにつき書状〕	6. 4		若林判事貞弼 森川左門頼純 浅井将曹有政	上林味ト	一紙	
753	〔御茶入念御祝儀遣しにつき書状〕	6. 8		若林蔵人貞弼 就病氣不能印形 七里弾正正緝 川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
754	〔昨日持参の口上書、書き調えにつき書状〕	10.14		和田次兵衛助寅	上林味ト	一紙	
755	〔御祓大麻進上、御公儀祈禱上使に御茶差上につき書状〕	1.27		内宮山本大夫□□	上林峯順 人々御中	一紙	
756	〔色味悪茶詰上げにつき書状〕	1.14		羽越前守政宗	味ト	一紙	伊達政宗から
757	〔味トを竹庵跡目、三四郎を味ト跡に取立につき書状〕	7.27		武田泰安 同杏仙	上林常喜 人々御中	一紙	
758	〔先年拝借金銀返納延引につき書状〕	12.12		太撰津守資次	上林味ト	一紙	太田資次からカ
759	〔御物茶師御通茶師拝借金返納延引につき書状〕	2.23		嶋田越中守重頼	上林味ト	一紙	
760	〔宇治茶師中拝借金銀返納延引につき申渡書状〕	12.12		設肥前守貞政	上林味ト	一紙	設楽貞政からカ
761	〔御茶壺9月中旬当国着に差下すよう願につき書状〕	8.17		萱野仙游	上林味ト	一紙	
762	〔御祝儀餅等につき礼状書状〕	10.21				一紙	
763	〔土州精進日・対州精進日書上〕					一紙	前欠
764	〔改春御慶につき礼状〕	1.27		□徳院〔 〕	上林峯順	一紙	
765	〔太守様御機嫌等につき書状〕	8.28		藤田武右衛門〔 〕	〔 〕藤加兵□	一紙	
766	〔音信到来大久保加賀守申につき書状写2通〕	2. 9		御居判	上林味ト	一紙	
767	〔当地塩引鮭、薄塩鱈贈りにつき書状〕	11.13		本多安房政□	上林峯順 人々御中	一紙	
768	〔宇治田原下代星野縫右衛門御運上銀盗難一件につき礼状書状〕	6.28		金子八郎兵衛政□ 符川源太勝□ 板倉三郎左衛門〔 〕	上林掃部 同春松 同味ト 人々御中	一紙	包紙「板倉殿家頼衆ヨリ之書状」
769	〔鮭進上等につき書状〕	12. 2		大寺左衛門		一紙	
770	〔扶持半減仰付け等につき書状〕	1. 5			沢村八之進 古市宗佐 萱野甚斎他1名	一紙	
771	〔寒気伺等につき書状〕			平野九郎右衛門長久	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
712	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
713	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
714	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
715	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト	一紙	
716	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
717	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
718	〔年賀書状〕	2. 7		深尾弘人蕃頭	上林味ト	一紙	
719	〔御茶摘初め新茶差越につき書状〕	3.25		深沢外巻長貴 菅沼幡次定孝 能勢喜内正久 他1名	上林味ト	一紙	
720	〔勝手不如意仰せ越しにつき書状〕	2.19		福岡宮内孝口	上林味ト	一紙	
721	〔喜撰壺につき礼状〕	9.28		福岡宮内孝茂	上林味ト	一紙	
722	〔時候同等につき書状〕	11.13		福岡孫十郎孝則	上林味ト	一紙	
723	〔御茶摘初め新茶差越につき書状〕	. 4.		藤野九右衛門政口 岸本省吾 昭将 宮田安左衛門景厚他1名	上林味ト	一紙	
724	〔江戸下りお歓び手代国元へ差越につき書状〕	12.27		藤本津志馬正心	上林味ト	一紙	
725	〔暑気伺い夏切茶につき礼状書状〕	11. 2		堀平太左衛門勝	上林味ト	一紙	
726	〔御茶詰仰付け金子遣しにつき書状〕	6. 1		松井左馬元貞 森左市久元 森川左門頼純他1名	上林味ト	一紙	端裏書「六条御殿御納戸ヨリ丑年六月御茶詰順ばんニ付参来スル事」
727	〔年甫嘉詞につき礼状〕	3. 9		松井胃助盈之	上林味ト	一紙	
728	〔年始祝詞につき礼状〕	3. 5		松崎九郎平惟 荒木甚四郎直言 小山門喜武他1名	上林味ト	一紙	
729	〔新壺御詰請取につき書状〕	8.21		溝口蔵人政登	上林味ト	一紙	
730	〔家督御相続願の通り仰付けにつき書状〕	9. 7		溝口蔵人貞直	上林ト意	一紙	
731	〔時候見舞煎茶につき礼状書状〕	12.12		溝口蔵人貞直	上林味ト	一紙	
732	〔寒中御見舞煎茶につき礼状書状〕	1.15		三洲志津摩晴幾	上林味ト	一紙	
733	〔新年祝詞につき礼状書状〕	4.15		三洲志津摩晴幾	上林味ト	一紙	
734	〔新年祝詞につき礼状書状〕	4.15		三洲志津摩晴幾	上林三ト	一紙	
735	〔越中守家督相続祝詞につき礼状〕	10. 7		三洲志津摩晴幾	上林味ト	一紙	
736	〔上林又兵衛御目見御暇につき書状〕	1.22		角野寿見有口	上林味ト 上林春松 長井貞甫 尾崎有庵	一紙	
737	〔年始祝儀等につき礼状書状〕	1.16		村田恵斎尚防 鈴木宗清正重 野村休盛定勝	上林味ト	一紙	
738	〔御茶詰仰付け金子遣しにつき書状〕	6. 8		森左市久之 森川左門頼純 浅井将曹有政	上林味ト	一紙	
739	〔御茶壺差向け日治定につき書状〕	6.11		森川左中頼純	上林味ト	一紙	
740	〔入念御茶詰御祝儀につき書状〕	6.15		森川左中頼純	上林味ト	一紙	
741	〔御茶入念詰上鳥目遣しにつき書状〕	6.22		森川左中頼純 七里将監正緝	上林味ト	一紙	
742	〔寒中伺につき礼状書状〕	1.25		山内源蔵氏篤	上林味ト	一紙	
743	〔年賀札等につき礼状書状〕	3.25		山内太郎左衛門氏固	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
691	〔名跡相続承知につき書状〕	3.24		竹内友永政董 岡田貞俊忠篤 横山宋知春□	上林ト斎	一紙	
692	〔祈祷執行につき礼状書状〕	9.12		竹腰山城守正定	正法寺	一紙	尾張藩家老から
693	〔若殿安泰寒気伺につき礼状書状〕	1.12		田中典儀氏輝 有吉清九郎直董	永瀬七郎右衛門	一紙	
694	〔若殿安泰寒気伺につき礼状書状〕	1.24		田中八郎兵衛政直 氏家甚左衛門元春	永瀬七郎右衛門	一紙	
695	〔右京大夫殿へ年始につき書状〕	1.24		田中八郎兵衛政直 氏家甚左衛門元春	上林味ト	一紙	
696	〔若殿安泰年始祝儀につき礼状書状〕	2.15		田中八郎兵衛政直 氏家甚左衛門元春	永瀬七郎右衛門	一紙	
697	〔越中殿伏見通行の節紋服贈られにつき付礼状〕	6.25		田中八郎兵衛政直 山本三郎右衛門政方 三宅藤右衛門重弘他1名	上林味ト	一紙	
698	〔越中殿茶の用申入につき書状〕	7.24		田中八郎兵衛政直 山本三郎右衛門政方 三宅藤右衛門重弘他1名	上林味ト	一紙	
699	〔越中殿方へ暑気挨拶につき書状〕	7.24		田中八郎右衛門政直 山本三郎右衛門政方 三宅藤右衛門重弘他1名	上林味ト	一紙	
700	〔右京大夫へ寒気挨拶につき書状〕	12.18		田中八郎兵衛政直 氏家甚左衛門元春	上林味ト	一紙	
701	〔越中守殿へ寒気挨拶につき書状〕	12.29		田中八郎兵衛政直 山本三郎右衛門政方 三宅藤右衛門重弘他1名	上林味ト	一紙	
702	〔御茶詰金子遣わしにつき書状〕	6.15		津田内蔵秀篤 宇野右衛門道隆 松井左馬元貞 他国ニ付不能印形	上林味ト	一紙	
703	〔越中殿伏見通行の節時服贈られにつき書状〕	6.14		的場範之允安昔 神谷矢柄兼英 三宅藤右衛門重弘	上林味ト	一紙	
704	〔越中殿茶の用事申入につき書状〕	10. 1		的場範之允安昔 神谷矢柄兼英 三宅藤右衛門重弘	上林味ト	一紙	
705	〔石清水八幡宮神前祈祷午王杖進上につき書状〕	1. 8		中坊慶昭	上林味ト	一紙	
706	〔時候伺等につき書状〕	12.18		沼田小兵衛胤昭	上林ト意	一紙	
707	〔年頭御祝儀につき礼状〕	1.25		野間吟歌里久 永井安節正	上林味ト	一紙	
708	〔時候見舞煎茶茶壺御贈りにつき書状〕	12.25		平塚孫四郎正運 野村左一右衛門一武	上林味ト	一紙	
709	〔年始祝儀につき礼状書状〕	2.28		平野九郎右衛門長定	上林ト意	一紙	
710	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	
711	〔改年嘉詞につき書状〕	1. 1		深尾弘人蕃頭	上林味ト 人々御中	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
670	〔旧冬光来の節種々土産御茶拝領につき礼状書状〕	3.13		西□寺清□	上林味ト 御役人中	一紙	
671	〔越中殿帰国祝詞につき礼状〕	7. 1		佐田造酒助英景 津田平助長行 田中加治馬氏他2名	上林味ト	一紙	
672	〔越中殿伏見通行の節時服贈られにつき礼状書状〕	7. 1		佐田造酒助英景 津田平助長行 田中加治馬氏他2名	上林味ト 上林ト意	一紙	
673	〔越中守殿方へ年始申入につき書状〕	2.13		佐分利十右衛門長和 長谷川十之允景信 高見権右衛門武棟	上林味ト	一紙	
674	〔見廻御茶につき礼状書状〕	11.29		沢村宇右衛門友貞	上林味ト	一紙	
675	〔例年の如く御茶入念祝儀遣しにつき書状〕	5.26		七里弾正正緝川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
676	〔御壺御茶入念御祝儀鳥目遣しにつき書状〕	⑤.23		七里弾正正緝川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
677	〔御壺御茶入念御祝儀鳥目遣しにつき書状〕	6. 1		七里弾正正緝磯部主馬是清 飼田大膳辰定	上林味ト	一紙	
678	〔御茶壺御差向日取り治定につき書状〕	6. 1		七里弾正正緝川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
679	〔御茶壺御差向日取り治定につき書状〕	6. 4		七里将監正緝井上要人忠興	上林味ト	一紙	端裏書「丑年六条御殿茶詰伺ニ付御返事御用人ヨリ」
680	〔御壺御茶入念御祝儀鳥目遣しにつき書状〕	6. 4		七里弾正正緝川那部図書宗岱	上林味ト	一紙	
681	〔御壺御茶入念御祝儀鳥目遣しにつき書状〕	6.10		七里将監正緝井上要人忠興	上林味ト	一紙	
682	〔例年の如く御茶入念祝儀遣しにつき書状〕	6.16		七里弾正正備川那部帯刀宗延	上林味ト	一紙	
683	〔新茶差越につき書状〕	③.18		柴山源十郎勝從 興津善蔵長久 江口善左衛門長錫他1名	上林味ト	一紙	
684	〔越中守殿方への年始につき書状〕	1.17		嶋又左衛門暉久 吉田閏之助 可知 田中典儀氏輝他1名	上林味ト	一紙	
685	〔越中殿方への暑気伺につき書状〕	9.17		嶋又左衛門暉久 吉田閏之助 可知 田中典儀氏輝他1名	上林味ト	一紙	
686	〔越中殿着府お遊びにつき書状〕	9.17		嶋又左衛門暉久 吉田閏之助 可知 田中典儀氏輝他1名	上林味ト	一紙	
687	〔手代時候見舞等、金子遣しにつき書状〕	11.19		清水但馬勝永	上林味ト	一紙	
688	〔年甫嘉儀因幡守へ申聞祝着につき書状〕	2. 2		諏訪四郎兵衛頼敬 渡辺三左衛門恵 木村幾母正芳	上林味ト	一紙	
689	〔先頃預りの書付につき書状〕	1.15		仙石源次郎為範	上林味ト	一紙	
690	〔御茶詰白口遣しにつき書状〕	西11. 4		高橋継殿種徳	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
647	〔越中殿方へ年始につき書状〕	1.25		神谷矢柄兼英 落合半次郎為 明 長谷川仁右 衛門景信	上林味ト	一紙	
648	〔泰源院殿遠去につき礼状〕	8. 8		神谷矢柄兼英 山本三郎右衛 門政方 三宅藤 右衛門重弘他1 名		一紙	
649	〔越中殿茶の用事申達につき書状〕	9. 1		神谷矢柄兼英 山本三郎右衛 門政方 三宅藤 右衛門重弘他1 名		一紙	
650	〔御壺遣し入念茶詰につき書状〕	3.14		川那部帯刀宗 稲波求馬順 川 那部将監宗	上林味ト	一紙	
651	〔橋御壺遣し入念茶詰につき書状〕	6.18		川那部帯刀 稲 波求馬 寺田内 匠	上林味ト	一紙	
652	〔暑中御見舞のため太守様御機嫌 窺い執成願につき書状〕	6. 3		上林味ト 上林 ト意	御小姓頭衆中	一紙	
653	〔去酉年御茶料先借り拝借米上納 延引につき書状〕	7.26		上林味ト []	松下長兵衛 中 山源助様 仙石 勝蔵 井上半蔵 人々御中	一紙	
654	〔大社神前御祈祷玉串等進覧につ き書状〕	1.吉		北広左以岐清 左 富永多計知 芳久	上林味ト	一紙	
655	〔新年祝詞につき礼状書状〕	3.12		木村次郎左衛 門豊寿	上林味ト	一紙	
656	〔祝詞につき礼状〕	3.15		木村次郎左衛 門豊寿	上林味ト	一紙	
657	〔越中守殿家督祝詞につき礼状書 状〕	10.11		木村次郎左衛 門豊寿	上林味ト	一紙	
658	〔寒中見舞等につき礼状書状〕	12.28		木村次郎左衛 門豊寿	上林味ト	一紙	
659	〔年賀書状〕	1. 3		木村□□豊寧	上林巳之三郎	一紙	
660	〔土佐守在府宇治山漬塩松茸差越 につき礼状〕	12.13		桐間茂八清卓	上林味ト	一紙	
661	〔越中殿家督相続祝儀につき礼状 書状〕	10. 1		朽木内匠昭久	上林味ト	一紙	
662	〔寒中見舞等につき礼状〕	12.22		朽木内匠昭久	上林味ト	一紙	
663	〔去8月其地洪水越中殿より白銀遣 しにつき書状〕	10. 1		後藤善左衛門 貞美 落合半次 郎為明 高見権 右衛門武棟	上林ト意	一紙	
664	〔越中殿茶の用申達につき書状〕	10. 1		後藤善左衛門 貞美 落合半次 郎為明 高見権 右衛門武棟	上林ト意	一紙	
665	〔家督相続越中殿より相変らず茶 の用扶持方につき書状〕	10. 1		後藤善左衛門 貞美 落合半次 郎為明 高見権 右衛門武棟	上林ト意	一紙	
666	〔越中殿へ寒気挨拶申入につき 書状〕	12.15		後藤善左衛門 貞美 落合半次 郎為明 高見権 右衛門武棟	上林ト意	一紙	
667	〔家督相続祝詞につき書状〕	9.13		小山門喜武 上 野十平維遠 清 成八十郎房巍 他3名	上林ト意	一紙	
668	〔時候御見舞等につき礼状書状〕	12.15		小山門喜武 上 野十平維遠 清 成八十郎房巍 他3名	上林ト意	一紙	
669	〔色合損じ茶返却等につき書状〕	6.17		近藤有悦儔□	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
607	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	⑤.28		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
608	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4.11		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
609	〔右京大夫家督相統嘉詞につき礼状〕	9.29		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
610	〔年甫嘉詞につき礼状〕	2.21		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
611	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	3. 7		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
612	〔伺い等につき礼状〕	1.17		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
613	〔年甫嘉詞につき礼状〕	4.21		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
614	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	3.15		長佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
615	〔家督相統珍重につき書状〕	9. 7		長岡佐渡章之	上林ト意	一紙	*熊本
616	〔年甫嘉詞等につき礼状〕	2.18		細越中宣紀	上林味ト	一紙	*熊本
617	〔年甫嘉詞等につき礼状〕	1.29		細越中重賢	上林味ト	一紙	*熊本
618	〔手前婚姻賀詞につき礼状〕	3.19		細越中重賢	上林味ト	一紙	*熊本
619	〔年甫嘉詞等につき礼状〕	1.25		細越中宣紀	上林味ト	一紙	*熊本
620①	〔年甫祝詞等につき礼状〕	2.23		細越中重賢	上林味ト	一紙	①②継合せ *熊本
620②	〔到来怡悦につき書状〕	1.18		細越中綱利	上林味ト	一紙	*熊本
621	〔年甫嘉詞等につき礼状〕	2. 9		細越中重賢	上林味ト	一紙	*熊本
622	〔年甫嘉詞等につき礼状〕	3.15		細越中重賢	上林味ト	一紙	*熊本
623	〔寒中伺につき礼状〕	1.28		有将監立愛	上林味ト	一紙	*熊本
624	〔寒中伺につき礼状〕	2.28		有頼母立道	上林味ト	一紙	*熊本
625	〔年始祝詞につき礼状〕	2.28		有吉頼母立道	上林味ト	一紙	*熊本
626	〔年始祝詞につき礼状〕	3.17		有頼母立道		一紙	後欠 *熊本
627	〔家督相統につき書状〕	12.25		有頼母立道	上林ト意	一紙	*熊本
628	〔寒中見舞につき礼状書状〕	12.17		有織部立生	上林味ト	一紙	*熊本
629	〔家督相統につき書状〕	11.15		有吉市左衛門 時升	上林味ト	一紙	*熊本
630	〔時候見廻等につき礼状〕	12.14		有吉市左衛門 時升	上林味ト	一紙	*熊本
631	〔御茶壺入念鳥目遣しにつき書状〕	⑤.24		磯辺主馬 宇野 相馬 森川左中	上林味ト	一紙	
632	〔ト意家督相統承知につき書状〕	3.22		稲葉友右衛門 影泰	上林味ト	一紙	
633	〔新茶差越につき礼状〕	. 3.		井上口之助 塩 山丹宮 進藤次 郎左衛門他1名	上林味ト	一紙	
634	〔御茶壺世話金子遣しにつき書状〕	5.26		宇野喜間太 藤 井此西 川野部 右京	上林味ト	一紙	
635	〔祖母懷御茶壺差上金子遣しにつ き書状〕	7.29		宇野内記 松井 内匠 森川左中	上林味ト	一紙	
636	〔御茶話上鳥目遣しにつき書状〕	9.26		宇野内記直次 松井内匠元貞 森川左中頼純	上林味ト	一紙	
637	〔越中殿茶の用事申達につき書状 〕	8.17		大河原次郎九 郎郡剛 有吉清 九郎真董 長谷 川十之允景信	喜多立玄	一紙	
638	〔越中殿死去悔やみにつき礼状〕	10. 1		大木舎人福嵩	上林味ト	一紙	
639	〔家督相統につき書状〕	10.25		大木舎人福嵩	上林ト意	一紙	
640	〔時候伺等につき書状〕	11.15		大木舎人福嵩	上林味ト	一紙	
641	〔新年祝詞につき礼状書状〕	4.29		小笠原備前長 洪	上林味ト	一紙	*熊本
642	〔時候伺等につき礼状書状〕	12.25		小笠原大部長 洪	上林味ト	一紙	*熊本
643	〔寒中見舞等につき礼状書状〕	12.28		小笠原備前長 洪	上林味ト	一紙	*熊本
644	〔当年御茶話金子等遣しにつき書状〕	⑤.24		尾崎奎之尉信 盛 横田志津馬 是行 長井越後 経之他1名	上林味ト	一紙	
645	〔願意取り立て難く金子遣しにつ き書状〕	7.23		小畑六左衛門 貞因 鷺見四郎 左衛門保	上林味ト	一紙	
646	〔時候見舞柴船1壺につき礼状書 状〕	⑧.10		柏木文右衛門 質 荒木甚四郎 直言 小山門喜 武	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
545	〔包紙〕			長岡山城	上林味ト	一紙	545～546ひも一括
546	〔包紙〕			長図書	上林味ト	一紙	
547	〔年甫嘉儀等につき礼状書状〕	5. 1		長岡主水當之	上林味ト	一紙	*熊本
548	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長和泉興増	上林味ト	一紙	*熊本
549	〔宇治山漬松茸につき礼状〕	10.24		長岡監物は容	上林味ト	一紙	*熊本
550	〔時候伺い等につき礼状〕	12.15		長岡監物は容	上林味ト	一紙	*熊本
551	〔時候伺い等につき礼状〕	2.15		長岡監物は容	上林味ト	一紙	*熊本
552	〔年始嘉儀等につき礼状〕	4.11		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
553	〔年始嘉儀等につき礼状〕	2.27		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
554	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
555	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
556	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
557	〔宇治山漬松茸につき礼状〕	4.15		長図書興礼	上林味ト	一紙	*熊本
558	〔出府嘉詞につき礼状〕	酉. 6.12		長岡山城督之	上林味ト 上林ト意	一紙	*熊本
559	〔年甫嘉儀等につき礼状書状〕	3. 1		長岡山城督之	上林味ト	一紙	*熊本
560	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長左仲興泰	上林味ト	一紙	*熊本
561	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長左仲興泰	上林味ト	一紙	*熊本
562	〔家督相統祝詞等、宇治山漬松茸につき礼状〕	2. 7		長左仲興泰	上林味ト	一紙	*熊本
563	〔越中殿家督相済嘉詞につき礼状〕	②. 5		長岡帯刀徹之	上林味ト 上林ト意	一紙	*熊本
564	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4. 2		長岡帯刀盈之	上林味ト	一紙	*熊本
565	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	10. 5		長岡帯刀盈之	上林味ト	一紙	*熊本
566	〔寒中伺い漬松茸につき礼状〕	2. 9		長岡帯刀徹之	上林味ト	一紙	*熊本
567	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	5.25		長岡帯刀	上林味ト	一紙	*熊本
568	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4.25		長岡帯刀徹之	上林味ト	一紙	*熊本
569	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4.15		長岡帯刀盈之	上林味ト	一紙	*熊本
570	〔新年祝詞につき礼状書状〕	4.15		長岡与三郎昭柄	上林味ト	一紙	*熊本
571	〔時候伺等につき礼状〕	12.15		長岡監物は豪	上林味ト	一紙	*熊本
572	〔越中守殿家督相統芳簡につき礼状〕	12. 1		長岡監物は豪	上林味ト	一紙	*熊本
573	〔年甫嘉詞につき礼状〕	2.15		長岡監物は豪	上林味ト	一紙	*熊本
574	〔越中守死去悔み等につき礼状〕	11. 5		長岡監物は豪	上林味ト	一紙	*熊本
575	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
576	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.26		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
577	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
578	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
579	〔越中守家督相統済につき礼状〕	10. 1		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
580	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
581	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林ト意	一紙	*熊本
582	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
583	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
584	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
585	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
586	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
587	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
588	〔椎茸進み入れにつき書状〕	4.15		長刑部興昌	上林味ト	一紙	*熊本
589	〔年甫嘉詞につき礼状〕	8.28		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
590	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	2. 1		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
591	〔寒中見舞等につき礼状書状〕	12.28		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
592	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	3.18		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
593	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4. 3		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	後欠 *熊本
594	〔寒中見舞等につき礼状書状〕	1.17		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
595	〔越中守死去悔み等につき礼状〕	9.29		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
596	〔生母死去悔やみにつき礼状〕	1.17		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
597	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4. 9		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
598	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	4.21		長佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
599	〔下表嘉詞につき礼状〕	3.11		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
600	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	5.15		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
601	〔伺い等につき礼状〕	1.21		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
602	〔畝多木綿進み入れにつき書状〕	2.18		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
603	〔寒中伺い等殊につき礼状〕	1.28		長岡佐渡	上林味ト	一紙	*熊本
604	〔年甫嘉詞につき礼状〕	3. 7		長佐渡章之	竹田紹清	一紙	*熊本
605	〔年甫嘉詞につき礼状〕	2.24		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本
606	〔寒中伺い等殊につき礼状〕	12.21		長岡佐渡章之	上林味ト	一紙	*熊本

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
494	〔細川越中守・松平土佐守・酒井修理大夫等より拝借金覚書〕					横帳	
495	者頭者奉行心持之事 付使番不存不叶箇条之事	万治 1.11.吉	1658	小幡勘兵衛尉景憲		縦帳	
496	〔寛文9年延宝3年拝借金銀証文写帳〕	寛文9・延宝3	1669 1675			縦帳	
497	〔寛文9年延宝3年拝借金銀上納之覚〕	享保 5. 1.	1720			縦帳	
498	〔寛文9年延宝3年拝借金銀返納請取書控〕	延宝3～宝永	1675			縦帳	
499	〔丹波国何鹿郡上林庄遊里村室尾谷大明神神位奉授等文書写〕	正徳5～明治6	1715			縦帳	
500	〔上林門太郎知行米納方等につき願書等写〕	寛延2～明和8	1749			縦帳	
501	公儀諸方文言帳	宝暦 5. 1.吉	1755			横帳	
502	安永二巳年御宿一件	安永 2.	1773			縦帳	
503	御茶料訳書(御茶料引下難渋につき)	亥.6.		上林味ト	肥後 御会所	縦帳	
504	家督之節・御神文之節万事控長	天明 7. 5.吉	1787			横帳	
505	〔公儀年貢米上納指詰まりのため江戸願につき取なし願書状案〕					一紙	後欠
506	〔婚礼嘉詞等につき礼状〕	12.11		松土佐守豊資	上林味ト	一紙	*土佐
507	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	1.23		松土佐守豊敷	上林味ト	一紙	*土佐
508	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	2.28		松土佐守豊雍	上林味ト	一紙	*土佐
509	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	3.21		松土佐守豊資	上林味ト	一紙	*土佐
510	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	4.11		松土佐守豊敷	上林味ト	一紙	*土佐
511	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	3. 8		松土佐守豊熙	堀正法	一紙	*土佐
512	〔土佐守不幸につき書状〕	6. 1		松政太郎豊資	上林味ト	一紙	*土佐
513	〔四品叙嘉儀等につき礼状〕	③. 1		松土佐守豊範	上林味ト	一紙	*土佐
514	〔年甫嘉儀等につき礼状〕	3. 1		松土佐守豊資	上林味ト	一紙	*土佐
515	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒修理大夫忠義	上林味ト	一紙	*小浜
516	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒修理大夫忠貫	上林味ト	一紙	*小浜
517	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒若狭守忠氏	上林味ト	一紙	*小浜
518	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒讃岐守忠進	上林味ト	一紙	*小浜
519	〔当茶入念につき書状〕	4.16		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
520	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
521	〔当茶入念につき書状〕	4.16		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
522	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒修理大夫忠義	上林味ト	一紙	*小浜
523	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒若狭守忠氏	上林味ト	一紙	*小浜
524	〔当茶入念につき書状〕	5.11		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
525	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒若狭守忠氏	上林味ト	一紙	*小浜
526	〔当茶入念につき書状〕	4.15		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
527	〔当茶入念につき書状〕	4.16		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
528	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒修理大夫忠義	上林味ト	一紙	*小浜
529	〔当茶入念につき書状〕	4.16		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
530	〔当茶入念につき書状〕	4.17		酒若狭守忠氏	上林味ト	一紙	*小浜
531	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒若狭守忠義	上林味ト	一紙	*小浜
532	〔当茶入念につき書状〕	4.11		酒修理大夫忠義	上林味ト	一紙	*小浜
533	〔当茶入念につき書状〕	4. 5		酒修理大夫忠義	上林味ト	一紙	*小浜
534	〔当茶入念につき書状〕	4.21		酒讃岐守忠進	上林味ト	一紙	*小浜
535	〔煎茶につき礼状〕	11.29		井河内守正甫	上林味ト	一紙	
536	〔年頭嘉詞につき礼状〕	1.15		井河内守正直	上林味ト	一紙	
537	〔年頭嘉詞につき礼状〕	2.15		井河内守正直	上林味ト	一紙	
538	〔年頭嘉詞につき礼状〕	2.25		井河内守正直	上林味ト	一紙	
539	〔時候伺いにつき礼状〕	12. 5		井河内守正直	上林味ト	一紙	
540	〔寒中伺いにつき礼状〕	12. 9		井河内守正直	上林味ト	一紙	
541	〔時候伺いにつき礼状〕	11.18		井河内守正春	上林味ト	一紙	
542	〔年頭嘉詞につき礼状〕	1. 6		井河内守正直	上林味ト	一紙	
543	〔年頭嘉詞等につき礼状〕	2. 8		井河内守正甫	上林味ト	一紙	
544-1	〔新春祝儀、中納言様へ年始献上物等につき書状〕	1. 2		野村休盛宗勝	上林味ト	一紙	544重ね折り一括
544-2	〔病氣見舞書状〕	11.18		桜井宗恩□□	上林浄喜御店	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
458	仲々間勘定帳	文化 2. 7.	1805	御物年行事	各様	横帳	
459	諸用書留日記(仲間廻文写)	文化15. 5. 吉	1818	上林紹正		縦帳	
460①	肥後御隠居様之御部屋様御入諸留	文政 3. 3.	1820	上林定之進		縦帳	①②綴一括
460②	下ノ御殿御成諸留	文政 3. 3.	1820	上林十二		縦帳	
461-1	誓詞願一件(上林味ト三入初めて御召壺につき)	文政13.③	1830			縦帳	461-1に2~5結付け
461-2	[両人誓詞日限につき書状]	4.28				一紙	包紙
461-3	[誓詞につき書状]	寅. 4.			上林味ト 上林三入	一紙	
461-4	[御用につき差紙]	4.27		上又兵衛 上栄次郎	上林味ト 上林三入	一紙	
461-5	[誓詞につき松平伯耆守出向につき差紙]	寅 4.28			上林味ト 上林三入	一紙	
462	御初入御宿賦帳	文政 9. 6.	1826	上林		縦帳	
463	太守様御宿賦帳	文政10. 3.	1827			縦帳	
464	肥後京都御役所ヨリ御館入之御茶師銘々御尋ニ付書上ヶ置候由緒書之写	文政12. 8.	1829	上林十二		縦帳	
465	八代目紹美隠居・九代目紹正家督願書留	文政12.10. 5	1829			縦帳	
466	[縦帳断簡]					縦帳	虫損
467	[由緒書 親類書]	文政12. 8.	1829	上林味ト	上林栄次郎 上林隼之助	縦帳	
468	改正堅メ書(郷中借財、百姓惣代入札等)					縦帳	虫損
469	年中入用積り書	寅. 8.		上林味ト		横帳	
470	藪内茶室之図	天保 4. 1.13	1833			横帳	
471	御宿記録	天保 7.	1836	政為		縦帳	
472	銀子請取通(大工渡賃等)	天保 8. 5.	1837	上林十二	柿屋与兵衛殿	横帳	
473	御茶・御煎口銘			上林味ト		横帳	虫損
474	万控帳	弘化 2. 9. 吉	1845	御茶師上林		横帳	
475	[白杉専九郎宛家督相続につき書状等写]	嘉永 3 ほか	1850			縦帳	
476	[手代岩上半兵衛江戸へ差下し薩州・土州・若州等諸家へ願書差上げ滞府中次第]	嘉永 7. 8.22	1854			縦帳	
477	[和歌帳カ]	明治11. 7.10	1878	政道		横帳	
478	御由緒書(細川家代御茶御用)	明治 1.10.	1868	上林味ト		縦帳	
479	御登り壺之事					横帳	
480	御袋御茶師・御通御茶師・御買上ヶ御茶・諸識人金銀相渡シ算用之控帳	享保 3. 6.	1718			横帳	
481	役割(奥・勝手等手伝方人名書付)					横帳	
482	三仲々間列書印鑑(上林味ト他10名)					横帳	
483	[花入茶入等茶道につき覚書]					横帳	
484	[囲之内心得並石州百首等]					横帳	
485	乍憚奉願上候口上之覚(20人扶持仰付け願等写)					縦帳	*熊本
486	乍恐奉願上候口上書(扶持方減少、洪水により借宅のため付扶持方30人へ立直しにつき)					縦帳	*熊本
487	覚(毎年御年貢上納・滞御年貢・借物高等書付上)					縦帳	
488	四月廿九日上遷宮子上刻任先例白蒸沓重宛配り各前御橋御掛り御役人(裏面祈禱願主書上)					縦帳	
489	親類書(天明7年名跡相続につき)					縦帳	
490	手続口上書(白川村六石山差戻し上林味ト取扱一件書状控)					縦帳	
491	土州公三月廿四日宇治表江御入事	午. 3.24				横帳	
492	肥後御小性頭中御茶道方江之頼書 訳書写			上林味ト		縦帳	
493	訳書(教如・宣如両上人以来御用め、宝暦15年洪水等難渋につき御用願)	戌. 2.		上林味ト		横帳	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
451-7	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	寛政 5.11.23	1793	岩間半十郎 小見山七郎右衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-8	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	寛政 5.11.23	1793	岩間半十郎 小見山七郎右衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-9	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当子年分)	寛政 4.11.23	1792	海野新左衛門 中嶋宇右衛門 春田半十郎他2名	上林味ト	一紙	
451-10	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	寛政 4.11.23	1792	海野新左衛門 中嶋宇右衛門 春田半十郎他2名	上林味ト	一紙	
451-11	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当寅年分)	寛政 6.11.24	1794	杉浦主膳 三枝甚四郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-12	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	寛政 6.11.24	1794	杉浦主膳 三枝甚四郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-13	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当卯年分)	寛政 7.11.23	1795	山本新右衛門 土屋伊三郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-14	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	寛政 7.11.23	1795	山本新右衛門 土屋伊三郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-15	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当辰年分)	寛政 8.11.23	1796	都筑長十郎 戸田庄左衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-16	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当辰年分)	寛政 8.11.23	1796	都筑長十郎 戸田庄左衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-17	請取申銀子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	寛政 9.11.23	1797	服部安右衛門 市岡佐兵衛 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-18	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	寛政 9.11.23	1797	服部安右衛門 市岡佐兵衛 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-19	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	寛政10.11. 2	1798	飯高三蔵 坂本岩次郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-20	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当午年分)	寛政10.11. 2	1798	飯高三蔵 坂本岩次郎 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-21	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当未年分)	寛政11.11. 2	1799	三宅久三郎 都筑市左衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-22	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	寛政11.11. 2	1799	三宅久三郎 都筑市左衛門 勝屋老之助他3名	上林味ト	一紙	
451-23	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	寛政12.11. 2	1800	山口勝三郎 窪嶋佐左衛門 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	
451-24	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当申年分)	寛政12.11. 2	1800	山口勝三郎 窪嶋佐左衛門 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	
452	橋姫社住吉社 上遷宮下遷宮(宇治橋掛け直し両社普請につき控書)	寛政4.12.	1792			縦帳	裏表紙に橋姫社・住吉社絵図1点結付け
453	年行司諸控	寛政 9. 1. 吉	1797	紹美		横帳	
454	勘定書(火事見舞等入用につき)	寛政11. 7.	1799			横帳	
455	[京都所司代町奉行への年頭御礼等寛政12年御物年行事控帳カ]					縦帳	
456	由緒書	享和3.①.	1803	八代目上林味ト	上林六郎 上林又兵衛	縦帳	
457	親類書	享和 4. 2.	1804	上林味ト		縦帳	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
443-16	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	天保 7.11.23	1836	小沢猪三郎 小幡監物 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-17-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当酉年分)	天保 8.11.23	1837	服部伊之助 平野与左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	443-17包紙一括
443-17-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当酉年分)	天保 8.11.23	1837	服部伊之助 平野与左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-18	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	天保11.11. 2	1840	山本数馬 寛鹿之助 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
443-19	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当子年分)	天保11.11. 2	1840	山本数馬 寛鹿之助 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
443-20	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当卯年分)	天保14.11. 2	1843	下枝口三郎 河村主水 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
443-21	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	天保14.11. 2	1843	下枝口三郎 河村主水 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
444	古拝借不納之分返上納金之事(寛文9年拝借金につき)	宝暦12.④.	1762	上林味ト	興津能登守 鶴殿出雲守 葉若平太夫他2名	一紙	
445	覚(古拝借金銀手形等写につき)	宝暦12. 5.	1762	上林味ト		一紙	
446-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当未年分)	宝暦13.12. 2	1763	窪田惣三郎 戸田新蔵 中根喜四郎他3名	上林味ト	一紙	446包紙一括
446-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	宝暦13.12. 2	1763	窪田惣三郎 戸田新蔵 中根喜四郎他3名	上林味ト	一紙	
447	覚(古拝借金銀手形、上林又兵衛より受取につき)	(明和2) 9. 4	1765	上林味ト	御物御年行事	一紙	
448-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	文政12.11. 2	1829	河嶋鉄之助 鎮目牧太 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	448包紙一括
448-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	文政12.11. 2	1829	河嶋鉄之助 鎮目牧太 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	
449	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	文政13.11. 2	1830	小野勘解由 太田健左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
450	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	天保 9.11.23	1838	青木八五郎 真野半助 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
451-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当酉年分)	寛政 1.11.23	1789	永田松次郎 清野半右衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	451包紙一括
451-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当酉年分)	寛政 1.11.23	1789	永田松次郎 清野半右衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
451-3	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	寛政 2.11.23	1790	柳原佐太郎 小長谷十郎右衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
451-4	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	寛政 2.11.23	1790	柳原佐太郎 小長谷十郎右衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
451-5	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当亥年分)	寛政 3.11.23	1791	伴吉五郎 羽太織部 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
451-6	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当亥年分)	寛政 3.11.23	1791	伴吉五郎 羽太織部 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
442-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	弘化 2.11.23	1845	西山喜六郎 花井惣九郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
442-3	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当辰年分)	天保15.11. 2	1844	鈴木清左衛門 美濃部鉄之助 近山藤四郎他2名	上林味ト	一紙	
442-4	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当辰年分)	天保15.11. 2	1844	鈴木清左衛門 美濃部鉄之助 近山藤四郎他2名	上林味ト	一紙	
442-5	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	天保13.11. 2	1842	阿部新四郎 三雲新左衛門 近山藤四郎他2名	上林味ト	一紙	
442-6	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当寅年分)	天保13.11. 2	1842	阿部新四郎 三雲新左衛門 近山藤四郎他2名	上林味ト	一紙	
443-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	文政 2.11.23	1819	大河原八十郎 河村三郎兵衛 大塚伝蔵他3名	上林味ト	一紙	443包紙一括
443-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当卯年分)	文政 2.11.23	1819	大河原八十郎 河村三郎兵衛 大塚伝蔵他3名	上林味ト	一紙	
443-3	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	文政 9.11.23	1826	石丸市左衛門 窪田助左衛門 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	
443-4	請取申金子之事(寛文9年拝借金の当戌年分)	文政 9.11.23	1826	石丸市左衛門 窪田助左衛門 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	
443-5	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	天保 2.11.23	1831	安藤亀之助 木村万五郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-6	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当卯年分)	天保 2.11.23	1831	安藤亀之助 木村万五郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-7	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当辰年分)	天保 3.11.23	1832	石丸市左衛門 川崎六郎左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-8	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当辰年分)	天保 3.11.23	1832	石丸市左衛門 川崎六郎左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-9	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	天保 4.11.23	1833	駒井内記 久保留三郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-10	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	天保 4.11.23	1833	駒井内記 久保留三郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-11	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	天保 5.11.23	1834	山本数馬 水上右近 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-12	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当午年分)	天保 5.11.23	1834	山本数馬 水上右近 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-13	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	天保 6.11.25	1835	伊丹清太郎 久保佐十郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-14	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当未年分)	天保 6.11.25	1835	伊丹清太郎 久保佐十郎 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
443-15	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当申年分)	天保 7.11.23	1836	小沢猪三郎 小幡監物 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
427	覚(寛文9年拝借金・延宝3年拝借銀につき残金勘定)	子. 2.		上林味ト		一紙	虫損
428	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	文久 2.11.23	1862	服部訓次郎 多田新八郎 山田秀之助他3名	上林味ト	一紙	
429	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	文久 2.11.23	1862	服部訓次郎 多田新八郎 山田秀之助他3名	上林味ト	一紙	
430	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	天保 9.11.23	1838	青木八五郎 真野半助 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
431	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当亥年分)	天保10.11. 2	1839	萩原鉄之進 林平八郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
432	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当亥年分)	天保10.11. 2	1839	萩原鉄之進 林平八郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
433	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	天保12.11. 2	1841	神谷伊織 高尾学之丞 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
434	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	天保12.11. 2	1841	神谷伊織 高尾学之丞 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
435	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当寅年分)	文政13.11. 2	1830	小野勘解由 太田健左衛門 幸田金一郎他3名	上林味ト	一紙	
436	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	嘉永 1.11.23	1848	跡部三郎兵衛 服部九十郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
437	覚(寛文9年拝借金・延宝3年拝借銀上納次第)					一紙	虫損
438	覚(寛文9年3月上林味ト拝借金銀上納高・残高書上)	元禄11. 2.18	1698			一紙	虫損
439	古拝借不納之分返上納銀之事(延宝3年拝借銀につき)	宝暦12.④.	1762	上林味ト	興津能登守 鶴殿出雲守 葉若平太夫他2名	一紙	
440	覚(上林味ト寛文9年拝借金不納の分手形改めにつき)	宝暦12.④.	1762	松前筑前守 小林阿波守	興津能登守 鶴殿出雲守 葉若平太夫他3名	一紙	
441-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当酉年分)	享和 1.11.23	1801	植村庄右衛門 富永六郎左衛門 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	441包紙一括
441-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当酉年分)	享和 1.11.23	1801	植村庄右衛門 富永六郎左衛門 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	
441-3	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	享和 2.11.23	1802	矢部卯之吉 河内猪三郎 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	虫損
441-4	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当亥年分)	享和 3.11.23	1803	服部安右衛門 小林鉄次郎 在府二付無印形 高野一郎左衛門他3名	上林味ト	一紙	
441-5	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当亥年分)	享和 3.11.23	1803	服部安右衛門 小林鉄次郎 在府二付無印形 高野一郎左衛門他3名	上林味ト	一紙	
441-6	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	享和 2.11.23	1802	矢部卯之吉 河内猪三郎 村山半太夫他3名	上林味ト	一紙	
442-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	弘化 2.11.23	1845	西山喜六郎 花井惣九郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	442包紙一括

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
412-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当酉年分)	文化10.11. 2	1813	野間清次郎 斎藤伊右衛門 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
413-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	文化14.11. 2	1817	逸見嘉兵衛 飯室喜太郎 大塚伝蔵他3名	上林味ト	一紙	413包紙一括
413-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	文化14.11. 2	1817	逸見嘉兵衛 飯室喜太郎 大塚伝蔵	上林味ト	一紙	
414-1	拝借仕金子之事	寛文 9.10.23	1669	上林味ト	彦坂孝岐守 石丸石見守 長田伝左衛門他3名	一紙	414包紙一括
414-2	請取申拝借銀之事	延宝 3.11.16	1675	上林味ト	彦坂孝岐守 石丸石見守 寛五太夫他3名	一紙	
415	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当寅年分)	文政 1.11.23	1818	本多鞍負 大岡権左衛門 大塚伝蔵他3名	上林味ト	一紙	
416	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	文政 1.11.23	1818	本多鞍負 大岡権左衛門 大塚伝蔵他3名	上林味ト	一紙	
417	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の当辰年分)	文政 3.11.23	1820	志村税之助 室与十郎 大塚伝蔵他2名	上林味ト	一紙	
418	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当辰年分)	文政 3.11.23	1820	志村税之助 室与十郎 大塚伝蔵他2名	上林味ト	一紙	
419-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	文政 4.11.23	1821	大草熊五郎 服部権右衛門 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	419包紙一括
419-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	文政 4.11.23	1821	大草熊五郎 服部権右衛門 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	
420	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	文政 5.11.23	1822	天野忠右衛門 平野熊三郎 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	
421	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当午年分)	文政 5.11.23	1822	天野忠右衛門 平野熊三郎 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	
422-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	文政 6.11.23	1823	速水織之助 廣戸半十郎 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	422包紙一括
422-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当未年分)	文政 6.11.23	1823	速水織之助 廣戸半十郎 朝倉次郎右衛門他3名	上林味ト	一紙	
423-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	文政11.11. 2	1828	大石四郎左衛門 河野弥右衛門 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	423包紙一括
423-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当子年分)	文政11.11. 2	1828	大石四郎左衛門 河野弥右衛門 山岡仁右衛門他3名	上林味ト	一紙	
424	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当申年分)	嘉永 1.11.23	1848	跡部三郎兵衛 服部九十郎 近山藤四郎他3名	上林味ト	一紙	
425	覚(拝借銀請取雛形)			御物年行事 誰	上林又兵衛	一紙	
426	[御茶師共古拝借金銀大坂御金蔵へ返納につき二条表より上林又兵衛へ仰渡写]	(宝暦13)未. 1	1763			一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
408-5	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	文化 3.11.23	1806	横山源助 長田喜左衛門 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-6	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当寅年分)	文化 3.11.23	1806	横山源助 長田喜左衛門 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-7	請取申金子之事(寛文9年の内当辰年分)	文化 5.11.23	1808	阿部新右衛門 戸田八五郎 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-8	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当辰年分)	文化 5.11.23	1808	阿部新右衛門 戸田八五郎 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-9	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	文化 6.11.23	1809	市川瀬兵衛 南條太兵衛 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-10	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当巳年分)	文化 6.11.23	1809	市川瀬兵衛 南條太兵衛 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-11	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	文化 4.11.23	1807	荒尾左源太 小宮山八五郎 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-12	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当卯年分)	文化 4.11.23	1807	荒尾左源太 小宮山八五郎 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-13	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当午年分)	文化 7.11.23	1810	石巻八十郎 加藤権右衛門 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-14	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	文化 7.11.23	1810	石巻八十郎 加藤権右衛門 坂井十之助他3名	上林味ト	一紙	
408-15	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当未年分)	文化 8.11.23	1811	佐々木金右衛門 都筑市左衛門 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
408-16	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	文化 8.11.23	1811	佐々木金右衛門 都筑市左衛門 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
408-17	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当申年分)	文化 9.11.23	1812	多田市右衛門 寛門三郎 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
408-18	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	文化 9.11.23	1812	多田市右衛門 寛門三郎 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
409-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	文化13.11. 2	1816	宮重八十之助 桜井八太郎 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	409包紙一括
409-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当子年分)	文化13.11. 2	1816	宮重八十之助 桜井八太郎 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
410-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当亥年分)	文化12.11. 2	1815	安藤典膳 布施十兵衛 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	410包紙一括
410-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当亥年分)	文化12.11. 2	1815	安藤典膳 布施十兵衛 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
411-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	文化11.11. 2	1814	花井惣九郎 鈴木清蔵 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	411包紙一括
411-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当戌年分)	文化11.11. 2	1814	花井惣九郎 鈴木清蔵 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	
412-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当酉年分)	文化10.11. 2	1813	野間清次郎 斎藤伊右衛門 鶴殿三郎九郎他3名	上林味ト	一紙	412包紙一括

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
403-5	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	安永 4.11.23	1775	松平市三郎 木造清左衛門 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	
403-6	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当未年分)	安永 4.11.23	1775	松平市三郎 木造清左衛門 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	
403-7	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	安永 5.11.23	1776	鈴木玄蕃 小川長左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-8	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当申年分)	安永 5.11.23	1776	鈴木玄蕃 小川長左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-9	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当酉年分)	安永 6.11.23	1777	三橋源蔵 小野三郎右衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-10	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当酉年分)	安永 6.11.23	1777	三橋源蔵 小野三郎右衛門 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
403-11	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当子年分)	安永 9.11.23	1780	戸田五郎左衛門 佐々木新左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-12	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当戌年分)	安永 7.11.23	1778	青沼又兵衛 宇佐美靱負 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-13	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当戌年分)	安永 7.11.23	1778	青沼又兵衛 宇佐美靱負 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-14	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	安永 9.11.23	1780	戸田五郎左衛門 佐々木新左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
404	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	天明 3.11.23	1783	寛源左衛門 大岡十郎兵衛 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
405	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当卯年分)	天明 3.11.23	1783	寛源左衛門 大岡十郎兵衛 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
406	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	天明 5.11.23	1785	寺尾善左衛門 本多喜三郎 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
407	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当巳年分)	天明 5.11.23	1785	寺尾善左衛門 本多喜三郎 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	虫損
408-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当子年分)	文化 1.11.23	1804	日根野甚五郎 石川七左衛門 高野一郎左衛門他3名	上林味ト	一紙	408包紙一括
408-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当子年分)	文化 1.11.23	1804	日根野甚五郎 石川七左衛門 高野一郎左衛門他3名	上林味ト	一紙	
408-3	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	文化 2.11.23	1805	高室四郎左衛門 松平鉄三郎 在府ニ付無印形 山本儀助他2名	上林味ト	一紙	
408-4	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	文化 2.11.23	1805	高室四郎左衛門 松平鉄三郎 在府ニ付無印形 山本儀助他2名	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
398-5	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当卯年分)	天明 3.11.23	1783	寛源左衛門 大岡十郎兵衛 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-6	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当卯年分)	天明 3.11.23	1783	寛源左衛門 大岡十郎兵衛 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-7	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当辰年分)	天明 4.11.23	1784	根岸三太夫 坂部舍人 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-8	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当辰年分)	天明 4.11.23	1784	根岸三太夫 坂部舍人 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-9	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当巳年分)	天明 5.11.23	1785	寺尾善左衛門 本多喜三郎 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-10	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	天明 5.11.23	1785	寺尾善左衛門 本多喜三郎 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-11	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	天明 6.11.23	1786	江原九郎右衛門 三浦藤左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-12	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当午年分)	天明 6.11.23	1786	江原九郎右衛門 三浦藤左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-13	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当未年分)	天明 7.11.23	1787	鈴木兵庫 森川主馬 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-14	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当未年分)	天明 7.11.23	1787	鈴木兵庫 森川主馬 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-15	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	天明 8.11.23	1788	石川七郎右衛門 鳥居小左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
398-16	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当申年分)	天明 8.11.23	1788	石川七郎右衛門 鳥居小左衛門 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
399	覚(寛文年中拝借金手形等請取)	明和 2. 9. 4	1765	上林味ト	上林又兵衛	一紙	
400	上納仕金子之事(先祖拝借金の内去西より当子まで4ヶ年分)	明和 5.12.22	1768	御物御茶師九人之内上林味ト	曲渕甲斐守 室賀山城守 中根喜四郎他3名	一紙	
401	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当亥年分)	安永 8.11.23	1779	矢部彦五郎 佐野平一郎 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
402	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当亥年分)	安永 8.11.23	1779	矢部彦五郎 佐野平一郎 酒井与左衛門他3名	上林味ト	一紙	
403-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当巳年分)	安永 2.11.23	1773	阿部新右衛門 服部源兵衛 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	403包紙一括
403-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当巳年分)	安永 2.11.23	1773	阿部新右衛門 服部源兵衛 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	
403-3	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当午年分)	安永 3.11.23	1774	朝日十右衛門 桜井源右衛門 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	
403-4	請取申銀子之事(延宝3年拝借金の内当午年分)	安永 3.11.23	1774	朝日十右衛門 桜井源右衛門 春田半十郎他3名	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
377	[上林徳順等につき書状写]	8.21		細越中	伊喜介御宿所	一紙	
378	[奉書礼状案につき回状]	1.25		年行事	各様	一紙	
379	覚(上林門太郎等銀高書上)	亥. 5.29		上林味ト	野中助十郎 桜井惣次	一紙	
380	御茶料手形	亥. 5.25		上林味ト	鈴木宗栄 御執次	一紙	
381	覚(戌年御茶料判金請取)	戌. 6.11		岡田和助	上林味ト	一紙	
382	口上書(御壺箱等2割増につき)	戌. 3.		上林味ト	古門前御会所	一紙	
383	奉願候口上覚(銀子拝借等につき)	申. 12.18		上林味ト		一紙	
384	乍恐奉願口上書(洪水難儀等のため滞扶持方拝領につき)	申. 7.		上林味ト	松村伝左衛門	一紙	
385	乍恐奉願候口上覚(水難居宅流失のため銀子拝借につき)	申. 2.		上林味ト	御納戸中	一紙	
386	乍恐奉願口上之覚(大困窮のため再応銀拝借につき)	未. 8.		上林味ト	栗津玄蕃 坪坂覚次 宇野留八他1名	一紙	
387	乍恐奉願口上之覚(難渋のため銀子拝借につき)	未. 7.		上林味ト	御納戸栗津玄蕃 宇野留八坪坂覚次	一紙	
388	覚(御茶代、大洪紙代、御茶壺入長持棹江戸まで日雇賃銀等請取)	未. 2.		梅林宗雪 森江宗左衛門 船川太郎八他4名	御銀方御役人所	一紙	
389	乍恐再応奉願候口上覚(洪水居屋鋪流失のため再応銀拝借につき)	午. 1.		上林味ト 倅上林ト意	京都御役人衆中 青木多角	一紙	
390	乍恐奉願口上(煎茶御用御礼、以後仰付け等につき)	巳. 8.		上林味ト	御茶道中	一紙	
391	乍恐奉願口上覚(当年御茶壺御宿のため銀子拝借につき)	巳. 4.		上林味ト	矢野清右衛門 横山権右衛門	一紙	
392	[銀子拝借につき再応願書]	辰.11.		上林味ト	肥後京都御役所	一紙	前欠
393	乍恐追而奉願候口上書(水難等難渋のため銀子拝借につき)	辰.11.		上林味ト	肥後京都御役所	一紙	
394	乍恐奉願口上覚(別紙書付につき)	辰.10.15		上林味ト	香川勘左衛門 石野次郎左衛門	一紙	
395	乍憚奉願口上書(来春太守様伏見御殿着座の際、倅ト意に御目見につき)	子.11.		上林味ト	細川様御留主 居青木多角殿 長州様御留主 居 酒井右平太	一紙	
396	乍恐奉願候口上(16日夜宇治川洪水土蔵等流失のため救済につき)	子. 9.24		上林味ト	三本与左衛門	一紙	虫損
397-1	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当申年分)	文政 7.11.23	1824	曲淵甚右衛門 高橋弥兵衛 朝倉次郎右衛門 他3名	上林味ト	一紙	397包紙一括
397-2	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当申年分)	文政 7.11.23	1824	曲淵甚右衛門 高橋弥兵衛 朝倉次郎右衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-1	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当丑年分)	天明 1.11.23	1781	馬場三郎兵衛 斎藤鍋五郎 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	398包紙一括
398-2	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当丑年分)	天明 1.11.23	1781	馬場三郎兵衛 斎藤鍋五郎 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-3	請取申銀子之事(延宝3年拝借銀の内当寅年分)	天明 2.11.23	1782	米津梅之助 竹田藤右衛門 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	
398-4	請取申金子之事(寛文9年拝借金の内当寅年分)	天明 2.11.23	1782	米津梅之助 竹田藤右衛門 酒井与左衛門 他3名	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
353	奉願上候口上書(忤謙五郎へ名跡相続につき)	慶応 4. 9.	1868	上林味ト		一紙	
354	奉願上口上書(忤謙五郎、太守様上京の節伏見にて御目見につき)	明治 1.10.	1868	上林味ト	内山又助	一紙	
355	奉願候口上書(病気のため忤謙五郎へ名跡相続につき)	明治 1.10.	1868	上林味ト	内山又助	一紙	
356	奉歎願候口上書(去卯年より茶用等なく難渋のため25人扶持取立てにつき)	明治 1.10.	1868	上林味ト	内山又助	一紙	案文
357	奉歎願候口上書(去卯年より茶用等なく難渋のため26人扶持取立てにつき)	明治 1.10.	1868	上林味ト	内山又助	一紙	
358	〔慶長十五年泰勝院殿前兵部徹宗玄旨大居士等没年戒名書上〕					一紙	虫損
359	忤恐奉願候口上(勝手困窮等のため御壺順番御宿等差支につき御茶料前借り)					一紙	
360	忤恐奉願口上(御茶料拝借につき)					一紙	後欠
361	御由緒覚(幽斎三斎等)					一紙	
362	〔金子拝借願却下承引等下書〕					一紙	
363	〔公儀御茶壺上使御宿勤め難く金子拝借願下書〕					一紙	
364①	〔黒川清太夫等宛御茶目録につき覚〕	卯. 7.				一紙	①～⑥綴一括
364②	覚(長岡主水当年御茶壺伏見へ差出賃)	寅. 8.		上林味ト		一紙	
364③	覚(寅年分御茶料請取)	. 7.		上林味ト	沢井太左衛門	一紙	
364④	覚(子年分御茶料請取)	丑.12.		上林味ト	沢井太左衛門	一紙	
364⑤	御茶料請取手形				沢井太左衛門	一紙	
364⑥	錫御壺御茶料請取手形				沢井太左衛門	一紙	
365①	請取申銀子之事(参勤等伏見通行の節御用御薄茶代銀)	天明 3. 3.	1783	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋章助 他4名	一紙	①～④綴一括
365②	請取申銀子之事(参勤等伏見通行の節御用御薄茶代銀)	天明 2.11.	1782	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋章助 他4名	一紙	
365③	請取申銀子之事(参勤等伏見通行の節御用御薄茶代銀)	天明 1. 6.	1781	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋章助 他4名	一紙	
365④	請取申銀子之事(参勤等伏見通行の節御用御薄茶代銀)	安永10. 3.	1781	上林	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋章助 他4名	一紙	
366	〔上林峯順等判金等書上〕					一紙	後欠
367	請取申銀子之事(上林門太郎内植田等)					一紙	
368	一札(上林味ト拝借銀につき請書)			御役人中 三人	高桐院御役者中	一紙	
369-1	〔御茶料10ヶ年分拝借下書カ〕					一紙	前欠 369-1に369-2～4包込一括
369-2	忤恐奉願上口上(大洪水困窮につき金子拝借)	. 7.		上林味ト	小森次六	一紙	端裏書「酒井様上杉様 願書」
369-3	〔10ヶ年分拝借願下書カ〕					一紙	前欠
369-4	〔困窮に付金子拝借願下書カ〕					一紙	
370	〔横島村字古城等横島氏に遣わす下書〕					一紙	
371	〔細川越中守殊勝につき感状〕			老中		一紙	虫損
372	〔姫路御館入等につき書付〕					一紙	
373	口上之覚(公儀御壺御宿家宅大破のため辞退、銀子拝借願い)	11.19		上林味ト	築山十弥太 野中助十郎	一紙	*熊本
374	〔先祖扶持米等取調につき達〕	11. 8		熊本藩池田幸太郎		一紙	
375	御茶料之事	9. 1		上林味ト	松井繁斎	一紙	
376	〔上林味ト等につき書状写〕	8.21		細越中	伊喜介御宿所	一紙	前欠

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
326	乍恐奉願上口上(宝暦・明和両洪水のため困窮、31人扶持につき)	寛政 6.	1794	上林味ト		一紙	
327	請取申御扶持方之事	寛政11. 4.	1799	上林味ト	大坂御蔵支配役衆	一紙	
328	請取申御米之事(茶不作等のため難渋、扶持方一部仮切手につき)	寛政12.	1800	上林味ト	朝山斎之助 朝山思地 萱野尚太郎他2名 御蔵支配役衆	一紙	
329	乍恐再応奉願上候口上之覚(去戌宇治川洪水等難渋につき)	享和 3. 1.	1803	上林味ト	大須賀定右衛門	一紙	*土佐
330	乍恐奉願上口上(勝手向困窮、宇治川洪水御茶仕立場等流損につき)	享和 2. 8.	1802	上林味ト	大須賀定右衛門	一紙	
331	乍恐奉願上口上(勝手向困窮、宇治川洪水御茶仕立場等流損につき)	享和 2. 8.	1802	上林味ト	御納戸中	一紙	
332	乍恐奉願上口上(御茶元御用扶持方につき)	文化 3. 1.	1806	上林味ト	肥後御会所	一紙	
333	乍恐奉願上口上書(悴主意来已年御帰国の節伏見にて御目見につき)	文化 5.11.	1808	上林味ト	関八十右衛門	一紙	
334	借用仕金子之事(来る未年御用御茶料の内より返上納)	文化 6. 7.	1809	上林味ト		一紙	
335	乍恐奉願上口上書(儉約御茶差止のため難渋につき)	文化 8. 6.	1811	上林味ト 堀真朔 河村宗順	土屋久米治	一紙	
336	乍恐再応奉願上口上書(去夏儉約御茶差止のため難渋につき)	文化 9. 9.	1812	上林味ト 堀真朔 河村宗順	土屋久米治	一紙	
337	御請書(儉約のため御用茶料銀壺割減につき)	文化11. 9.	1814	上林味ト 上林ト意	京都御会所	一紙	
338	請取申銀子之事(御茶料)	文化12. 7.	1815	喜多立玄	佐久間喜三太 堤権内 小林一平他1名	一紙	
339	乍恐奉願上口上(悴主意名跡相続仕度料、御用茶料10ヶ年賦につき)	文政 2. 7.	1819	上林味ト	京都御会所	一紙	
340	乍恐奉願上候口上(御省略中拝借銀、来辰年御用茶料にて返納につき)	文政 2. 7.	1819	上林味ト	京都御会所	一紙	
341	借用仕候銀子之事(細川様御用茶料の内より返納)	文政10. 4.	1827	宇治上林味ト 上林ト意	高桐院御役者中	一紙	
342	乍恐口上之覚(御用茶料は高桐院へ御渡し願)	文政10. 4.	1827	上林味ト	中村藤次郎 堤熊五郎 中村寿吉	一紙	
343	乍恐口上之覚(御用茶料は高桐院へ御渡し願)	文政10. 4.	1827	上林味ト	中村藤次郎 堤熊五郎 中村寿吉	一紙	
344	乍恐口上之覚(御用茶料は高桐院へ御渡し願)	文政10. 4.	1827	上林味ト	中村藤次郎 堤熊五郎 中村寿吉	一紙	
345	乍恐奉願上候口上覚(辻善貞江戸にて御用勤め願一件につき)				京都会所 御国御茶頭中 江戸御茶頭中 御用人松山□□	綴	
346	乍恐奉願上候覚(味ト実子へ名跡相続につき私加り御茶仕立につき)	文政12.10.	1829	御物御茶師上林春松	上林栄次郎 上林集之助	一紙	
347	乍恐奉願上候覚(実子ト意へ名跡相続、春松加わり御茶仕立につき)	文政12.10.	1829	上林味ト	上林栄次郎 上林集之助	一紙	
348	請取申御扶持方之事	天保11. 7.	1840	上林味ト	大坂御蔵支配役衆	一紙	
349	請取申御扶持方之事	天保□. 9.		上林味ト	大坂御蔵支配役衆	一紙	
350	御内々奉願候口上之覚(堀真朔詰上茶品柄宜しからずにつき)	天保15. 2.	1844	河村宗順 上林三入 上林味ト	田中善左衛門 山田一郎左衛門 田尻次兵衛	一紙	
351	[御茶壺壺永代寄付につき礼状]	嘉永□. 3.		北野宮松向軒 坊観悦	上林味ト	一紙	虫損
352	奉願口上書(茶製方高価等のため御茶料等倍増につき)	慶応 1. 8.	1865	上林味ト	京都壬生御勘定方御役所	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
303	添証文之事(役所銀預り、来年細川越中守御茶料にて返済につき)	宝暦10. 6.	1760	宇治上林味ト 手代佐太郎 京都肥後家中吉村長右衛門	紅屋久左衛門 取次永田七郎 右衛門	一紙	
304	〔江戸・御国御用新御壺仕立代等請求書〕	宝暦10. 7.	1760	上林味ト	武田久右衛門 桜井惣次 御目附築山十弥太殿 安富十九郎 京都御銀支配役衆	一紙	前欠
305	請取申銀子之事(巡見御用極揃御壺茶料請取)	宝暦11. 3.19	1761	上林味ト	武田久右衛門 安富十九郎 萱野司馬太 中山源助 御銀支配役衆	一紙	虫損
306	請取申金銀之事(壺詰御茶代)	宝暦11. 6.17	1761	上林味ト	武田久右衛門 安富十九郎 萱野司馬太 他1名	一紙	
307	請取申銀子之事(当巳年江戸御国御用茶料)	宝暦11. 7.	1761	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 安富十九郎 他2名 御銀支配役衆	一紙	
308	御茶料請取手形	宝暦11. 8. 3	1761	上林味ト	沢井六太夫殿	一紙	
309	〔宇治川筋洪水居屋敷流失のため御茶料10年分拝借願等書き上げ〕	明和 2. 7.	1765	上林味ト	安富孫左衛門	一紙	*熊本ほか
310	請取申銀子之事(滞年賦御茶料去西年分)	明和 3.12.	1766	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 安富孫左衛門 他2名 御銀支配役衆	一紙	*熊本
311	請取申銀子之事(江戸御用壺茶料等)	明和 8. 7.	1771	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 牧田友之進 他2名 御銀支配役衆	一紙	
312	拝借仕銀子之事	安永 9. 8.	1780	上林味ト	横山磯丞 吉元善作	一紙	
313	拝借仕銀子之事	安永 9.10.	1780	上林味ト	横山磯丞 吉元善作	一紙	
314	奉拝借銀子事(御茶仕入用につき)	安永 9.12.	1780	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛門 水嶋章助	一紙	
315	請取申御扶持方之事	安永10. 2.	1781	上林味ト	大坂御蔵支配役衆	一紙	
316	請取申御扶持方之事	安永10. 7.	1781	上林味ト	大坂御蔵支配役衆	一紙	
317	乍恐奉願上口上(家借用のため御茶料前借につき)	(天明3)12.	1783	上林味ト	酒井右平太	一紙	*土佐
318	〔御茶仕入用に付銀子借用証文〕	天明 3.12.	1783	上林味ト		一紙	前欠
319	乍憚奉願口上(御壺詰め上げ是迄通仰付けにつき)	(天明4) 2.	1784	上林味ト	酒井右平太	一紙	*土佐
320	乍恐奉言上候(喜多立玄御茶仕立て難儀のため私へ御用願につき)	寛政 3. 2.	1791	上林味ト	京都御会所	一紙	
321	奉願候口上(私隠居、忝宗樹を宗順と改めた)	寛政 3. 7.	1791	河村宗順	林九郎左衛門	一紙	
322	八代御用錫御壺御茶料受取手形	寛政 6. 9.	1794	上林味ト	小林武平太 吉村甚之允	一紙	
323	口上書(来卯年御茶料内前借り願い)	寛政 6.⑩.	1794	上林味ト親類 上林春松 上林味ト手代後藤次郎兵衛	小林武平太 吉村甚之允	一紙	
324	乍恐奉願上候口上(御壺御宿家造作のため30人扶持復活につき)	寛政 6.⑩.	1794	上林味ト	朝山斎之助	一紙	
325	乍恐奉願上口上(宝暦・明和両洪水のため困窮、30人扶持につき)	寛政 6.	1794	上林味ト		一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
284	請取申銀子之事(滞御茶料等午・未両年分)					一紙	後欠
285	乍恐奉願口上覚(困窮居宅修理不出来、御壺御宿差支につき御茶料前借り)	寛延 2. 5.	1749	上林味ト	酒井利右衛門	一紙	*土佐
286	乍恐奉願口上覚(困窮居宅修理不出来、御壺御宿差支につき御茶料前借り)	寛延 2. 9.	1749	上林味ト	酒井利右衛門	一紙	
287	拝借仕証文之事(御茶壺御宿順番につき居宅造作料として銀子拝借)	寛延 3. 3.	1750	上林味ト 野間富之介 林新平	井上嘉右衛門	一紙	
288	乍恐奉願候口上(堤修復、御普請所に)	宝暦 4.②.	1754	上林味ト	御奉行	一紙	
289	請取申金子之事(当年判金詰御茶料)	宝暦 4. 6.17	1754	上林味ト	安富十右衛門 築山十弥太 野中助十郎 他4名	一紙	
290	覚(当夏判金詰御茶壺仕立代銀子受取)	宝暦 5. 6.17	1755	上林味ト	吉村五右衛門 安間十右衛門 野中助十郎 他1名	一紙	
291	拝借仕証文之事(京都御留守居作配銀拝借)	宝暦 5. 7.	1755	願主上林味ト 請人手代南新平	津住庄五右衛門	一紙	
292	請取申銀子之事(当子年分御茶料之内)	宝暦 6. 7.12	1756	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門 京都御銀奉行衆	一紙	
293	乍恐奉願上口上(宇治川筋大洪水のため居宅普請につき)	宝暦 6.10.	1756	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門	一紙	
294	奉願口上之覚(当秋洪水居宅流失、旧宅地にて御用仰付けにつき)	宝暦 6.12. 7	1756	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門	一紙	*熊本
295	覚(味ト名跡相続書上)	宝暦 7. 8. 8	1757	上林味ト		一紙	
296	請取申銀子之事(御茶料滞、年賦銀滞共15年分賦済の内亥子両年分)	宝暦 7.12.25	1757	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門 京都御銀支配役衆	一紙	
297	請取申銀子之事(江戸御用御茶壺、京都御会所迄差登日雇い賃銀)	宝暦 8. 8.18	1758	上林味ト 代内川左太郎	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門 京都御銀支配役衆	一紙	
298	為替申御茶料之事(上杉大炊頭・長岡帯刀両家御茶料請取等につき)	宝暦 8.12.	1758	上林味ト 手代内川左太郎	大黒屋武右衛門 中谷仁兵衛	一紙	虫損
299	証文(年貢不納難儀のため御才覚金子、来年御茶料より返上につき)	宝暦 8.12.	1758	上林味ト	安富十右衛門	一紙	
300	請取申金銀之事(当卯年御茶料)	宝暦 9. 6.	1759	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門 京都御銀支配役衆	一紙	虫損
301	請取申銀子之事(当卯年御茶料)	宝暦 9. 9. 8	1759	上林味ト	野中助十郎 桜井惣次 御目附 築山十弥太 安富十右衛門 御銀支配役衆	一紙	
302	請取申銀子之事(滞御茶料等去寅年分請取)	宝暦 9.10.	1759			一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
270-1	〔明日の御目見につき書状〕	3.23		味ト	春松	一紙	270包紙一括 包紙上書「土州 様御成ニ付伏 見ヨリ取遣手紙 入」
270-2	〔雨天のため宇治御成はとりやめ につき書状〕	3.24		上林味ト	上林春松 同ト 意	一紙	
270-3	〔御目見済次第帰宅につき書状〕	3.23		味ト	ト意	一紙	
270-4	〔宇治御成雨中のため延引につき 書状〕	3.24		大七ヨリ味ト	春松 ト意	一紙	
270-5	書添(御目見等につき)			春松	味ト様	一紙	
270-6	〔天気であれば極内々宇治へ御見 物につき書状〕	3.24		大七ヨリ味ト	上林ト意	一紙	
270-7	〔書状土州公御入手伝、昨晚より 歯痛等〕	3.24		貞甫	春松 ト意	一紙	
270-8	〔花干菓子、平等院・恵心院等の 掃除につき書状〕	.24		味ト	春松 ト意	一紙	
270-9	〔明日御入につき今晚手当すべき 干菓子等献上鯉につき書状〕	3.24		春松	味ト	一紙	
270 -10	〔土州公内々御成につき書状〕	3.23		ト意	上林父上	一紙	
270 -11	〔宇治へ極内々御見物につき書 状〕	3.23		味ト	ト意	一紙	
270 -12	口上(臨時御用壺代につき)					一紙	
271	〔申し渡す儀につき書状〕	4. 5		上林左仲	上林味ト 星野 宗以	一紙	虫損
272	積り書付(建物普請)	4.21		大工徳次郎	御世話方	一紙	
273	〔親族書上〕					一紙	
274	元禄拾六未年御茶料之目録	元禄16.	1703			一紙	
275	乍恐奉願口上之覚(諸色高値勝手 困窮、扶持拝領につき)	享保 2. 4.	1717	上林味ト		一紙	
276	乍恐奉願口上之覚(扶持拝領につ き)	享保 2.10.22	1717	上林味ト	渡辺忠左衛門	一紙	*熊本
277	乍恐奉願口上之覚(不勝手御茶料 前借7ヶ年分拝借につき)	享保 8. 2. 4	1723	上林味ト	三浦宇右衛門 上田由雪	一紙	
278	乍恐奉願口上(当年大風洪水重な り私宅修覆難儀のため滞る扶持方 御渡しにつき)	元文 5.⑦.	1740	上林味ト	松村伝左衛門	一紙	
279	請取申金子之事(当午年江戸御用 御茶料)	宝暦12. 6.15	1762	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛 門 武田久右衛 門 安富孫左衛 門 萱野司馬太 中山源助 御 銀支配役衆	一紙	虫損 *熊本
280	請取申銀子之事(江戸御用妙解院 様藤四郎御壺御茶料他)	宝暦12.	1762		吉村長右衛門 村岡久米右衛 門 武田久右衛 門 安富孫左衛 門 萱野司馬太 中山源助 御 銀支配役衆	一紙	虫損 *土佐
281	乍恐奉願口上(土佐合力米・扶持 方につき)	宝暦13. 7.	1763	上林味ト	末松久右衛門	一紙	虫損
282	〔滞御茶料等15年賦の内、午・未 両年分請取〕	宝暦13.12.	1763	上林味ト	吉村長右衛門 村岡久米右衛 門 安富孫左衛 門 萱野司馬太 綾部孫助 御 銀支配役衆	一紙	前欠
283	〔滞御茶料等15年賦の内、午年分 請取〕	宝暦13.12.	1763	上林味ト	吉村長右衛門 殿 村岡久米右 衛門殿 安富孫 左衛門殿 萱野 司馬太殿 綾部 孫助殿 御銀支 配役衆	一紙	虫損 前欠

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
232	乍恐奉願上候口上(隠居及び実子への名跡相続につき)	午.11.		上林味ト	上林又兵衛 上林六郎	一紙	
233	覚(茶の木代受取)	未. 2. 5		菊屋源[]	上林味ト	一紙	
234	[上林味ト隠居及び実子への名跡相続等につき書状]	未. 2.		上林六郎 上林又兵衛		一紙	
235	乍恐奉願候口上覚(去卯年居宅流失につき御茶料前金20ヶ年分拝借につき)	申. 2.		上林味ト	上林又兵衛 上林門太郎	一紙	
236	覚(御物御茶師上林平入につき)			御物御茶師惣代誰	小堀数馬 御役所	一紙	
237	酉年六月八日 東本願寺様献立	酉. 6. 8				一紙	
238	借用金子之事	酉.12.23		借主近江屋庄助 請人同治助	上林味木	一紙	
239	[上林味ト春松年貢制賦状]	亥. 2. 9		当役	橋本町馬場町年寄口行事中	一紙	
240	目録(臨時入用につき新茶伏見へ)	亥. 7.26		栗原雲佐	上林味ト	一紙	
241	乍恐口上(上林味ト病氣実弟養子につき)	戌.11. 3		上林春松 上林平入 酒多宗有	上林内記 上林門太郎	一紙	
242	従古来両御宮諸書物入(包紙)	子. 7.		上林		一紙	
243	[熊野牛王宝印]					一紙	
244	かしもの(黒わん・吸物わん等代銀書上)			伏見屋吉兵衛		一紙	
245	目録(茶師別御茶目録)					一紙	後欠
246	一札(包紙)					一紙	
247	覚(池森園畑等譲り替えにつき)					一紙	
248	鷺橋町源三郎持(土地見取図)					一紙	
249-1	[上林一雄家先祖書上]					一紙	249包紙一括
249-2	[味ト家元祖戒名書付]					一紙	
250	乍恐書付を以奉歎願候(御控茶師継目等、三仲々間同様御直宛につき)			御通年行事 御袋年行事 御物年行事	御両宛所	一紙	252と関連
251	乍恐奉願上候口上(去丑仰付け宇治郷等六尺・伝馬給米、旧例通り赦免につき)			御物御茶師不残 御袋年行事 御通年行事	両上林へ	一紙	
252	[継目等、御両家へ御直宛につき願書]			御控茶師七人	三御仲間御茶師中	一紙	250と関連
253	橋姫社・住吉社再建二付寄進帳			世話方 信者中		堅帳	
254	[屋敷見取図]					一紙	
255	鷺橋町源三郎分(土地見取図)					一紙	
256	起請文前書(初めて御召御壺仰せ付けられ御茶入念につき)					一紙	後欠
257	由緒書(上林春松につき)					一紙	後欠
258	新類書(包紙)			上林味ト		一紙	
259	[所司代宇治順見時、味ト等御目見につき書付]	3.25~4.11				一紙	
260	目録(喜撰煎茶通壺隠居方入用につき伏見役人へ)	10. 3		上田清意 三瀬友仙 徳又慶賀	上林味ト	一紙	
261	上杉弾正大弼様 御茶入日記之写	8.		森本道加	上林味ト	一紙	
262	口上(西ノ岡一条等につき)	7. 5				一紙	
263	覚(台徳院様御書等入4箱預り)	6.18		藪田喜右衛門 同三次郎	上林春松 山口伊左衛門	一紙	
264	[御茶等につき書状]	4.10		上峯順	上林春松	一紙	
265-1	[銀二百目才覚につき書状]	11. 3		長右衛門 久米右衛門	味ト	一紙	265包紙一括
265-2	[政所様御書齋出来につき書状]	11.14		中村惣吉 筑紫丹宮	上林味ト	一紙	
265-3	[来春老中招請用の御茶差紙につき書状]	10. 5		小堀祖順春純 関野万悦栄精	上林味ト 人々御中	一紙	
265-4	[来春老中招請用御茶につき書状]	11. 3		村岡久米右衛門常 吉村長右衛門佳	上林味ト	一紙	
266	[上林六郎家来平尾十吉郎御館下げ、同母は妹にて私方へ引取につき書状]	8.15		森崎八十右衛門	上林美ト	一紙	包紙
267	[御茶両種御持参につき礼書状]	5. 2		上林門太郎	上林春松	一紙	
268	[御茶両種御持参につき礼書状]	5. 2		上林門太郎	上林春松	一紙	
269	[太田氏書面につき書状]	4.25		宮村筑前守	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
198	目録(喜撰御煎茶隠居方入用伏見屋敷へ)	辰. 8.13		上田清意 三瀬友仙	上林味ト	一紙	
199	新御壺御茶入日記写	寅. 8.吉		喜多		一紙	
200	目録(茶師別御茶目録並当冬江戸出府の節通壺へ詰め上屋鋪へ)	卯. 8.		行宗春沢 松井繁斎	上林味ト	一紙	
201	覚(堀真朔持今内古覆小屋代金請取)	卯.11.24		竹田紹清	上林味ト	一紙	
202	奉願上候口上之覚(相場御下げ及び川柳煎茶仰付けにつき)	辰. 2.		上林味ト	御陣屋御勘定方御役人衆中	一紙	
203	覚(当時所持上園4坊所書上)	辰. 3.		上林味ト	上林又兵衛	一紙	
204	目録(上林味ト・星野宗以・川村宗順御茶目録並新茶通壺へ詰め江戸表へ)	辰. 8.28		行宗春沢 高橋久栄	上林味ト	一紙	
205	目録(極上半新茶通壺へ詰め国許へ)	辰. 9.13		上田清意 三瀬友仙 徳久慶賀	上林味ト	一紙	
206	覚(金銀元利・残高)					一紙	
207-1	[辰年貢銀請取書]	巳. 7. 1		会所	上林味ト	一紙	207包紙一括
207-2	[辰年貢銀請取書]	巳. 7. 2		会所	上林味ト	一紙	
207-3	覚(年貢銀受取書)	巳. 7. 3		会所		一紙	
207-4	[年貢銀受取書]	巳. 7. 3		会所	上林味ト	一紙	
207-5	覚(受取銀子残高書付)	巳. 7. 3		会所	上林味ト	一紙	
207-6	覚(酒井様過銀勘定)	卯. 6. 6		大黒や武右衛門	中谷	一紙	
207-7	[銀子勘定書付]					一紙	
207-8	[銀子勘定書付]				味ト分	一紙	
208	乍恐奉願候口上(大洪水難渋のため御茶料前金拝借につき)	子.10.29		上林三入 上林味ト	上林門太郎 上林内記	一紙	
209	新御壺御茶入日記写	巳. 7.吉		喜多		一紙	
210	目録(壺別茶師詰め茶につき)	辰. 4.15		弘田村右衛門 成矢吉右衛門	上林味ト	一紙	
211	乍憚口上(名跡相続につき)	子. 3.13		上林ト斎	上林左仲	一紙	
212	目録(江戸上屋鋪分又兵衛味ト三入紹清新茶につき)	巳. 8.16		松井繁斎 高橋春斎 行宗春沢	上林味ト	一紙	
213	乍恐口上(上林又兵衛継母等処遇につき)	辰. 4.		上林味ト 尾崎有庵 星野宗以	御奉行	一紙	
214	乍恐奉願口上(水難私宅相潰れ荒場所多く年貢延引につき)	子.12.		上林味ト	小堀数馬 御役所	一紙	
215	[東本願寺様御茶詰式次第]	丑. 6.15				一紙	
216	乍恐口上(酒多宗有・上林味ト病氣等につき私加り御茶仕立てたく)	寅. 9.		御物御茶師 堀真朔	上林六郎 上林又兵衛	一紙	
217	覚(元利勘定)	4.27		□□卯之介	上林内中野松之助	一紙	
218	宗旨証文之事(上林平入につき)	卯. 6.		宇治平等院浄土宗塔頭養林庵護英	小堀数馬	一紙	
219	乍憚口上(年貢上納延引につき)	卯. 4.17		上林味ト	小堀数馬 御役人衆中	一紙	
220	覚(大隅守様出入初め慶安2年につき)	⑦. 1		上林味ト	堀真朔	一紙	
221	[井河内様数寄屋方役人4名につき書状]	16				一紙	
222	目録(口切用新茶国許へ)	酉. 8.		松井柳庭 行宗桃源 栗原雲佐	上林味ト	一紙	
223	目録(御茶臨時入用につき国許へ)	酉. 8.13		松井柳庭 行宗桃源 栗原雲佐	上林味ト	一紙	
224	[銀子受取書]	酉.11.20		桜町年寄仁兵衛	上林味ト	一紙	
225	[御茶目録]	午. 3.19		川谷鉄助 今井太助	上林味ト 堀正法 竹田紹清	一紙	前欠
226	覚(薩州様国許御用御茶目録)	午. 4.		堀真朔	上林味ト	一紙	
227	目録(御茶隠居方入用につき国許へ)	午. 5.13		上田清意 三瀬友仙 徳久慶賀	上林味ト	一紙	
228	覚(御袋仲々間茶料加増共請取)	午. 5.25		上林道庵 木村宗二	上林味ト	一紙	
229	覚(金子受取若州様書付返上につき)	午. 9.10		指物屋 六兵衛	上林謙五郎	一紙	
230	上杉弾正大弼様御茶目録写	午. 9.		森川道加	上林味ト	一紙	
231	乍恐奉願上候口上(隠居及び実子への名跡相続につき)	午.11.		上林味ト	上林六郎 上林又兵衛	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
173	御茶目録(御茶詰次第熊本へ)	明治 2. 4.	1869	萱野宗保	宮村平馬 鎌田軍之助 道家之山他10名	一紙	前欠
174	証札(借用金返済につき)	明治 2. 5. 3	1869	宇治鷺橋丁上林謙五郎 年寄勘作 東一口村伝兵衛他3名	鶴下屋吉次郎 父善七	一紙	
175	譲り渡申箇畑之事	明治 2. 7.	1869	譲り主上林味ト	竹屋槌之助	一紙	
176	譲り渡し申候一札(地面1ヶ所)	明治 2. 8.	1869	譲り主鷺橋町上林謙五郎 同断桜町組長常吉	徳之助	一紙	
177	橋姫社御繕名前(再建寄進帳)	明治 7.	1874	宇治橋姫社世話方		堅帳	
178	証券(家屋敷売り渡しにつき)	明治 8. 4. 5	1875	上林謙五郎代良斎 鷺橋町山下東平		一紙	土地見取図挟込み
179	橋姫社住吉社再建寄進帳	明治 8. 3.	1875	世話方 信者中		堅帳	
180	郷社再建仕度御願	明治 8. 4.	1875	宇治郷橋姫社祠掌兼勤離宮上社祠掌宮村勇 上林謙五郎 戸長上林三入他2名	京都府知事長谷信篤	一紙	
181	[橋姫住吉両社修覆寄進願書]	明治 8. 5.	1875	信者中		一紙	
182	橋姫様御社御屋根積り書	明治 8. 5. 9	1875	伏水上板橋町板杉清左衛門	橋姫様御世話御衆中	堅帳	
183	借用申証券(金銭)	明治 9. 2.25	1876	借主鷺橋町上林謙五郎 請人桜町和田弥兵衛	桜町増井佐兵衛	一紙	
184	約定証券(貸屋借用につき)	明治 9. 6.	1876	親元引取人上林謙五郎 留主中代理良斎 引取人中野	橋本町小山竹次郎	一紙	
185	証(家1ヶ所畳建具共差入れ金銭借用)	明治11.12. 9	1878	借主鷺橋町上林謙五郎 世話方受人田中武兵衛 受人中野松之助	坂口□之助	一紙	
186	目ろく(天正から元和、徳順・味ト・春松三家御代官の節書類等差出し品目録)	明治36. 6.13	1903	上林一雄	宇治町役場内設備御委員中	一紙	
187	証書仮請取之事(尾崎坊御宿賄入用につき金子借用)	寅. 5.21		上林味ト	神明町半次郎	一紙	
188	[名跡相続并御茶御用等につき願書案文]	子. 3.13		上林ト斎	上林左仲	一紙	
189	目録(新御茶通壺に詰め国許へ)	寅. 8.13		行宗春沢 松井繁斎 高橋春斎	上林味ト	一紙	
190	御国御用琉球方新御壺 御茶入日記之写	寅. 8.		上林味ト		一紙	
191	目録(隠居方当年口切用新御茶通壺へ詰め国許へ)	巳.10.28		上田清意 三瀬友仙 徳久慶賀	上林味ト	一紙	
192	目録(喜撰10斤若旦那手許入用土佐へ)	巳.11.16		中嶋道全 上田宗寿 門田吉斎	上林味ト	一紙	虫損
193	借用[]					一紙	虫損
194	副証之事(園畑生芽差入れ借用金子につき)	辰. 4.		本人上林味ト 証人同直治郎 同茶屋源之助 他1名	今内町 重助殿	一紙	
195	目録(極上半御茶、喜撰御煎茶隠居方入用国許へ)	辰. 5.28		三瀬友仙 徳久慶賀 西村久柔	上林味ト	一紙	
196	覚(小家地面役料等銀子仕切書)	辰. 7.16		桜町	上林味ト	一紙	
197	目録(又兵衛・味ト・正法御茶目録並当年新茶、江戸表出府の節通壺へ詰め屋敷へ)	辰. 8.13		行宗春沢 松井案斎 高橋春斎	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
150	別紙証文之事(借用金子、東六条御殿定式御用茶料にて返済)	慶応 3. 7.	1867	借主宇治御茶師上林味ト 証人上林春松 同御牧郷東一口村親類内田伝兵衛	茨木屋儀兵衛	一紙	
151	八代御用御茶目録	慶応 3. 8.	1867	上林味ト	京都御屋鋪御留守居方御役人衆中	縦帳	
152	借用申金子之事(薩州様茶料にて返金)	慶応 3. 9.	1867	借主上林味ト 請人鷺橋町庄吉	池殿町庄三郎	一紙	
153	証書(宇池森栄太郎分園場受取につき)	慶応 4.	1868	西町竹屋槌之助	上林味ト	一紙	
154	奉願候口上之覚(若殿上京恐悦煎茶差上、桑名御出陣勝利祈願につき)	慶応 4. 1.	1868	上林味ト	津田山三郎 青地源右衛門 地辺惇右衛門他1名	一紙	
155	御茶目録(御茶詰次第熊本へ)	慶応 4. 3.	1868	古市宗安 萱野宗保	鎌田軍之助 宮村平馬 松野亀右衛門他11名	一紙	
156	橋姫住吉社御札通	明治 6.12.	1873	祠掌	上林謙五郎	横帳	
157	[橋本町上林謙五郎、鷺橋町へ入籍につき証書]	明治 6.11.	1873	上林盛之丞 上林春松	鷺橋町組長御中	一紙	
158	乍恐奉願上候口上書(昨年度失の橋姫・住吉両社、拙家屋敷内鎮守につき)	明治 4.12.	1871	宇治橋本町 上林謙五郎	京都府御庁	縦帳	
159	借用申金子之事	明治 4.12.	1871	上離宮神主宮村勇 受人桜町山下東平	上林良済	一紙	
160	口上書(印鑑渡し願)	明治 4. 8.	1871	年番所方ニ付代佐野俊之助 御茶師上林謙五郎	京都府御庁	縦帳	
161	差入申一札之事(橋姫・住吉両社と縁切りにつき)	明治 4.12.	1871	上離宮神主宮村勇 受人落方丁川口伝右衛門	上林謙五郎	一紙	
162	奉願上候口上書(御茶料、当年古門前御役人衆へ御渡しにつき)	明治 4. 3.	1871	上林謙五郎 喜多立玄	芳賀衛門 豊田又四郎 村上角右衛門他4名	一紙	
163	奉伺候口上書(橋姫・住吉両社造営につき)	明治 3.10.	1870	預り主宇治御茶師上林謙五郎	京都府御役所	一紙	
164	乍恐御届奉申上口上書(橋姫・住吉両社被害状況につき)	明治 3. 9.24	1870	橋姫・住吉御両社預り主宇治橋本町御茶師上林謙五郎	京都府御役所	縦帳	
165	奉願口上書(両社普請につき)	(明治3)	1870		——	一紙	
166	譲り渡し申候一札(家屋鋪)	明治 2. 8.	1869	譲主鷺橋町上林謙五郎 証人桜町	徳之助	一紙	
167	差入置申一札之事(上林味ト老相統につき)	明治 1.10.	1868	橋本町年寄	宇治郷会所御当役人中	一紙	
168	奉願上候口上書(御茶料前借りにつき)	明治 1.11.	1868	上林味ト	八代様御懸り御役人中	一紙	
169	口上之写(洪水流失地面減免願い)	明治 1.11.	1868	上林味ト	宇治郷会所御役人中	一紙	
170	差入申一札之事(園畑外方へ譲り渡しにつき)	明治 1.10.	1868	本人上林味ト 証印上林春松	橋本町御年寄中	一紙	167関連
171	離宮上社除地(境内御神領書上及び離宮上社由緒)	(明治1)12.	1868	宇治離宮上社神主宮村大炊之助	京都府御役所	縦帳	
172	差入置申一札之事(借金返済延引につき)	明治 2. 3.	1869	本人鷺橋町上林味ト 請人一口村百性伝兵衛 鷺橋町年寄勘作	伏見鶴下屋善七	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
127	戻り証札之事(貴殿元屋敷内御赦免地譲りにつき)	安政 2. 2.	1855	上林平入	上林味ト	一紙	
128	差入申一札之事(光雲寺御祠堂銀)	安政 2.11.	1855	証人宮村帯刀親類事村田金三郎 請人左官次郎左衛門	上林味ト	一紙	
129	一札之事(ゆづり上園譲り請け)	安政 3. 8.	1856	新町甚三郎 証人地藏堂町市兵衛	上林味ト御手代中	一紙	
130	売渡証文之事(茶園2ヶ所、野小家・霜覆道具共)	安政 5.12.	1858	本人上林味ト 仲ヶ間親類上林春松 同親類酒多宗有他1名	大鳳寺村 善五郎殿	一紙	
131	差入置申一札之事(橋姫両社社前新規小屋につき)	慶応 2. 6.	1866	上林味ト 手代勘七 仲人庚申堂一心	橋本町御年行事	一紙	
132	戻り一札之事(橋本屋敷内御赦免地につき)	慶応 2. 4.	1866	橋本町伊勢屋瀬平	上林味ト	一紙	
133	証書(宇池森園場1ヶ所譲受につき)	慶応 2.	1866	西町槌之助	上林味ト	一紙	
134	別紙一札之事(金子受取)	文久 1.10.	1861	本人上林味ト 証人上林春松 同尾崎坊有庵他1名	丸屋惣介御取次	一紙	
135	借用申 菰畑之事	文久 2. 7.	1862	本人二村吉右衛門 証人家内中 手代忠八	上林味ト御手代北尾重左衛門	一紙	
136	借用申 銀子之事	文久 2.⑧.	1862	上林味ト	花屋喜兵衛	一紙	
137	借用申 銀子之事	文久 2. 9.	1862	借用人上林味ト 証人内田伝兵衛	指物屋六兵衛	一紙	
138	口上書(御茶製方諸式高価につき御茶料増方願)	文久 3. 8.	1863	松尾忠輔	上林味ト	一紙	
139	御茶目録(御茶詰次第熊本へ)	文久 4. 3.	1864	萱野宗保	鎌田軍之助 荒木甚四郎 井上加左衛門他8名	一紙	
140	借用申 金子之事(肥後八代様御用につき)	元治 1.10.	1864	本人上林味ト 手代惣助 親類証人上林春松	水口屋徳兵衛	一紙	
141	御茶目録(早々江戸へ)	元治 2. 3.	1865	萱野宗保	荒木甚四郎 片山多門 井上加左衛門 他14名	一紙	包紙
142	御家中御茶目録	元治 2. 3.	1865	内田弥角 前田弥右衛門	萱野宗保 田代儀左衛門 野田惣右衛門他8名	一紙	包紙
143	御茶目録(御茶詰次第熊本へ)	元治 2. 3.	1865	萱野宗保	荒木甚四郎 片山多門 井上加左衛門 他14名	一紙	
144	借用申 金子之事	慶応 4. 7.	1868	鷺橋町醬油屋勘作 妻ミツ	さくら町茶屋源之助殿	一紙	
145	差入申一札之事(去寅年御宿勘定につき)	慶応 4. 5.	1868	上林味ト 同善四郎	尾崎坊定之丞 御親類衆中	一紙	
146	御家中御茶目録	慶応 4. 4.	1868	右田善亀 牧野万太郎	萱野宗保 古市宗安 鈴木甚五右衛門他5名	一紙	
147	御茶目録(妙解院藤四郎壺詰次第早々江戸へ)	慶応 4. 3.	1868	古市宗安 萱野宗保	鎌田軍之助 宮村平馬 松野亀右衛門他11名	一紙	
148	入置申一札之事(玉露等買入につき)	慶応 2. 6.	1866	借り主上林味ト 請人鷺橋町庄吉 同手代惣助	庄三郎	一紙	
149	借用申 金子之事(上園畑等引宛)	慶応 2.10.13	1866	宇治鷺橋丁源三郎 年寄権太夫 東一口村親類伝兵衛 他1名	伏見大坂町鶴下屋善七	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
102	御赦免屋敷地絵図	天保 2.12.	1831	譲り主柿屋与兵衛 さくら町年寄同町九右衛門	上林味ト	一紙	
103	譲り申屋敷地之事(御赦免屋敷1ヶ所)	天保 2.12.	1831	譲り主桜町柿屋与兵衛 さくら町年寄九右衛門	上林味ト	一紙	
104	奉拝借御用銀之事(栗田御殿御祠堂銀)	天保14. 5.	1843	宇治鷺橋町拝借人上林味ト同竹屋与五郎年寄百性喜兵衛他4名	栗田御殿御役人中	一紙	
105	奉指上添一札(栗田御殿御祠堂銀拝借につき)	天保14. 5.	1843	宇治鷺橋町拝借人上林味ト同竹屋与五郎年寄百性喜兵衛他4名	栗田御殿御役人中	一紙	
106	一札之事(銀子借用)	天保15. 5.	1844	花屋喜兵衛 妻うの	上林味ト	一紙	
107	無地荒地高書抜覚	弘化 2.12.	1845	宇治郷		竪帳	
108	差入申為取替一札之事(住吉・橋姫両社御祈禱料等改めにつき)	弘化 3.10.	1846	神主宮村筑前守 証人上林平入 同断堀正法	上林味ト	一紙	
109	譲り渡申一札之事(字樋尻上園)	弘化 4. 8.	1847	庄屋什左衛門	上林味ト	一紙	
110	差入置為取替一札之事(住吉・橋姫両社御祈禱料等改めにつき)	弘化 3.10.	1846	上林味ト 証人堀正法 同上林平入	宮村筑前守	一紙	
111	[橋姫住吉両社流失届等書留帖]	嘉永 1. 8.	1848			綴	
112	覚(当家元屋敷地下作につき)	嘉永 3. 2.	1850	上林味ト内手代中	庄吉	一紙	
113	覚(小家修葺料等請取)	嘉永 3.12.	1850	神明町大久保屋卯兵衛	上林味ト御手代中	一紙	
114	請状之事(借宅につき)	嘉永 4. 2.	1851	借宅主百姓仁左衛門 引請人植木屋喜三郎	上林味ト御手代中	一紙	
115	下作相渡置候事	嘉永 4.10.	1851	上林味ト内手代中	池殿町為治郎	一紙	
116	別紙一札之事(字蒲谷御茶園畑地下作につき)	嘉永 5. 2.	1852	地藏堂町本人吉三郎 新町甚三郎	上林味ト御手代中	一紙	
117	差上申一札之事(親類大和屋勘三郎、伏見より引越御茶製場拝借につき)	嘉永 5. 7.	1852	乙方町借用主大工利兵衛	上林味ト御手代中	一紙	
118	請状之事(大和屋勘三郎、御茶製場借用延引につき)	嘉永 5.10.	1852	借用主大工利兵衛 住居人大和屋勘三郎	上林味ト御手代中	一紙	
119	償書(我儘不埒につき)	嘉永 6. 3.	1853	重輔	上林味ト 正覚院 庄屋嘉兵衛	一紙	
120	覚(拙寺より取次ぐ伊丹酒代請取)	嘉永 6. 3.晦	1853	恵心院	上林味ト	一紙	
121	請状之事(勘三郎、桜町隠居所借用につき)	嘉永 6. 4.	1853	借主乙方町大工利兵衛 住居人大和屋勘三郎	上林味ト御手代中	一紙	
122	一札之事(日雇手代勤仕につき)	嘉永 6.	1853	本人半兵衛 請人地藏堂町巳之助	上林味ト御手代中	一紙	
123	譲渡申地面之事(御赦免屋舗壱ヶ所)	嘉永 7. 1.	1854	譲主桜町喜三郎 親類惣代丸屋源兵衛 桜町年寄喜八	上林味ト	一紙	
124	覚(薬師町弥兵衛拝借金につき)	嘉永 7. 4.	1854	奥折居道町重左衛門	上林味ト	一紙	
125	借用申一札之事	嘉永 7. 4.	1854	借用主宮村帯刀	上林味ト	一紙	
126	奉差上札之事(勤仕中飲酒につき詫ひ)	嘉永 7.⑦.	1854	本人半兵衛 親類市兵衛 証人友次	上林味ト	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
83	一札(斎藤玄就弟栄玄養子入家、名跡相続につき)	文政 5.12.	1822	上林春松 上林味ト 上林ト意他5名	長井貞甫 尾崎坊有庵 上林三入他4名	一紙	
84	別紙引宛証文之事(預り金遅滞の節、居宅等引宛)	文政 7. 2.	1824	宇治御茶師上林味ト 同ト意上林春松 他1名	小野御殿御勘定所御貸附方御役人衆中	一紙	
85	一札(秋田、平戸、長崎道中筋への茶詰出迷惑につき)	文政 7. 3.	1824	辻善貞印 親類証人尾崎坊有庵 同菱木宗見他1名	三仲ヶ間御茶師中	一紙	
86	[峯順代替り参府等につき書状]	文政 9. 3.	1826		鈴林硯	一紙	
87	乍恐奉願口上書(拝借銀上納延引につき)	天保 2. 9.	1831	宇治橋本町御茶師上林味ト 請人上林春松		一紙	
88	乍憚口上(駒井半右衛門養子、素仲仰付け願につき)	天保 3. 3.	1832	駒井半右衛門親類長左衛門丸屋宗助 丸屋源兵衛	三御仲ヶ間御年行事中	一紙	
89	借用申銀子之事	天保 5. 3.	1834	借り主上林味ト 親類証人内田伝兵衛 証人竹屋孫七他1名	新町徳左衛門	一紙	
90	譲り渡申一札之事(古蔵・小家2ヶ所并地面)	天保 8. 6.	1837	譲り主桜町柿屋与兵衛 同年寄仁兵衛	上林味ト	一紙	
91	譲り渡小家之事	天保 3. 3.	1832	桜町譲り主利助 証人弥七 桜町年寄九郎右衛門	上林味ト	一紙	
92	借家請状之事(上林味ト借家申受につき)	天保 8.12.	1837	借り主横島村辻中町とさ 引取百性文右衛門 請人桜町柴屋甚右衛門	桜町御年寄中	一紙	
93	乍憚口上(倅宗助素仲相続につき)	天保10. 8.	1839	入江宗助後家なつ 喜多川孫七 芝田源兵衛	三御仲ヶ間御年行事中	一紙	
94	借用申金子之事	天保10.12.	1839	本人堀真□ 同忼 同真栄 証人上林味ト	小倉村甚兵衛	一紙	
95	乍恐奉願上候口上(御茶御用細引、御用絵府送りにつき)	天保11. 5.	1840	大和御茶用細引師木綿屋久四郎 親類証人同吉兵衛	三御仲ヶ間御茶師中	一紙	
96	年賦崩済証文之事	天保13. 3.	1842	借用主宇治大工町竹屋助十郎 証人同橋本町油屋正次郎 上林味ト	志津川村儀兵衛	一紙	
97	一札(上林三入老よりの貸付証文にて金子融通につき詫び)	天保 3. 5.	1832	上林味ト	上林春松ヨリ辻善貞迄	一紙	
98	一札(素仲相続につき)	天保 3. 3. 7	1832	半蔵改駒井半右衛門 入江惣助 芝田源兵衛他1名	三御仲ヶ間御茶師中様	一紙	
99	借用申銀子之事	天保 5. 3.	1834	借り主上林味ト 伝兵衛 新町六兵衛	新町徳左衛門	一紙	
100	御咤書(六条御殿へ御用向き状箱預りにつき)	天保12. 6.	1841	京飛脚田中屋藤兵衛 親類代間屋和助	上林味ト	一紙	
101	相渡申判金之事(御宿普請賄等滞りにつき)	天保13. 2.	1842	借り主上林味ト 同忼上林ト意 親類加印上林春松	淀東一口村伝兵衛	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
58	〔鷺橋町伊左衛門所持中嶋下畑丈量図〕	文化 5. 8. 9	1808			一紙	
59	〔起請文〕	文化 8.	1811	上林三入	酒井讃岐守 小長谷和泉守 牧野大和守	一紙	
60	一札(貴家様御除地内元屋敷借地につき)	文化14.	1817	美濃屋一郎兵衛 親類請人同喜平治	上林味ト	一紙	
61	御札料納通	文政 1. 7.	1818	上林味ト	宮村大煩介	一紙	
62	一札(公儀御用茶料大判壺枚預かりにつき)	文政 2. 5.	1819	上林味ト	上林春松	一紙	
63	御託申上候一札(不調法につき)	文政 3. 8.	1820	弥吉	上林旦那	一紙	
64	譲り渡申畑之事	文政 6.12.	1823	譲り主 木川屋勘左衛門 六番町月行事	大工町仁左衛門	一紙	
65	〔銀子借用証文〕	文政 5. 6.	1822	宇治郷鷺橋町上林味ト 倅ト意 同町新町手代後藤源八 他4名	菱屋与三蔵	一紙	前欠
66	寺送一札之事(橋寺へ留守居につき)	文政 9. 6.	1826	撰州多田郡下原村善福寺澄信	上林味ト	一紙	虫損
67	譲り渡茶菌畑之事	文政 9.12.	1826	譲り主 村田栄太郎 証人 宮村権太夫 馬場町年寄 小田原屋長五郎	上林味ト	一紙	
68	一札(貴家御除地内橋本町元屋敷借用につき)	文政10. 2.	1827	引取 大工町荒木屋新七 請人 薬師町樽屋四郎兵衛 本人 新平	上林味ト	一紙	
69	乍恐奉願上候覚(実子ト意へ名跡相続につき)	文政12.10.	1829	御物御茶師 上林春松		一紙	
70	乍恐奉願上候覚(ト意名跡相続、味トに改名につき)	文政12.10.	1829	上林味ト		一紙	
71	乍恐奉願上候覚(ト意名跡相続、味トに改名につき)	文政12.10.	1829	上林味ト	上林栄次郎 上林隼之助	一紙	
72	乍恐奉願上候覚(ト意名跡相続、御茶御用仰付けにつき)	文政12.10.	1829	御物御茶師 上林春松	上林栄次郎 上林隼之助	一紙	
73	乍恐奉願上候覚(ト意名跡相続、味トに改名につき)	文政12.10.	1829	上林味ト		一紙	
74	由緒書(将軍家代々御茶御用)	文政12.10.	1829	上林味ト		一紙	
75	由緒書(将軍家代々御茶御用)	文政12.10.	1829	上林味ト	上林栄次郎 上林隼之助	一紙	
76	由緒書(将軍家代々御茶御用)	文政12.10.	1829	上林味ト	上林栄次郎 上林隼之助	一紙	
77	由緒書(将軍家代々御茶御用)	文政12.10.	1829	上林味ト		一紙	
78	乍恐奉願上候覚(実子ト意へ名跡相続につき)	文政12.	1829	御物御茶師 上林春松		一紙	
79	起請文前書(初めて御召御壺につき)	文政13. 4.29	1830	上林三入 上林味ト	松平伯耆守 松平伊勢守 小田切土佐守 他3名	一紙	
80	証文之事(上林春松家に養子入家、名跡相続につき)	文政 5.12.	1822	斎藤栄元 栄元実兄 斎藤玄就 春松親類惣代 坂倉田蔵他3名	長井貞甫 尾崎坊有庵 上林三入他3名	一紙	
81	一札(上林春松家に斎藤栄玄養子につき)	文政 5.12.	1822	長井貞甫 尾崎坊有庵 上林三入他3名	上林春松 上林味ト 上林ト意 永田七郎右衛門 内田伝兵衛 外御親類中	一紙	
82	証文(上林春松家に養子入家につき仲間約定)	文政 5.12.	1822	斎藤栄玄 栄玄実兄 斎藤玄就 春松親類惣代 坂倉周蔵他3名	長井貞甫 尾崎坊有庵 上林三入他3名	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作成者	宛名	形態	状態・備考
28	親類書(宝暦4年11月亡兄義父味ト病死につき)	宝暦 5. 2.	1755	上林味ト	上林門太郎 上林内記	一紙	
29	請合証文之事(玄関・書院等普請につき)	宝暦 7. 1.28	1757	近江屋伝兵衛 宇治大路方町 大工利兵衛 同三郎兵衛	上林味ト 様御内 南新平 内川左太郎	一紙	
30	御茶目録(御茶詰次第早々熊本へ)	宝暦11. 5. 7	1761	田中宗碩 萱野宗斎 山田宗三	井口庄左衛門 井上久助 綾部孫助他3名	一紙	
31	御茶目録(御茶詰次第早々熊本へ)	宝暦 8. 4.晦	1758	田中祐碩 山田宗三 古市宗円	志水才助 石井茂助 筑紫庄内他5名	一紙	
32	覚(京都両町奉行裏書証文等請取)	宝暦12. 5.24	1762	上林味ト	上林内記	一紙	
33	由緒書(上林平入七代目味ト襲名等)	天明 6.11.	1786	谷村図書正長		一紙	
34	由緒書	天明 3. 9.	1783	上林春松	上林六郎	一紙	
35	由緒書	天明 3. 9.	1783	上林春松	上林六郎	一紙	
36	[上林家由緒書]	安永10. 1.	1781	上林春松		一紙	
37	乍恐奉願口上覚(水難につき御茶料前金20年分拝借)	安永 3.11.	1774	上林味ト	御両家様宛テ(朱書)「上林又兵衛殿 上林門太郎殿」	一紙	
38	[宇治川筋切所普請出金につき申渡]	(明和3) 1.	1766	(西御役所太田播磨守)		一紙	
39	奉願口上書(屋敷裏宇治川堤普請、国役御入用につき)	明和 2. 7.	1765	御茶師上林味ト	小堀数馬	一紙	
40	親類書	天明 6.11.	1786	上林味ト	上林六郎 上林又兵衛	一紙	
41	親類書	天明 6.11.	1786	上林味ト	上林六郎 上林又兵衛	一紙	
42	由緒書	天明 6.11.	1786	上林味ト	上林六郎 上林又兵衛	一紙	
43	起請文前書(初めて御召御壺につき)	天明 7. 5.	1787	上林味ト	戸田因幡守 丸毛和泉守 山崎大隅守他3名	一紙	
44	覚(大工町助十郎より銀子借用につき10年間公儀茶料助十郎方へ)	寛政 2.11.	1790	上林味ト 上林春松	上林又兵衛内 吉田六左衛門	一紙	
45	乍恐奉願上候口上(国表家中一統、茶入用仰付につき)	寛政 3. 1.	1791	上林味ト	京都御会所	一紙	
46	一札(身持不行跡、御茶料等我俣につき詫び)	寛政 3. 7.	1791	上林味ト	上林平入 同お添	一紙	
47	親類書	寛政 4. 2.	1792	上林味ト	上林又兵衛 上林六郎	一紙	
48	取為替申一札之事(平尾氏家屋敷買請につき)	寛政 8.12.	1796	大工町助十郎 上林春松	上林味ト	一紙	
49	沽券之写(字橋本屋敷譲渡につき)	寛政 9. 7.	1797	上林六郎内多川昇 吉井太郎 左衛門	馬場町長兵衛	一紙	
50	茶壺目録	寛政 9. 7.	1797	西垣庄大夫 豊田左近右衛門 沢井清右衛門 他2名	上林味ト 喜多立玄	一紙	
51	為念申固メ遣申証札之事(銀子借用二重印形につき)	寛政10.12.	1798	桜町寺嶋屋甚兵衛	同町宗兵衛	一紙	
52	為取替申証札之事(字橋本元屋敷徳米譲請につき)	寛政11.12.	1799	大工町竹屋源三郎	上林味ト	一紙	
53-1	例書(延享・宝暦年中洪水書留につき)	享和 2.	1802	上林味ト		一紙	532巻込一括
53-2	[上林味ト名札]	嘉永 2. 2.	1849			一紙	
54	奉拝借金子之事	享和 2.10.	1802	上林味ト	長井半弥 藤井中書 大石悠次 他1名	一紙	
55	覚(字橋本田地画図渡し置き)	享和 3.12.	1803	上林平入	大工町助十郎	一紙	
56	一札(江州平津村へ屋敷地譲渡につき)	文化 3. 6.	1806	上林平入 上林味ト	材木屋勘兵衛	一紙	
57	[檀家上林味ト男子墓葬式につき]	文化 4. 1.17	1807	平等院浄家	善法寺	一紙	

上林味ト家文書

番号	表題	年月日	西暦	作者	宛名	形態	状態・備考
1	宇治御蔵入御算用状之事(天正18年定請米等)	天正19.12. 2	1591	長束大蔵 増田右衛門尉	上林	一紙	
2①	宇治御蔵入御算用状之事(天正18～20年納物成等)	文禄 2.12. 9	1593	長束大蔵 増田右衛門尉 浅野弾正他1名	上林久徳	一紙	①～③貼継ぎ
2②	宇治御蔵入御算用状之事(文禄2年納物成等)	文禄 4. 6.晦	1595	長束大蔵 増田右衛門尉 民部卿法印	上林久徳		
2③	山城国内宇治御倉米御算用状(文禄3年納物成等)	文禄 5. 7. 1	1596	長束大蔵 増田右衛門尉 徳善院	上林休徳		
3	味ト分(文禄5年分納米等につき)	慶長 3. 6. 6	1598	徳順 味ト 春松他1名		一紙	
4	今度三千石宰相様へ金子之出し口之覚	慶長 3. 8.14	1598	徳順 春松 味ト		一紙	
5	宇治郷内御蔵米御算用状事(慶長3年・4年分納物成等)	慶長 6.12.26	1601	片桐市正 小出播磨	上林	一紙	
6	御離宮様御遷殿上葺之事	慶長11. 4.□	1606	祢宜 善右衛門正清		一紙	
7	[銀子借用書3通写]	慶長17	1612			一紙	前欠
8	御請合証文(御用木運送につき)	宝永 8. 4.12	1711	三木屋源助 三川屋永蔵	宇治御物御壺御茶師中	一紙	
9	慶長拾七年分両三人之間算用之覚(掃部・春松・味ト分)	元和 2. 6.21	1616	萩大進 荒多兵衛 西川忠兵衛		一紙	軸装 表紙破損
10	養子相究候書物之写	明暦 3. 9. 6	1657	上林味ト 上林竹庵		一紙	
11	相対ヲ以譲り渡シ申置畑之事	延享 4. 3.	1747	譲り主上町村七左衛門 同干助 同村口入宗伯他2名	下町村伝兵衛	一紙	
12	親類書	延享 5. 3.	1748	上林味ト印判居判		一紙	
13	由緒書(将軍家御茶御用等)	延享 5. 3.	1748	上林味ト印		一紙	
14	由緒書(将軍家御茶御用等)	延享 5. 5.	1748	上林味ト	上林門太郎 上林又兵衛	一紙	
15	起請文前書(初めて御召御壺につき)	延享 5. 5.27	1748	上林味ト		一紙	
16	御茶目録(御壺に詰次第熊本へ)	宝暦 2. 4.28	1752	小堀長順	高橋猪三 右衛門 石井茂助 渡辺善右衛門 他2名	一紙	
17	乍恐奉願口上(裏手構の堤修復につき)	宝暦 3. 6.	1753	上林味ト	御奉行様	一紙	
18-1	由緒書(六代まで御茶御用等)	宝暦 4. 5.	1754	上林味ト	上林門太郎 上林内記	一紙	18-1・2巻込一括
18-2	[七代名跡相続につき由緒書追加]	宝暦 5. 2.	1755	上林味ト		一紙	
19	由緒書	宝暦 4. 5.	1754	野間富之助	上林門太郎 上林内記	一紙	
20	親類書(五代上林味ト三男野間富之助につき)	宝暦 4 .5.	1754	野間富之助印判書判	上林門太郎 上林内記	一紙	
21	乍恐奉願候口上(去秋宇治川筋洪水にて切れた裏手堤普請につき)	宝暦 7. 1.	1757	上林味ト	御奉行様	一紙	
22	奉公人請状之事	宝暦 8. 3.	1758	証人龍泉庵	上林内記御役人中	一紙	
23	乍恐奉願口上(上林門太郎殿構内堤等普請につき)	宝暦 4. 8.	1754	上林味ト 煩ニ付代新平	御奉行様	一紙	
24	譲り渡す田地之事(上藺)	宝暦 9. 4.	1759	譲り主上林味ト 証人手代内川佐太郎 口入乙方町中谷仁衛門他1名	大黒屋武右衛門	一紙	
25	預り申銀子之事(毎歳6月上杉様御茶料を以て返済)	宝暦 9. 7.	1759	預り主上林味ト 証人上林春松	蔵田喜右衛門 御取次	一紙	
26	乍恐奉願口上之覚(御召御壺も仰付けにつき)	宝暦 9. 8. 5	1759		上林門太郎 上林内記	一紙	
27	乍恐奉願口上之覚(御召御壺も仰付けにつき)	宝暦 9. 8. 5	1759	上林味ト	上林内記 上林門太郎	一紙	

上林味ト家文書目録

本報告書では、これまで『3上林三入家文書』『6上林春松家文書』『9上林春松家文書2』『15片岡道二家文書』と、宇治茶師に関する古文書3件について4冊にわたり紹介してきた。本書は、その5冊目として「上林味ト家」に伝来した古文書を紹介する。同文書は、「豊臣期から近代にかけての宇治茶師の実態をあきらかにする貴重な資料」として、平成29年度に「京都府暫定登録文化財」に登録された。

■凡 例

本目録の元となったデータは、平成25年度緊急雇用創出事業「歴史資料デジタル化事業」により作成したものである。同データは、表計算ソフト「エクセル」に入力されたという特性上、項目数が多く、入力文字数に制限が無いことから、すべてのデータを紙面に掲載することは困難である。そのため、本書に掲載するにあたり、項目および入力内容について適宜整理をほどこした。

番 号： 一定のまとまりごとに、原則として年月日順に付与されている。ただし、厳密な規則性はみられない。

最終番号は1274であるが、枝番号等があるため文書点数としては1461点である。枝番号のうち、①・②等は貼継ぎなど文書が分離できないもの、-1・-2等は包紙一括など分離できるものに使用されている。

文書名： 紙幅の都合上、元データの「文書名」と「内容」欄を、「表題(内容)」に統合した。同様の理由から、内容は極力簡潔となるよう編集した。表題が無い場合は、〔 〕内に適宜付与した。表題が判読不能の場合は、□、〔 〕で示した(作成者・宛名欄等も同様)。

年月日： ①など、数次を○で囲ったものは閏月をしめす。()内は推定。綴など複数の年記を持つものは、年のみとするなど適宜表記を改めた。

西 暦： 和暦に対応する年号を記す。

作成者・宛名： それぞれ、文書の作成者・宛名を記す。

形 状： 文書の形状について、縦帳・横帳・一紙等であらわした。

備 考： 各文書の状態、包紙や封筒の有無、一括の状況などを記す。また、上林味ト家は、大名家等との茶の取引があるが、目録上の表題や作成者からでは判断しづらいものの、文書の内容等から取引先が判明するものについては、たとえば肥後熊本・細川家を「*熊本」とするなど簡略化してしめた。

摘 要

点 数： 1461点

年 代： 天正19年(1591)～明治36年(1903)

概 要： 上林味ト家に伝来した文書。当家は、江戸時代に宇治茶頭取および宇治郷などの代官を勤めた上林家の一系統である。茶師仲間・御物茶師の一員として幕府御用を勤めたほか、肥後熊本・細川家、土佐高知・山内家、若狭小浜・酒井家など大名家と取引があった。維新後、同様の茶師の多くが没落するなか、紅茶製造事業などに活路を見いだそうとしたが、果たせなかったようである。茶業以外の同家の特色として、屋敷の一角に祀られた橋姫社の存在がある。同社は、宇治橋西詰北側、京都方面から宇治を訪れ宇治橋を渡った人びとが最初に目にする場所に位置しており、宇治名所のひとつとして、絵画作品や地誌類にも必ずと言ってよいほどとりあげられており、本目録においても関連文書が散見される。同社は、明治3年(1870)の洪水により流失し、味ト家居宅ともども県通りに面した現在地に移転した。なお、京都府暫定登録文化財の員数は1462点であるが、そのうち「細川三斎書状」1点が所蔵者のもとで保管されており、当館寄託上林味ト家文書としては1461点となる。

収蔵資料調査報告書

収蔵文書調査報告書 1	「白川金色院」と恵心院	1998年(平成10)
収蔵文書調査報告書 2	笠取地域の古文書	1999年(平成11)
収蔵文書調査報告書 3	上林三入家文書	2000年(平成12)
収蔵文書調査報告書 4	宇治上神社文書	2001年(平成13)
収蔵文書調査報告書 5	巨椋池漁師仲間文書	2002年(平成14)
収蔵文書調査報告書 6	上林春松家文書	2004年(平成16)
収蔵文書調査報告書 7	白川・藤川家文書	2005年(平成17)
収蔵資料調査報告書 8	戦争関係資料	2006年(平成18)
収蔵資料調査報告書 9	上林春松家文書 2	2007年(平成19)
収蔵資料調査報告書10	幕末の銅版画	2008年(平成20)
収蔵資料調査報告書11	宇治市の写真資料 1	2009年(平成21)
収蔵資料調査報告書12	宇治市の写真資料 2	2010年(平成22)
収蔵資料調査報告書13	宇治市の写真資料 3	2011年(平成23)
収蔵資料調査報告書14	絵ハガキ 1	2012年(平成24)
収蔵資料調査報告書15	片岡道二家文書	2013年(平成25)
収蔵資料調査報告書16	宇治市の写真資料 4	2014年(平成26)
収蔵資料調査報告書17	京都社寺境内図	2015年(平成27)
収蔵資料調査報告書18	戦争関係資料 2	2016年(平成28)
収蔵資料調査報告書19	宇治茶の民具	2017年(平成29)
収蔵資料調査報告書20	宇治郷の古文書	2018年(平成30)

* 7 までは、『収蔵文書調査報告書』として刊行した。

収蔵資料調査報告書21

上林味ト家文書

2019年(平成31) 3月31日

編集・発行 宇治市歴史資料館

〒611-0023

宇治市折居台 1-1

TEL (0774)39-9260

FAX (0774)39-9261

E-mail : shiryoukan@city.uji.kyoto.jp